

2010

# 教職課程履修の手引き

教員免許状

図書館司書  
学校図書館司書教諭  
博物館学芸員  
社会教育主事  
社会福祉主事

早稲田大学  
教育学部教職課程

SCHOOL OF EDUCATION  
TEACHER TRAINING COURSE

## 2010年度 教育学部年間日程表

- 2009年度から、早稲田大学では授業回数を半期15回、通年30回としています。このことに伴い、祝日に授業を行い、別の日を臨時の休業日(休講)としていますので、注意してください。

(授業を実施する祝日)      7/19(月)海の日、10/11(月)体育の日

(臨時の休業日)              4/30(金)～5/1(土)

- 前期、後期ともに15、16週目は試験・補講期間となります。15週目、16週目の内容(授業/試験/補講/休講など)については、別途、教場または掲示板でお知らせします。
- 前期・後期ともに科目登録があります。

### 【前期】

授業開始	4月 6日(火)
試験・補講期間	7月20日(火)～8月2日(月)
授業終了	8月 2日(月)
夏季休業期間	8月 3日(火)～9月20日(月)

### 【後期】

授業開始	9月27日(月)
創立記念日(授業休講)	10月21日(木)
体育祭(授業休講)	11月 5日(金)
早稲田祭(授業休講)	11月 6日(土)・7日(日)
冬季休業期間	12月23日(木)～1月 5日(水)
試験・補講期間	1月24日(月)～2月 5日(土)
授業終了	2月 5日(土)
春季休業期間	2月 6日(日)～3月31日(木)
構内立入禁止期間	2月上旬～下旬予定
4年生以上成績発表	3月 1日(火)
卒業式	3月25日(金)

教室一覧は、授業開始日以降に掲示します。

日程は、都合により変更することもありますので、掲示板等に注意するようにして下さい。

授業時間帯は以下の表の通りです。

第1時限	第2時限	第3時限	第4時限	第5時限	第6時限	第7時限
9:00- 10:30	10:40- 12:10	13:00- 14:30	14:45- 16:15	16:30- 18:00	18:15- 19:45	19:55- 21:25

## 教職課程履修の手引き 目次

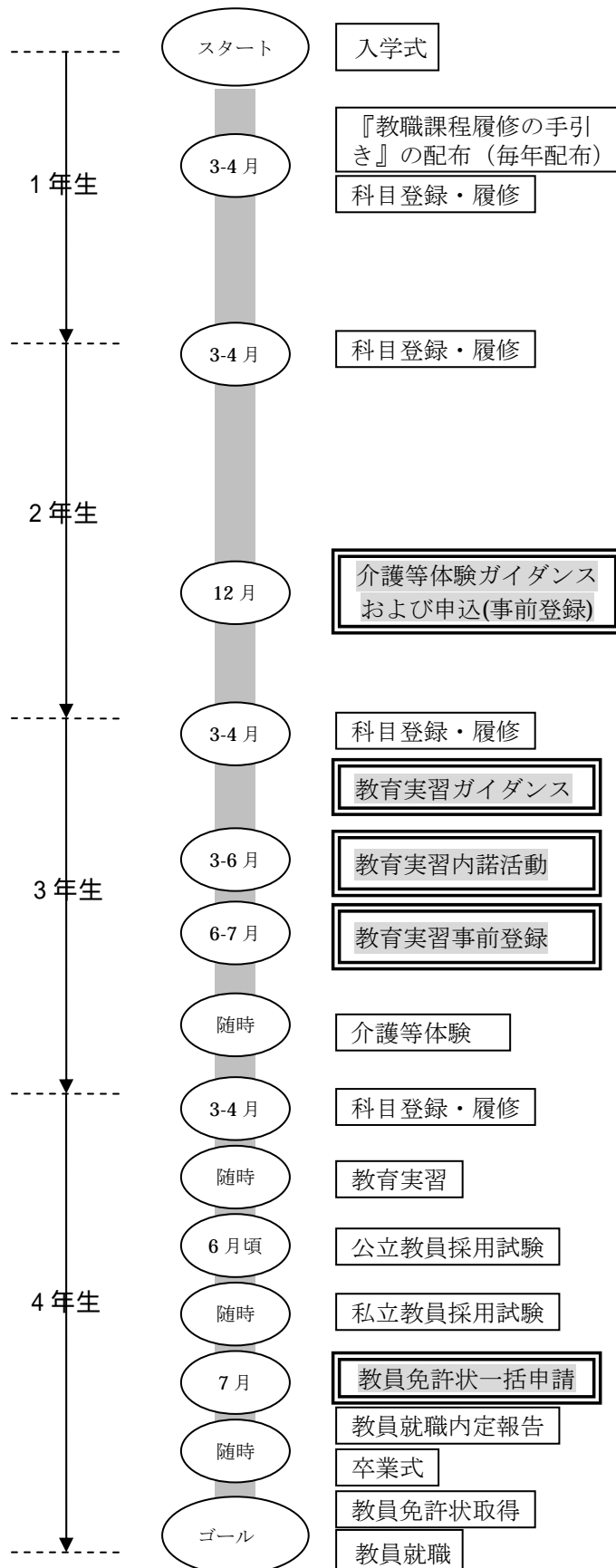
<b>新規履修者向け簡易ガイド</b> .....	<b>1</b>
1 教員免許状取得までのスケジュール ～教員免許はこうやってとる！～ .....	1
2 教職課程科目登録 チェックリスト.....	2
3 全教職課程履修生必修科目一覧.....	3
4 履修モデル.....	4
5 問い合わせ先～困ったときはここに相談！～ .....	5
<b>免許制度の概要と免許状の種類</b> .....	<b>6</b>
1 教員免許制度の概要.....	6
2 免許状の種類 .....	7
3 早稲田大学の学部で取得できる免許状 .....	8
4 一種免許状の取得要件.....	10
5 法令改正と履修カルテについて(2010年度入学者) .....	11
<b>単位の修得方法</b> .....	<b>12</b>
1 科目履修上の変更点.....	12
2 履修科目 .....	14
<b>科目登録から成績まで</b> .....	<b>21</b>
1 科目登録 .....	21
1)履修申請 .....	21
2)年間履修制限単位数.....	22
3)聴講料納入 .....	22
4)休学・留学をする場合 .....	22
5)授業時間割.....	23
2 授業 .....	31
3 試験・レポート.....	31
4 成績 .....	33
<b>介護等体験・教育実習</b> .....	<b>34</b>
1 介護等体験.....	34
1)介護等体験基礎知識.....	34
2)介護等体験関連手続き .....	36
2 教育実習 .....	38
1)教育実習基礎知識 .....	38
2)教育実習までの流れ.....	39
3)教育実習が終了したら.....	41

3 教員免許状申請.....	42
<b>大学院における免許取得.....</b>	<b>43</b>
1 大学院で取得できる免許状 .....	43
2 早稲田大学(大学院)で取得できる免許状.....	43
3 教員免許状の取得要件.....	44
4 履修科目 .....	45
5 教員免許状申請.....	45
<b>キャリア支援.....</b>	<b>46</b>
1 教員就職について.....	46
2 教員就職に向けた支援体制 .....	47
3 教員就職が決まったら .....	48
<b>その他資格.....</b>	<b>50</b>
1 図書館司書.....	50
1) 資格の概要.....	50
2) 図書館司書関連科目 時間割.....	51
2 学校図書館司書教諭 .....	52
1) 資格の概要.....	52
2) 学校図書館司書教諭関連科目 時間割.....	54
3 博物館学芸員 .....	55
1) 資格の概要.....	55
2) 博物館学芸員関連科目 時間割.....	57
4 社会教育主事 .....	61
1) 資格の概要.....	61
2) 社会教育主事関連科目 時間割.....	63
5 社会福祉主事 .....	65
1) 資格の概要.....	65
2) 対象科目と読み替えの範囲.....	65
3) 社会福祉主事となる資格を有することの証明.....	69
<b>証明書等の発行について .....</b>	<b>70</b>
1 教員免許状に関する証明書 .....	70
2 その他の資格に関する証明書 .....	70
<b>学部卒業後の教員免許取得方法.....</b>	<b>71</b>
1 教員免許状関連科目の履修方法 .....	71
2 早稲田大学の科目等履修生出願方法 .....	71
3 在籍中に取得した単位の確認方法.....	71

<b>教職課程関連施設の案内 .....</b>	<b>72</b>
1 教員就職指導室.....	72
2 教育学部事務所・サービスルーム .....	72
<b>付録.....</b>	<b>74</b>
1 Q&A .....	74
1) 科目履修.....	74
2) 介護等体験.....	74
3) 教育実習.....	75
4) 教員免許状申請.....	76
5) 大学院進学および早稲田大学卒業後の一種免許状取得方法.....	76
6) 小学校教員免許状を取得したい.....	77
7) 特別支援学校教員免許状.....	77
2 シラバス .....	78
3 資格関連科目担当教員名簿.....	79

# 新規履修者向け簡易ガイド

## 1 教員免許状取得までのスケジュール ~ 教員免許はこうやってとる! ~



《学年ごとのチェックポイント》

### 1 年生の方へ

卒業までに必要な教員免許状取得に向けた手続きの流れを把握しましょう。スタートダッシュが肝心です。免許状取得に必要な科目をなるべく多く履修しておきましょう。中・高一貫教育が進んでいますので、両方の免許を取得することをお勧めします。

### 2 年生の方へ

1 年生時に引き続き、免許状取得に必要な科目を履修しましょう。中学免許状取得希望者は介護等体験実施の前提条件となる科目を必ず履修してください。また、**12月の介護等体験ガイダンスへの聴講**から介護等体験関連手続きも始まります。時間があれば、教育ボランティアにも積極的に応募しましょう。

### 3 年生の方へ

**3～4月に教育実習ガイダンスに参加し、教育実習に向けた準備・関連手続きがスタート。6月には教育実習の事前登録を行ってください。教育実習ガイダンスに欠席すると、次年度に教育実習を実施できませんので注意が必要です。**科目登録時には教育実習実施の前提条件も確認し、必要な科目は確実に履修しましょう。教育ボランティアの他、教育インターンシップ科目を履修し、教育現場での活動を通して教職への理解を深めましょう。(P.47 参照) また、**中学免許状取得希望者は介護等体験を実施します。(事前指導に欠席はできません。)**

### 4 年生の方へ

教育実習実施 (**教育実習演習での事前・事後指導に欠席することはできません。)**、教員採用試験受験、教員免許状一括申請手続きと、今までの集大成にあたる年です。免許状取得に必要な科目および卒業に必要な科目の単位をすべて修得してください。こうして、晴れて教員免許状を取得することができます。

介護等体験や教育実習を履修するための前提条件があります。計画的に履修しましょう。

  : 特に注意が必要な手続き

## 2 教職課程科目登録 チェックリスト

このチェックリストでは、教職課程の科目登録の大まかな流れを示しています。参照欄で示したページだけでなく、必ず、「教職課程履修の手引き」全体を熟読してください。また、所属学部・学科・専修によって、科目の扱いなどが大きく異なるので、所属学部の手引きも併せてお読みください。

日程	チェック		参照
		<b>登録を始める前に</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>取得を目指す資格が自分の学科・専修で取得可能か調べる。</li> <li>身体的な事情により、体育の履修が困難な場合は、所属学部事務所に相談する。</li> </ul>	P.8～ P.15
		<b>履修する科目を決める</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>「配当年次」が「1～」のものを選んで履修する。</li> <li>『教職に関する科目』の必修科目を優先。</li> <li>科目名の横のアルファベットは組名なので、講義概要の内容が異なっても、同じ科目名のものの中から1つ選んで履修すれば良い。</li> <li>「情報機器の操作」や「体育(実技)」などの必要単位数に注意。</li> <li>(中学校教員免許)3年次での介護実習の前までに必要な科目を優先。</li> <li>4年次での教育実習の前までに必要な科目を優先。</li> <li>年間履修制限単位数を越えていないか。</li> <li>キャンパス間の移動に無理がないか。</li> <li>授業を詰め込みすぎていないか。少なすぎていないか。</li> <li>所属学部の手引きも熟読。</li> </ul>	P.23～ P.23～ P.23～ P.14 P.34 P.38 P.22 P.71 P.71
3 月中 旬から 4 月上 旬		<b>科目登録を行う</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分が選択する教職科目が卒業単位数に算入可能かどうか確認。(各学部によって扱いが異なります)</li> <li>「申請結果確認メール」にて、正確に申請できているかの確認。</li> <li>登録結果通知書を確認。</li> </ul>	P.21
4 月上 旬		<b>履修開始</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>期限までに聴講料を納入。</li> <li>聴講料は「1度納入すれば在学中有効なもの」と「科目履修ごとに必要なもの」があるので注意。</li> </ul> 例) 「在学中有効なもの」 教職課程聴講料 図書館司書課程聴講料 「科目履修ごとに必要なもの」 保健体育科目実験実習料 博物館実習聴講料 視聴覚教育メディア論聴講料	P.22

### 3 全教職課程履修生必修科目一覧

#### 2010年度入学生対象

教員免許状を取得するためには、下記の科目をすべて履修する必要があります。なお科目登録の際は、「単位の取得方法」(P.12～)を必ず参照し、詳細を確認して下さい。

**注意** 教育実習前年度までに\*の科目を履修する必要があります。早めに受講して下さい。(P.32参照)  
また、「教職概論」は「介護体験実習講義」の前提科目です

#### 【教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目】

- \* 日本国憲法
- \* 外国語コミュニケーション
- \* 体育(実技)
- \* 情報機器の操作

教育実習の前提条件:上記から2科目以上を実習の前年度までに修得済であること。

**【教職に関する科目】**科目名に(小・中・高)と記載のものは、中高免許だけでなく小学校免許にも使えます。

(1年生以上)

- \* 「教職概論」
- \* 「教育基礎総論1」
- \* 「教育基礎総論2」
- \* 「教育心理学」
- 「道徳教育論」中学のみ
- 「特別活動論」
- 「生徒指導・進路指導論」
- 「生徒理解と教育相談」

(2年生以上)

- 「教育課程編成論」
- \* 「教科教育法1」「教科教育法2」
- 「教科教育法3」中学のみ
- \* 「教育方法研究」

(3年生以上)

- 「介護体験実習講義」中学のみ

(4年生以上)

- 「教育実習演習(中学)」「教育実習演習(高校)」
- 「教職実践演習(中・高)」

#### 【教科に関する科目】

所属学部の「学部要項」を参照のこと

教育実習の前提条件:16単位以上を実習の前年度までに修得済であること。

#### 【教科又は教職に関する科目】

本冊子 P.20 を参照のこと

## 4 履修モデル

2010年度入学生対象

以下は、各学年で履修することが望ましい科目ですが、自身の時間割や目標に応じて調整して下さい。  
また、介護体験、教育実習の前提科目には注意のこと。

学年	科目の履修例	単位数	アドバイス
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職概論</li> <li>教育基礎総論1</li> <li>教育基礎総論2</li> <li>教育心理学</li> </ul>	2 2 2 2	教職の基礎的な科目は1年生で押さえましょう！  このうちから2科目くらい履修できればGood!  できる限り1年生で押さえましょう！
	<ul style="list-style-type: none"> <li>道德教育論</li> <li>特別活動論</li> <li>生徒指導・進路指導論</li> <li>生徒理解と教育相談</li> </ul>	2 2 2 2	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育</li> <li>情報機器の操作</li> <li>外国語コミュニケーション</li> <li>憲法</li> </ul>		
2年 ～ 3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育課程編成論</li> <li>教育方法研究</li> </ul>	1 2	4年生では教育実習に集中できるように、3年生までにほとんどの教職科目を修得しましょう！ ボランティアやインターンシップで教育現場を見ておくのもお勧めです。  興味に応じて積極的に履修してみよう！
	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科教育法1</li> <li>教科教育法2</li> </ul>	2 2	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護体験実習講義(3年配当)</li> <li>教科教育法3(3年配当)</li> </ul>	2 2	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>選択科目(教科又は教職に関する科目)を教科目程度</li> </ul>		
4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育実習演習</li> <li>教職実践演習</li> </ul>	5(高校3) 2	

■ 卒業単位に算入している科目

★ 教職科目

前期

	月	火	水	木	金	土
1限						
2限						
3限						
4限						
5限						
6限						
7限						

文系学生

後期

	月	火	水	木	金	土
1限						
2限						
3限						
4限						
5限						
6限						
7限						

前期

	月	火	水	木	金	土
1限						
2限						
3限						
4限						
5限						
6限						
7限						

理系学生

後期

	月	火	水	木	金	土
1限						
2限						
3限						
4限						
5限						
6限						
7限						

## 5 問い合わせ先～困ったときはここに相談！～

疑問点の多くは要項類を読むことで解決することがあります。本当に困っている学生さんにスタッフが対応できるように、皆様のご協力をお願いします。

相談先	相談内容
所属学部事務所	免許・教科の種類 教員免許状取得のための履修方法 証明書 科目等履修生 その他資格
教育学部事務所 原則、質問・ご相談はメールにて受け付けます。 kyousyoku-office@list.waseda.jp tel:03-3232-3599	教職課程科目(介護等体験、教育実習等) 教育ボランティア
教員就職指導室 tel:03-3203-0921	教員採用試験 教員の仕事内容

# 免許制度の概要と免許状の種類

## 1 教員免許制度の概要

免許状の授与を受けるための教員養成は大学等で行われており、免許状を取得するもっとも一般的な方法です。このように取得した免許状を『普通免許状』と言います。普通免許状以外にも、特定の教育委員会で有効な『特別免許状』『臨時免許状』という形態の免許状があります。

### 関係する組織

大学で教員養成を行う場合の国(文部科学省)、大学、教育委員会の役割は以下になります。

国	教員免許授与についての法令を制定し、文部科学大臣が大学から申請された課程を認定します。
大学	上記の法令に従って教員養成の課程を設置します。
教育委員会 (都道府県)	教員免許の申請に従い、教員免許状を授与(発行)します。 教員採用についても教育委員会が行います。

### 主な法令

教員免許状制度を定める主な法律は、「教育職員免許法」「教育職員免許法施行法」です。過去、2度にわたり法令の改正が行われ、カリキュラムが大幅に変更となりました。

通常は、教育職員免許法第5条第1項「別表第1」に従い、大学に設置された科目を履修します。ただし、教員としての実務経験があったり、既に他の学校種や教科の免許状を持っている場合には、取得する単位が少なく済むケースなどもあります。専門的な知識が必要となりますので、ご自身で情報収集を行った上で教育委員会に相談するなど、十分に制度を理解した上で利用してください。

## 2 免許状の種類

取得できる免許状の種類は、所属学部・学科・専攻・専修、研究科・専攻ごとに決まっています。以下の免許種、学校種、教科があります。

### 免許種

免許状には、以下の種類があります。職務上の差異はありませんが給与、昇進等が異なります。

一種免許状 :学部学生が取得	法令で定められた教職科目(59 単位)を修得し、学部を卒業(学士の学位を取得)することで得られる免許状。
専修免許状 :大学院学生が取得	一種免許状に必要な単位に加え、大学院で専門的な教職科目(24 単位)を修得し、大学院を卒業(修士の学位を取得)することで得られる免許状。
二種免許状 :短大の学生が取得	法令で定められた教職科目(37 単位)を修得し、準学士(通常、短期大学で取得)を取得することで得られる免許状。

### 学校種

小学校、中学校、高等学校、盲・聾・養護学校、幼稚園の教員及び養護教員になるには、各学校種ごとの教員免許状が必要です。特に、中学校・高等学校は教科ごとの免許状に分かれます。

早稲田大学では、幼稚園、養護教員になるための免許状は取得できません。

本学で取得できる免許状	中学校教諭免許状 高等学校教諭免許状 小学校教諭免許状 特別支援学校教諭免許状
-------------	--

### 教科

中高免許には教科の別もあり、所属する学部・学科・専攻・専修、研究科・専攻の専門性により、取得できる教科が定められています。

教科の種類(本学で取得できるもの)	社会、地理歴史、公民、国語、英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、数学、理科、情報、保健体育、福祉、商業、工業
-------------------	---

P. 8 ページ(早稲田大学の学部で取得できる免許状)、P. 38(早稲田大学(大学院)で取得できる免許状)を参照。

以上の 、 、 の組み合わせ(小学校教諭免許と特別支援学校教諭免許は の教科はなし)により免許が取得できます。一般的に、次のような表記を行います。

例) 中学校教諭免許状 一種免許状 社会の免許 「中一種免(社会)」

高等学校教諭免許状 専修免許状 英語の免許 「高専修免(英語)」

### 3 早稲田大学の学部で取得できる免許状

取得できる免許状は、所属学部・学科・専攻・専修ごとに決まっています。「学部要項」「シラバス」等で必ず確認してください。

学部	学科		取得できる免許状の種類		
			中学1種	高校1種	その他
政治経済学部	政治学科, 経済学科 国際政治経済学科		社会	地理歴史, 公民	
法学部			社会	地理歴史, 公民	
文学部	文学科		国語, 英語 社会 ドイツ語, フランス語 ロシア語, 中国語	国語, 英語 地理歴史, 公民 ドイツ語, フランス語 ロシア語, 中国語	
文化構想学部	文化構想学科		国語, 英語 社会	国語, 英語 地理歴史, 公民	
第一文学部	総合人文学科		社会 国語, 英語 フランス語, ドイツ語 ロシア語, 中国語	地理歴史, 公民 国語, 英語 フランス語, ドイツ語 ロシア語, 中国語	特別支援学校1種 (2004年度以前 入学者)
第二文学部			国語, 英語 社会	国語, 英語 地理歴史, 公民	
教育学部	教育学科	教育学専攻	社会	地理歴史, 公民	特別支援学校1種
		初等教育学専攻			小学校1種
	国語国文学科		国語	国語	
	英語英文学科		英語	英語	
	社会科		社会	地理歴史, 公民	
	理学科	数学専修	数学	数学, 情報	
		生物学専修	理科	理科	
		地球科学専修	理科	理科	
数学科		数学	数学, 情報		
複合文化学科		ドイツ語, フランス語 中国語, スペイン語	ドイツ語, フランス語 中国語, スペイン語		
商学部			社会	地理歴史, 公民, 商業	
基幹理工学部	数学科, 応用数理学科, 情報理工学科		数学	数学, 情報	
	機械科学・航空学科		理科, 数学	理科, 数学	
	電子光システム学科		数学	数学, 情報	
	表現工学科			情報	
創造理工学部	建築学科, 総合機械工学科		理科	理科	
	経営システム工学科			情報	
	社会環境工学科, 環境資源工学科		理科	理科	
先進理工学部	物理学科		理科, 数学	理科, 数学	
	応用物理学科		理科, 数学	理科, 数学, 情報	
	化学・生命化学科		理科	理科	
	応用化学科, 生命医科学科				
理工学部	電気・情報生命工学科		理科, 数学	理科, 数学, 情報	
	機械工学科, 環境資源工学科 建築学科, 応用化学科, 化学科 物質開発工学科, 社会環境工学科		理科	理科	
	電気電子情報工学科 電子・情報通信学科, 数理科学科 情報学科, 電気・情報生命工学科 コンピュータ・ネットワーク工学科		数学	数学, 情報	
	応用物理学科		数学, 理科	数学, 理科, 情報	
	物理学科		数学, 理科	数学, 理科	
	経営システム工学科			工業, 情報	

学部	学科	取得できる免許状の種類	
		中学1種	高校1種
社会科学部	社会科学科	社会	地理歴史, 公民 商業, 情報
人間科学部 (2003年度以降 入学者)	人間環境科学科	社会	地理歴史, 公民
	健康福祉科学科		福祉
	人間情報科学科		情報
	人間情報科学科(2007年度以降入学者)	英語	英語, 情報
人間科学部 (2002年度以前 入学者)	人間健康科学科		情報
	スポーツ科学科	保健体育	保健体育
人間科学部(通 信教育課程) (2009年度入学 者まで)	人間情報科学科		情報
スポーツ科学部	スポーツ医科学科	保健体育	保健体育
	スポーツ文化科学科	保健体育	保健体育
	スポーツ科学科(2010年度入学生より)	保健体育	保健体育
国際教養学部	国際教養学科	英語	英語

## 4 一種免許状の取得要件

早稲田大学の学部では「一種免許状」の取得が可能です。この免許状を取得するためには、以下の通り教育職員免許法施行規則に定める基礎資格を得ること、ならびに科目の単位を修得することが定められています。

		免許状の種類						
		小学校1種		中学1種		高校1種		
基礎資格		学士の学位を有すること						
最低 修得 単 位 数	教育職員免許法 施行規則第66条 の6に定める科目 P.14	日本国憲法	2		2		2	
		体育(実技)	2		2		2	
		外国語コミュニケーション	2		2		2	
		情報機器の操作	2		2		2	
		教職に関する科目 P.15~ 注1	44		32		26	
		教科に関する科目 P.20 注2	8	59	20	59	20	59
		教科又は教職に関する科目 P.20 注3	7 (最大)		7 (最大)		13 (最大)	
最低修得単位数の合計			67		67		67	

### 注1 (2009年度以前入学者向け)

「教育課程編成論」の新設により、「教職に関する科目」の最低取得単位数が中学、高校においてそれぞれ、31単位から32単位へ、25単位から26単位へ変更となっています。ただし、2007年度までに「教育原理」を修得済みの場合、「教育課程編成論」を履修する必要がないため、最低取得単位数も2007年度までと変更ありません。

### 注2

「教科に関する科目」の最低修得単位数は、学部・学科・専攻・専修により異なる場合がありますので、所属学部の「学部要項」(教育学部生は「授業ガイド」)を必ず確認してください。

### 注3

「教職に関する科目」「教科に関する科目」の最低修得単位数を超えて単位を修得した場合は、「教科又は教職に関する科目」の単位として計算します。記載の単位数は、法令で定められた59単位から、「教職に関する科目」と「教科に関する科目」の最低修得単位数を差し引いた単位数であり、記載以上の単位数を「教科又は教職に関する科目」で履修しないといけない訳ではありません。

## 5 法令改正と履修カルテについて(2010年度入学者)

免許法施行規則の改訂により、2010年度入学者より新しいカリキュラムが適用されます。変更点として、『教職に関する科目』である「総合演習」が2012年度をもって廃止となり、2013年度より「教職実践演習」が開設されます。

「教職実践演習」とは4年生の後期に開講される科目で、教員として必要な知識技能を修得したことを確認するための総まとめとして位置づけられた科目です。この科目では、これまで以上に教員としての資質が問われる内容となっています。また、『教職履修カルテ』の作成が必要となりますのでご注意ください。

### 『教職履修カルテ』の作成について

教員免許を取得しようとする学生は、教職課程の科目履修を始めてから、「教職実践演習」(4年後期)の授業を受けるまでの間に、各自『教職履修カルテ』を作成しなければなりません。『教職履修カルテ』とは、自分が教職課程の授業の中で何を学んだのかを振り返るとともに、今後どのような学習が必要なのかを自分で考えるための手がかりにもらうためのものです。

### 【作成手順】

1. 早稲田大学教職課程のホームページ(<http://www.edu-waseda.net/index.php>)にアクセスし、所定の用紙を自分でダウンロード。
2. プリントアウトした用紙に、指定された科目を通して「学んだこと」「今後の課題」を記述。
3. 「教職概論」で配付されたバインダーに綴じる。(後期科目を履修する場合には、バインダーは後期に受取)  
バインダーを受け取る前に対象科目を履修する場合には、各自で用紙を保管すること。
4. 各自作成した『教職履修カルテ』は「教職実践演習」を担当する教員に提出。

### < 教職に関する科目(以下指定) >

(具体的には次の科目について記入する必要があります。)

教職概論  
教育基礎総論1及び 教育基礎総論2  
教育心理学  
教科教育法(全ての必修科目)  
道徳教育論  
生徒理解と教育相談

### < 実習等の科目 >

「介護等体験」「教育実習」(必須)  
「教育ボランティア」「教育インターンシップ」等の体験科目(任意)

「教職実践演習」の履修には、『教職履修カルテ』の作成が必須です。  
それまでに準備が整わない場合、授業を履修することができません。

# 単位の修得方法

## 1 科目履修上の変更点

### (1)2010 年度以降 入学者

前述のとおり、免許法施行規則の改訂により、2010 年度入学者より新しいカリキュラムが適用されます。2009 年度入学者にとって必修科目である「総合演習」は履修する必要がありません。そのかわり、2013年度より開設される「教職実践演習」が必修となります。

### (2)2009 年度以前 入学者

#### 教職課程科目に関する 2010 年度以降の主な変更点

1. 「教職に関する科目」の(小中高)対応科目の一部の科目が(中高)対応科目に変更になります。  
< 変更となる(小中高)対応の科目 >

2009年度までの科目	変更後の科目
教育課程編成論(小・中・高)	教育課程編成論(中・高)
道徳教育論(小・中・高)	道徳教育論(中・高)
特別活動論(小・中・高)	特別活動論(中・高)
教育方法研究(小・中・高)	教育方法研究(中・高)
生徒指導・進路指導論(小・中・高)	生徒指導・進路指導論(中・高)
生徒理解と教育相談(小・中・高)	生徒理解と教育相談(中・高)

2009 年度までに修得済みの(小中高)対応科目は有効です。

(参考) <これまで通り(小中高)対応の科目 >

変更のない科目
教職概論(小・中・高)
教育基礎総論1(小・中・高)
教育基礎総論2(小・中・高)
教育心理学(小・中・高)
総合演習(小・中・高)

2. 「教科教育法1・2」を半期化します。

2010年度より、通年科目であった「教科教育法1・2」が半期化され、「教科教育法1」「教科教育法2」になります。これに伴い、年度始だけであった科目登録について、2010 年度より後期登録を開始します。また、「教科教育法1」「教科教育法2」「教科教育法3」のいずれからの履修も、また同時の履修も可能になります。

2009年度までの科目	変更後の科目
教科教育法1・2(通年科目)	教科教育法1(半期科目)
	教科教育法2(半期科目)

「教科教育法」履修上の注意

取得を希望する免許状の教科ごとに単位を修得してください。中学免許状取得希望者は「教科教育法1」「教科教育法2」「教科教育法3」が、高校免許状取得希望者は「教科教育法1」「教科教育法2」が必修です。仮に、「教科教育法1」「教科教育法3」や、「教科教育法2」「教科教育法3」の組み合わせで単位を修得した場合でも、高校の免許に必要な単位を満たしたことになりませんのでご注意ください。

3. 免許法施行規則の改訂により、2010 年度入学者より新しいカリキュラムになります。

現時点では2009年度入学の方には新しいカリキュラムは影響しませんが、「総合演習」が廃止されるようになりますので、それまでに「総合演習」を修得していない場合、2013年度より新設される「教職実践演習」を修得する必要があります。

教職実践演習とは4年生の後期に開講される科目で、「教員として必要な知識技能を修得したことを確認」するために、総まとめとして位置づけられた科目です。この科目では、これまで以上に教員としての資質が問われる内容となっています。また、「履修カルテ」の作成も必要となりますので、ご注意ください。

**4. 2010 年度入学者より英語科教育法の履修に前提条件が設定されます。**

現時点では 2009 年度以前入学の方には影響しませんが、2010 年度以降に入学した学生が英語科教育法1、英語科教育法2、英語科教育法3を履修する場合、以下の条件のうちいずれかを満たしていることが必要となります。

- ・WeTEC 600 点以上
- ・TOEIC 555 点以上 原則、WeTEC の点数で条件をクリアすることが望ましい。

学部卒業後などに科目等履修生になった場合には適用となりますので注意してください。科目等履修生制度の出願までに TOEIC にて条件を満たす必要があります。(在学生から引き続き科目等履修生になる場合には、在学中の WeTEC のスコアが利用可)。科目等履修生制度の出願後にも、特別に WeTEC の受験機会を設けますが、スコアが条件を満たさない場合には、英語科教育法の科目登録を取り消します。また、「学士入学者」「再入学者」は要項適用年度が 2010 年の方より適用。

**教職課程科目に関する 2008 年度以降の主な変更点**

**1. 「教職に関する科目」の一部を、小学校教員免許取得要件を満たす科目に内容を変更します。**

一部の教職に関する科目について、小学校教員免許取得にも対応した科目として内容を変更します。科目名の後ろにある「対応学校種名」を確認し、それぞれが取得を目指す学校種に適した科目を登録してください。東京家政大学との協定に基づく制度を利用するなど、他大学で小学校1種・2種免許の取得を目指す場合には、これらの単位を流用することができます。(中・高教員免許取得に特化した内容のものも引き続き残しています。) \*対応する 2007 年度以前設置科目を受講し単位を修得している場合は、2008 年度以降科目を履修する必要はありません。

**2. 「教育原理」を「教育基礎総論」と「教育課程編成論」に分け、内容を充実します。**

2007 年度以前に設置している「教育原理」を、2008 年度より、「教育課程編成論(小・中・高)」、「教育課程編成論(中・高)」、「教育基礎総論(小・中・高)」、「教育基礎総論(中・高)」に分けて開講します。2007 年度以前に「教育原理」の単位を修得している場合、新たに両科目を履修し直す必要はありません。

2007 年度以前	2008 年度以降
教育原理	教育課程編成論(小・中・高) 教育課程編成論(中・高) + 教育基礎総論(小・中・高) * 教育基礎総論(中・高)
教職概論	教職概論(小・中・高) 教職概論(中・高)
教育心理学	教育心理学(小・中・高)
道徳教育論	道徳教育論(小・中・高)
特別活動論	特別活動論(小・中・高) 特別活動論(中・高)
教育方法研究	教育方法研究(小・中・高)
教育臨床論	生徒理解と教育相談(小・中・高)
生徒指導・ 進路指導論	生徒指導・進路指導論(小・中・高) 生徒指導・進路指導論(中・高)
総合演習	総合演習(小・中・高) 総合演習(中・高)

\*「教育基礎総論(小・中・高)」は、従来通年科目であったが、2009 年度以降に半期化し、「教育基礎総論1(小・中・高)」と「教育基礎総論2(小・中・高)」になりました。

**3. 「教科又は教職に関する科目」の一部を、「教職に関する科目(選択)」として区分します。**

2007 年度まで「教科又は教職に関する科目」として取り扱っていた以下の科目について、講義で取り扱う内容から、2008 年度より「教職に関する科目」として取り扱います。修得した単位は「教科又は教職に関する科目」として取り扱われます(学力に関する証明書上は、「教職に関する科目」に単位が入りますが、履修要件の「教職に関する科目」の最低修得単位数には含まれません)。なお、2007 年度までに同科目の単位を修得している場合は、従来とおり「教科又は教職に関する科目」として取り扱います。

**<該当科目>**

教職研究 (学校教育法規)、教職研究 (教育行政法規)、教職研究 (日本教育史)、教職研究 (西洋教育史)、教職研究 (学校外教育)、教職研究 (人権教育論)、教職研究 (教育経営)、各教科教育法4、授業技術演習 (2007 年度:学習指導基盤講座)

## 2 履修科目

早稲田大学では、下記の科目が教育職員免許法施行規則に定める科目に該当します。また、科目設置箇所、履修方法は下記の通りです。

### 注意

本書では全学部・研究科に共通する内容の概略を掲載しています。科目登録時には所属学部・研究科の「学部要項」「研究科要項」(教育学部生は「授業ガイド」)を併せて確認してください。

### (1) 教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目

教育職員免許法施行規則に定める科目	最低修得単位数	早稲田大学設置科目名	科目設置箇所	単位
日本国憲法	2	「学部要項」(教育学部生は「授業ガイド」)参照	所属学部	2 単位 必修
体育(実技) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">注1</span>	2	「スポーツ実習 I(1 単位)」 「スポーツ実習 I(2 単位)」 「スポーツ実習 II(1 単位)」 「スポーツ実習 II(2 単位)」 (オープン教育センター「科目登録の手引き」参照)	オープン教育センター	2 単位 必修
外国語コミュニケーション	2	「学部要項」(教育学部生は「授業ガイド」)参照	所属学部	2 単位 必修
情報機器の操作 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">注2</span>	2	「早稲田大学情報環境の活用(アカデミックリテラシー)」 「マルチメディア入門」 「マルチメディア原論(2005 年度まで設置)」 「コンピュータによる統計入門」 「コンピュータによる統計解析」 「プログラミング初歩」 「プログラミング中級」 (「メディアネットワークセンター登録要項・講義要項」参照)	メディアネットワークセンター	2 単位 必修
		「学部要項」(教育学部生は「授業ガイド」)参照	所属学部	
<b>最低修得単位数合計</b>	8			

「早稲田大学設置科目」の中からいずれかを選択し、それぞれ最低修得単位数以上履修してください。随意科目として履修していても、教職科目の単位として有効です。

**注1** 「体育(実技)」の最低修得単位数は2単位です。「スポーツ実習 I(1 単位)」「スポーツ実習 II(1 単位)」は 1 単位の科目ですので、当該科目を履修する場合は2科目以上履修し、2単位以上を修得してください。なお、身体虚弱、慢性的な疾病または心身の障害により、体育実技を履修することについて極めて困難を生じる学生は、原則として医師の診断書等、実技困難を証する公的な書面を用意し、科目登録前に所属学部事務所にご相談ください。

**注2** (2009 年度以前入学者向け)

次の科目は科目名が変更されています。旧科目の単位を修得している場合も、「情報機器の操作」の単位として使用できます。

現在の科目名	旧科目名
「早稲田大学情報環境の活用(アカデミックリテラシー)」	「アカデミックリテラシー(情報環境下での知の活用)」、「情報基礎演習」、「情報処理入門」
「コンピュータによる統計入門」	「コンピュータによる統計処理」
「コンピュータによる統計解析」	「コンピュータによる統計処理」
「プログラミング初歩」	「プログラミング入門」

## (2) 教職に関する科目(必修)

免許法施行規則の改訂により、2010 年度入学者からは「教職に関する科目」の新カリキュラムが適用となります。

2010年度以降入学者

科目設置箇所は教育学部(教職課程科目)です。

**必修**

は全員必修、

**中学  
必修**

は「中学のみ必修」、

**高校  
必修**

は「高校のみ必修」を表しています。

教育職員免許法施行規則に定める科目		最低修得単位数	早稲田大学設置科目名	配当年次 <b>注1</b>	単位	
教職に関する科目	教職の意義等に関する科目	教職の意義及び教員の役割	「教職概論(小・中・高)」 または 「教職概論(中・高)」	1~	<b>2 単位 必修</b>	
		教員の職務内容(研修、服務及び身分保障等を含む。)				
		進路選択に資する各種の機会の提供等				
	教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	「教育基礎総論1(小・中・高)」	1~	<b>2 単位 必修</b>
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		「教育基礎総論2(小・中・高)」		
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)		「教育心理学(小・中・高)」		
教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法	中学 13	「教育課程編成論(中・高)」	2~	<b>1 単位 必修</b>	
	各教科の指導法 <b>注3</b>	高校 9	「教科教育法1」	2~	<b>4 単位 必修</b>	
			「教科教育法2」	2~		
			「教科教育法3」	2~	<b>中学 2 単位 必修</b>	

		道徳の指導法		「道徳教育論(中・高)」	1~	中学 2単位 必修	
		特別活動の指導法		「特別活動論(中・高)」	1~	2単位 必修	
		教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		「教育方法研究(中・高)」	2~	2単位 必修	
	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	生徒指導の理論及び方法	4	「生徒指導・進路指導論(中・高)」	1~	2単位 必修	
		進路指導の理論及び方法					
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		「生徒理解と教育相談(中・高)」	1~	2単位 必修	
教育実習			中学5	「教育実習演習(中学)」 実習期間 = 3週間	4	中学 5単位 必修	
			高校3	「教育実習演習(高校)」 実習期間 = 2週間	4	高校 3単位 必修	
教職実践演習			2	「教職実践演習(中・高)」 <b>注2</b>	4	2単位 必修	
<b>最低修得単位数合計</b>				中学32 高校26			

**注1** 「配当年次」とは履修可能年次のことを示す。

**注2** 「教職実践演習(中・高)」の前提条件:教育実習演習を修得済み もしくは 履修中であること。

**注3** 英語科教育法の履修条件について(2010年度入学者より適用)

2010年度以降に入学した学生が英語科教育法1、英語科教育法2、英語科教育法3を履修する場合、以下の条件のうちいずれかを満たしていることが必要となります。

<履修条件> ・WeTEC 600点以上  
・TOEIC 555点以上 ※原則、WeTECの点数で条件をクリアすることが望ましい。

<設定理由>

英語教員が備えておくべき英語力の目標値として、英検準1級、TOEFL550点、TOEIC730点程度が望ましいとされています。すなわち、履修条件にある点数は最低限であり、卒業までに目標値に到達できるように努力して下さい。

<スコアの提示について>

初回授業の際に担当教員がスコアの提出を求めますので、WeTEC<sub>※</sub>についてはWaseda-netポータルからプリントアウトしたものを、TOEICについては証明書のスコアをコピーしたものを提出して下さい。提出しない場合や、スコアが条件を満たしていない場合、科目が取り消されます。(取り消しに伴う他の科目の追加登録は不可)

<注意事項>

- 教科教育法は3年生から履修を始めても免許取得は可能ですが、できる限り2年生から履修することが望ましい。
- 試験を受けてからスコアが出るまでに時間がかかることを十分考慮し、初回授業の際にスコアが提示できるように計画的に準備を進めてください。
- 「学士入学者」「再入学者」については、要項適用年度が2010年度の学生より適用となります。
- 「科目等履修生」については、2011年度入学者より適用となります。科目等履修生制度の出願までにTOEICにて条件を満たしてください(在学生から引き続き科目等履修生になる場合には、在学中のWeTECのスコアが利用可)。科目等履修生制度の出願後にも、特別にWeTECの受験機会を設けますが、スコアが条件を満たさない場合には、英語科教育法の科目登録を取り消します。
- 国際教養学部の学生で英語I・IIが免除された学生(TOEFL-PBT550(iBT79)以上)は、条件を満たしていると特別にみなします。その場合、TOEFLのスコアコピー(WeTECを受験した場合はそのスコアコピー)を初回の授業で提出すること。

※WeTECとはWeb-based Test for English Communicationの略称で、早稲田大学の学生を対象としたインターネットを利用した英語コミュニケーション能力判定テストです。試験時間の平均は約60分です。コンピュータを利用しているため、その場で採点し、テスト終了後すぐにスコアが表示されます。

2009年度以前入学者(2009年度入学者を含む)

科目設置箇所は教育学部(教職課程科目)です。

**必修**

は全員必修、

**中学  
必修**

は「中学のみ必修」、

**高校  
必修**

は「高校のみ必修」を表しています。

教育職員免許法施行規則に定める科目		最低 修得 単位数	早稲田大学設置科目名	配当 年次 <u>注1</u>	単位		
教 職 に 関 す る 科 目	教職の意義等 に関する科目	2	「教職概論(小・中・高)」 または 「教職概論(中・高)」 または 「教職概論」(2007年度をもって廃止)	1~	<b>2単位 必修</b>		
			教育の基礎理 論に関する科目	6	「教育基礎総論 1(小・中・高)」 または 200年度配当の「教 育基礎総論 (小・中・高)」	1~	<b>2単位 必修</b>
					「教育基礎総論 2(小・中・高)」 または 200年度配当の「教 育基礎総論 (中・高)」 または 「教育原理」 (2007年度をもって 廃止)	1~	<b>2単位 必修</b>
	「教育心理学(小・中・高)」 または 「教育心理学」(200年度をもって廃止)	1~	<b>2単位 必修</b>				
	教育課程及 び指導法に 関する科目	13 9 <u>注2</u>	中学 13 高校 9	「教育課程編成論(中・高)」 または 「教育課程編成論(小・中・高)」 (2009年度をもって廃止) (旧:教育原理に含む)	2~	<b>1単位 必修</b>	
				「教科教育法1」 「教科教育法2」 または 「教科教育法1・2」(2009年度をもっ て廃止)	2~ 2~	<b>4単位 必修</b>	
		各教科の指導法		「教科教育法3」 <u>注3</u>	2~	<b>中学 2単位 必修</b>	
		道徳の指導法		「道徳教育論(中・高)」 <u>注3</u> または 「道徳教育論(小・中・高)」(2009 年度をもって廃止) または 「道徳教育論」(2007年度をもって廃 止)	1~	<b>中学 2単位 必修</b>	

	特別活動の指導法		「特別活動論(中・高)」 または 「特別活動論(小・中・高)」(2009年度をもって廃止) または 「特別活動論」(2007年度をもって廃止)	1~	2単位 必修
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		「教育方法研究(中・高)」 または 「教育方法研究(小・中・高)」(2009年度をもって廃止) または 「教育方法研究」(2007年度をもって廃止)	2~	2単位 必修
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	生徒指導の理論及び方法	4	「生徒指導・進路指導論(中・高)」 または 「生徒指導・進路指導論(小・中・高)」(2009年度をもって廃止) または 「生徒指導・進路指導論」(2007年度をもって廃止)	1~	2単位 必修
	進路指導の理論及び方法				
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法				
総合演習		2	「総合演習(中・高)」 または 「総合演習(小・中・高)」 または 「総合演習」(2007年度をもって廃止)	3	2単位 必修
教育実習		中学5	「教育実習演習(中学)」 <b>注4</b> 実習期間 = 3週間	4	中学 5単位 必修
		高校3	「教育実習演習(高校)」 <b>注4</b> 実習期間 = 2週間	4	高校 3単位 必修
最低修得単位数合計		中学32 高校26			

#### 教職に関する科目

1)いくつかの科目が、小学校・中学・高校免許状対応科目[(小・中・高)と記載]と、中学・高校免許状対応科目[(中・高)と記載]に分割されました。「(小・中・高)」科目は、早稲田大学卒業後などに小学校免許を取得する際に使用することが可能です。

2) 第一文学部、第二文学部、教育学部、人間科学部、文学部、文化構想学部生

「教職に関する科目」に充当される科目が所属学部にも設置されています。所属学部の「学部要項」(教育学部生は「授業ガイド」)、「科目登録マニュアル」「科目登録の手引き」等を参照してください。

最低取得単位数を超えて単位を修得した場合

「教職に関する科目」「教科に関する科目」の最低取得単位数を超えて単位を修得した場合は、「教科又は教職に関する科目」の単位として計算します。

**注1** 「配当年次」とは履修可能年次のことを示す。

**注2** 「教育課程編成論」の新設により、「教育課程及び指導法に関する科目」の最低取得単位数が中学、高校それぞれ、12単位から13単位へ、8単位から9単位へ変更となりました。ただし、2007年度までに「教育原理」を修得済みの場合は、「教育課程編成論」を履修する必要はありません。最低取得単位数も2007年度までに変更ありません。

**注3** 「教科教育法3」と「道徳教育論」は、高校1種免許状を取得する場合、「教科又は教職に関する科目」の単位として計算します。

**注4** 「教育実習演習」は教育実習実施期間により履修科目が異なります。科目登録後の変更はできません。(教育実習校が高等学校であったとしても)中学校免許の取得を目指して3週間の教育実習を希望される場合は、必ず「教育実習演習(中学)」を登録してください。

教育実習を3週間行ったとしても、科目登録後の変更はできませんのでご注意ください。

教育実習実施期間	科目名	取得可能免許状
2週間	教育実習演習(高校)	高校のみ
3週間	教育実習演習(中学)	中学のみ 中学高校両方

### (3) 教職に関する科目(選択)

科目設置箇所は教育学部(教職課程科目)です。

以下の科目は、「教職に関する科目」の選択科目です。修得した単位は「教科又は教職に関する科目」として取り扱われます。

2007年度までは、「教科又は教職に関する科目」として配当されていた科目です。

教育職員免許法施行規則に定める科目		最低取得単位数	早稲田大学設置科目名	単位	履修方法
教職に関する科目	教育の基礎理論に関する科目	0	「教職研究 (日本教育史)」 「教職研究 (西洋教育史)」	各2	選択
		0	「教職研究 (学校教育法規)」 「教職研究 (教育行政法規)」 「教職研究 (学校外教育)」 「教職研究 (人権教育論)」 「教職研究 (教育経営)」	各2	選択
	教育課程及び指導法に関する科目	0	「教科教育法4」	2	選択
		0	「授業技術演習」 (2007年度までは「学習指導基盤講座」)	2	

## (4) 教科に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目	最低修得単位数	早稲田大学設置科目名	科目設置箇所	履修方法
教科に関する科目 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">注1</span>	20	学部要項(教育学部生は授業ガイド)参照	所属学部	学部要項(教育学部生は授業ガイド)参照

注1 政治経済学部、法学部、第一文学部、第二文学部、教育学部、商学部、社会科学部、文学部、文化構想学部の学生は、「教科に関する科目」として教育学部設置「教職用教科に関する科目」を履修することができます。

## (5) 教科又は教職に関する科目

科目設置箇所は教育学部(教職課程科目)です。

「教科又は教職に関する科目」には、以下の科目の単位の他に「教科に関する科目」「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位も含まれます。

教育職員免許法施行規則に定める科目	最低修得単位数	早稲田大学設置科目名	単位	履修方法
教科又は教職に関する科目 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">注1</span>	中学2単位	「介護体験実習講義」 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">注2</span>	2	中学 2単位 必修
	0	「人間理解基盤講座」 「教職研究 (生涯教育)」 「教職研究 (障害児教育)」 「教育インターンシップ」 「中等国語科インターンシップ」	2 2 2 4 2	選択

注1 第一文学部、第二文学部、教育学部、人間科学部、文学部、文化構想学部生  
「教科又は教職に関する科目」に充当される科目が所属学部にも設置されています。所属学部の「学部要項」(教育学部生は「授業ガイド」)、「科目登録マニュアル」「科目登録の手引き」を参照してください。

注2 中学校教員免許状を取得する場合は、「介護体験実習講義」が必修です。

# 科目登録から成績まで

## 1 科目登録

配当年次以上の科目を登録できます。

教育学部設置科目の授業は、原則早稲田キャンパスで行います。それ以外のキャンパスで開講される授業については、時間割の組名に記載があります。

教職課程履修には、聴講料 10,000 円の納入が必要です。一度納入すれば、在学中は有効です。

履修科目の単位の取り扱いは、所属学部の「学部要項」、「講義要項」（教育学部生は「授業ガイド」）、「科目登録の手引き」等を参照してください。

### 1) 履修申請

#### (1) 資格関連科目の履修申請

資格取得に必要な科目を確認し、要件を満たすように漏れなく登録してください。各自の所属学部で定める登録方法・日程に従って履修申請してください。

#### (2) 教育学部設置科目を登録する際に、特に注意すること

教育学部設置後期科目(冬季・春季集中科目を含む)の申請は後期登録にて受け付けます

昨年度は、前期科目登録にて、「全ての科目(通年科目・前期科目・後期科目)」の申請を受け付け、後期科目登録では、「後期科目のうち定員に余裕のある科目のみ」を受け付けていましたが、今年度は前期科目登録にて、「通年科目および前期科目のみ」の申請を受け付け、後期科目登録では、「後期科目のみ」を受け付けることになります。

「決定」科目であっても 4 月中旬に「取消」となる場合があります。年間履修制限単位数超過登録や、聴講料未納(後述の2)や3)参照)などによって不本意に取消されることの無いよう、履修申請の際に充分注意してください。

「登録結果通知書」を必ず確認してください。科目によっては抽選となり、必ずしも申請者全員が登録できない場合があります。「登録結果通知書」の登録結果(選外/不可)を見落としたまま科目を登録していないことに気付かず、希望年度に免許状・資格を取得できなくなることの無いよう、充分ご注意ください。

単位を修得した科目を再度登録することは出来ません。

曜日時限が同一の科目を複数登録することは出来ません(前期と後期で別々の場合は可)。履修申請した場合、当該科目の申請が全て取り消される場合があります。

同一科目はクラスが違っていても2クラス以上登録することはできません。同様に、すでに単位を修得した科目は、クラスが違っていても登録することが出来ません。

登録が決定した科目・クラスの変更、登録の取り消しは原則として認めません。

登録が決定していない科目・クラスに出席し試験を受けても、単位の修得はできません。毎年、登録が決定していない科目・クラスに出席したものの単位を修得できない方がいます。必ず「最終登録結果通知書」で登録が決定したことを確認してください。

2名以上の教員が担当する科目の場合でも、全ての授業に出席しなければなりません。

単位の取り扱いは、所属学部・研究科の規定に従います。「学部要項」「研究科要項」「科目登録の手引き」等を熟読のうえ申請してください。

「Q & A」の 1)科目履修(P.72)も参照してください。

## 2) 年間履修制限単位数

### 「教職に関する科目(必修・選択)」:年間20単位

教育学部設置教職課程科目のうち、「教職に関する科目(必修)」および「教職に関する科目(選択)」は、年間で20単位までの登録が可能です。ただし、教職に関する科目に充当される所属学部・学科・専攻・専修で設置の専門教育科目は、年間履修制限単位(20単位)の対象とはなりません。

## 3) 聴講料納入

### (1) 聴講料支払対象科目

下記科目を履修する場合は、聴講料の納入が必要です。対象科目は下表のとおりとなります。本書の授業時間割表に、どの科目が該当しているか記載しますので確認してください。

名称	対象科目	聴講料	注意事項
教職課程聴講料	教職課程科目 (教職に関する科目、教科又は教職に関する科目) 注1	10,000円	一度納入すれば在学中有効。在学中は領収書を保管しておくこと。教員免許状以外の資格取得を目的として履修する場合も、聴講料が必要。学士入学者は、過去に本学に在籍したことのある場合でも改めて聴講料が必要。
図書館司書課程聴講料	図書館司書、学校図書館司書教諭関連科目(「生涯学習」を除く)	7,000円	一度納入すれば在学中有効。在学中は領収書を保管しておくこと。教育学部教育学科教育学専攻教育学専修または生涯教育学専修の学生が「図書館学」を履修する場合は、聴講料不要。「生涯学習」のみを履修する場合は、聴講料不要。学士入学者は、過去に本学に在籍したことのある場合でも改めて聴講料が必要。
博物館実習聴講料	博物館実習	5,000円	単年度ごとに納入が必要。
視聴覚教育実習聴講料	視聴覚教育メディア論(実習を含む)	4,000円	

注1 各学部設置されている「教職に関する科目」に充当される科目は含まれません。

### (2) 納入の際に、特に注意すること

「聴講料納入票」は、教育学部設置科目だけでなく、各科目設置箇所における聴講料等が必要な科目が全て1枚の用紙に記載されます。これにより、聴講料等を一括して納入することができ、納入の手間や納入忘れを回避することができます。なお、科目クラス毎に支払いを選択する(ある科目の分を支払って、ある科目の分を支払わない)ことはできませんので、履修申請する前に聴講料等納入対象科目であるかどうかを必ず確認してください。

「聴講料納入票」の再発行は出来ません。

聴講料が納入されなかった科目は全て、登録が「取消」となります。

## 4) 休学・留学をする場合

休学・留学前に、所属学部事務所及び教育学部事務所にて科目履修に関する指導を受けてください。同時に教育学部事務所で介護等体験・教育実習に関する指導を受けてください。指導を受けずに、休学・留学をされてしまうと、思わぬ不利益をこうむることがありますので、くれぐれもご注意ください。特に留学に行く予定の方で、帰国した年の4月以降に介護等体験および教育実習派遣を希望する方は、留学前年度に行うガイダンス等に参加してください。

## 5) 授業時間割

### (1) 教職に関する科目(必修)

配当年次	早稲田大学設置科目名	学期	曜日	時限	組名	単位	教員氏名	講義内容 掲載頁	備考	
1~	教職概論(小・中・高)	前期	火	1	A	2	小松 茂久	000	介護等体験および教育実習 実施前年度までに単位を修 得すること。	
			火	1	D	2	三村 隆男	000		
			火	5	E	2	佐藤 晴雄	000		
		火	5	F	2	佐藤 干津	000			
		木	6	C	2	油布 佐和子	000			
		後期	火	4	G	2	薦澤 元晴	000		
			火	6	J(所沢)	2	奥野 武志	000		
木	5		B	2	内山 宗昭	000				
月	7			2	丹藤 浩	000				
1~	教職概論(中・高)	前期	月	7		2	丹藤 浩	000		教育実習実施前年度までに 単位を修得すること。
1~	教育基礎総論1(小・中・高)	前期	月	4	B	2	上坂 保仁	000		
			月	5	F	2	佐藤 隆之	000		
			月	5	J(所沢)	2	苫野 一徳	000		
		月	6	C	2	古賀 毅	000			
		水	5	E	2	裘 暁蘭	000			
		水	5	G	2	湯川 次義	000			
		水	6	D	2	長島 啓記	000			
金	3	A	2	岡村 遼司	000					
1~	教育基礎総論2(小・中・高)	後期	月	3	B	2	三村 隆男	000		
			月	4	F	2	三村 隆男	000		
			月	5	J(所沢)	2	苫野 一徳	000		
		月	6	C	2	古賀 毅	000			
		水	5	E	2	裘 暁蘭	000			
		水	5	G	2	湯川 次義	000			
		水	6	D	2	長島 啓記	000			
金	3	A	2	岡村 遼司	000					
1~	教育心理学(小・中・高)	前期	火	1	H	2	高橋 あつ子	000	介護等体験および教育実習 実施前年度までに単位を修 得すること。	
			火	6	B	2	麻柄 啓一	000		
			水	5	C	2	椎名 乾平	000		
			木	6	A	2	坂田 成輝	000		
			金	2	J(所沢)	2	長野 祐一郎	000		
			金	5	E	2	古屋 健	000		
		土	5	G	2	米倉 康江	000			
		後期	火	6	D	2	松沼 光泰	000		
			金	6	F	2	岡田 佳子	000		
			金	4	A	1	岡村 遼司	000		
			無	その他	E	1	沖 清豪	000		
後期	月		5	B	1	小林 宏己 三村 隆男	000			
夏季 集中	無	その他	C	1	苫野 一徳 佐藤 隆之	000	Cクラス:授業日は 8/19(木)~8/20(金)			
冬季 集中	無	その他	D	1	裘 暁蘭 三村 隆男	000	Dクラス:授業日は 12/24(金)~12/25(土)			
1~	道徳教育論(中・高)	前期	月	6	E	2	栗栖 淳	000		
			火	2	J(所沢)	2	鈴木 強	000		
			火	5	G	2	久保田 英助	000		
			木	3	B	2	岡村 遼司	000		
		後期	月	4	C	2	石堂 常世	000		
			月	5	F	2	佐藤 隆之	000		
			火	5	A	2	大川 洋	000		
			木	5	D	2	松木 久子	000		
			火	6	A	2	田沼 光明	000		
			火	6	D	2	有村 久春	000		
1~	特別活動論(中・高)	前期	土	2	B	2	金山 光一	000		
			土	3	H	2	金山 光一	000		
			月	1	F	2	古市 将樹	000		
			月	6	G	2	野口 穂高 新富 康央	000		
		後期	金	5	C	2	服部 伴文	000		
			土	2	E	2	金山 光一	000		
			土	4	J(所沢)	2	金山 光一	000		

配当年次	早稲田大学設置科目名	学期	曜日	時限	組名	単位	教員氏名	講義内容 掲載頁	備考				
2~	教育方法研究(中・高)	前期	月	5	B	2	原 克彦	000	2006年度以降入学者は、 <b>教育実習実施前年度までに単位を修得すること。</b>				
			月	6	E	2	仲 久徳	000					
			木	4	H	2	田中 博之	000					
			木	5	C	2	三尾 忠男	000					
			木	6	A	2	波多野 和彦	000					
		後期	月	5	F	2	仲 久徳	000					
			火	3	J(所沢)	2	川原 健太郎	000					
			木	4	I	2	田中 博之	000					
			木	5	D	2	三尾 忠男	000					
			木	6	G	2	波多野 和彦	000					
1~	生徒指導・進路指導論(中・高)	前期	火	4	E	2	佐藤 晴雄	000					
			水	5	D	2	薦澤 元晴	000					
			月	5	F	2	武蔵 由佳	000					
		後期	月	7	C	2	丹藤 浩	000					
			火	4	G	2	佐藤 晴雄	000					
			火	7	B	2	林 孝夫	000					
			水	6	A	2	長縄 久生	000					
			木	4	J(所沢)	2	鈴木 強	000					
			1~	生徒理解と教育相談(中・高)	前期	月	5	C		2	河村 茂雄	000	2007年度以前に教育臨床論の単位を修得した場合は、履修する必要はありません。
						火	5	B		2	今津 芳恵	000	
水	5	F				2	堀 正士	000					
後期	火	1			H	2	高橋 あつ子	000					
	火	5			D	2	今津 芳恵	000					
	水	2			J(所沢)	2	湯谷 優	000					
	木	6			A	2	坂田 成輝	000					
	金	5			E	2	古屋 健	000					
	土	5			G	2	米倉 康江	000					
	3~	総合演習(小・中・高)			前期	月	6	M	2	坂巻 義章	000	法令の改正により2012年度をもって廃止となります。それまでに修得することをお勧めします。	
火			6	B		2	大場 浩之	000					
火			6	O		2	楢原 毅	000					
水			3	J(所沢)		2	作野 誠一	000					
木			1	A		2	中金 聡	000					
木			4	I		2	田淵 句美子	000					
金			4	K		2	吉野 亜矢子	000					
金			6	G(西早稲田)		2	山名 早人	000					
後期			火	5		C	2	矢内 義顯	000				
			木	4		P	2	米村 健司	000				
			木	5	E	2	沖 清豪	000					
			木	6	F	2	渡邊 公夫	000					
			木	6	F	2	鈴木 晋一	000					
			木	6	N	2	楠元 範明	000					
			金	4	D	2	山西 優二	000					
			金	5	L	2	松本 礼二	000					
			金	6	H	2	笹原 宏之	000					
			3~	総合演習(中・高)	後期	木	4		2	浅野 幸子	000		
浦野 正樹													
川西 崇行													

配当 年次	早稲田大学設置科目名	学期	曜日	時限	組名	単 位	教員氏名	講義内容 掲載頁	備考
4~	教育実習演習(中学)	通年	月	3	L	5	石堂 常世	000	<p>教育実習実施年度に履修してください。教育実習を実施するためには前提条件があります。</p> <p>3週間実習を行う場合は、必ず「教育実習演習(中学)」(5単位)を登録してください。また、中学のみ、または中・高両免許状の取得希望者は、「教育実習演習(中学)」(5単位)のみを登録(履修)してください。この場合、高校免許状の「教職に関する科目」の合計単位数に2単位加算されます。</p> <p>就職活動等の理由による欠席遅刻は認められないので注意すること。</p>
			月	4	E	5	坂内 夏子	000	
			月	4	G	5	本田 恵子	000	
			月	4	K	5	菊地 栄治	000	
			月	4	R	5	藤井 千春	000	
			月	5	A	5	三尾 忠男	000	
			月	5	U(東伏見)	5	宮内 孝知	000	
			月	6	J(所沢)	5	菅野 一徳	000	
			火	2	M	5	湯川 次義	000	
			火	5	F	5	山西 優二	000	
			水	1	Z	5	小松 茂久	000	
			水	5	C	5	岡村 遼司	000	
			水	5	H	5	長島 啓記	000	
			水	5	T	5	矢口 徹也	000	
			木	2	N	5	米村 健司	000	
			木	2	P	5	前田 耕司	000	
			木	4	B	5	朝倉 征夫	000	
			木	4	W	5	大越 篤	000	
			木	5	O	5	小林 敦子	000	
			木	5	V	5	油布 佐和子	000	
			木	5	X	5	菅野 静二	000	
木	5	Y	5	古井 純士	000				
木	6	Q	5	松本 芳之	000				
土	5	AA	5	田中 博之	000				
土	6	I	5	梅本 洋	000				
	休講				D				
	休講				S				
4~	教育実習演習(高校)	通年	月	3	L	3	石堂 常世	000	<p>教育実習実施年度に履修してください。教育実習を実施するためには前提条件があります。本手引きの「3 教育実習」の「実習実施前提条件」を参照のこと。</p> <p>2週間実習を行う場合は、学校種によらず「教育実習演習(高校)」(3単位)を登録してください。</p> <p>中学のみ、または中・高両免許状の取得希望者は、「教育実習演習(中学)」(5単位)の方を登録(履修)してください。</p> <p>就職活動等の理由による欠席遅刻は認められないので注意してください。</p>
			月	4	E	3	坂内 夏子	000	
			月	4	G	3	本田 恵子	000	
			月	4	K	3	菊地 栄治	000	
			月	4	R	3	藤井 千春	000	
			月	5	A	3	三尾 忠男	000	
			月	5	U(東伏見)	3	宮内 孝知	000	
			月	6	J(所沢)	3	菅野 一徳	000	
			火	2	M	3	湯川 次義	000	
			火	5	F	3	山西 優二	000	
			水	1	Z	3	小松 茂久	000	
			水	5	C	3	岡村 遼司	000	
			水	5	H	3	長島 啓記	000	
			水	5	T	3	矢口 徹也	000	
			木	2	N	3	米村 健司	000	
			木	2	P	3	前田 耕司	000	
			木	4	B	3	朝倉 征夫	000	
			木	4	W	3	大越 篤	000	
			木	5	O	3	小林 敦子	000	
			木	5	V	3	油布 佐和子	000	
			木	5	X	3	菅野 静二	000	
木	5	Y	3	古井 純士	000				
木	6	Q	3	松本 芳之	000				
土	5	AA	3	田中 博之	000				
土	6	I	3	梅本 洋	000				
	休講				D				
	休講				S				

## 教科教育法について

### 「教科教育法」履修上の注意

取得を希望する免許状の教科ごとに単位を修得してください。中学免許状取得希望者は「教科教育法1」「教科教育法2」「教科教育法3」が、高校免許状取得希望者は「教科教育法1」「教科教育法2」が必修です。  
仮に、「教科教育法1」「教科教育法3」や、「教科教育法2」「教科教育法3」の組み合わせで単位を修得した場合、高校の免許に必要な単位を満たしたことになりますのでご注意ください。

### 「教科教育法1・2」の半期化について

2010年度より、通年科目であった「教科教育法1・2」が半期化され、「教科教育法1」「教科教育法2」に分割されます。  
これに伴い、「教科教育法1」「教科教育法2」「教科教育法3」のいずれからの履修も、また同時の履修も可能になります。(教科「保健体育」は別ルールあり)

### 「保健体育」取得者への注意事項

保健体育については、授業内容の系統性がありますので「保健体育科教育法1」「保健体育科教育法2」の順番で履修をしてください。  
また、「保健体育科教育法3」については「保健体育科教育法1」「保健体育科教育法2」の修得後に履修することが望ましいです。  
さらに、「保健体育科教育法1」「保健体育科教育法2」は特別の理由がない限り、同一教員のクラスを履修して下さい。

### 重要 2010年度入学より適用【英語科教育法の履修条件について】

2010年度以降に入学した学生が英語科教育法1、英語科教育法2、英語科教育法3を履修する場合、以下の条件のうちいずれかを満たしていることが必要となります。

<履修条件> ・WeTEC 600点以上 ・TOEIC 555点以上

原則、WeTECの点数で条件をクリアすることが望ましい。

詳細については、本手引きのP16の[注3]を参照のこと。

配当年次	早稲田大学設置科目名	学期	曜日	時限	組名	単位	教員氏名	講義内容 掲載頁	備考		
2～	国語科教育法1	前期	火	6	F	2	大塚 敏久	000			
			金	5	D	2	古井 純士	000			
			金	5	E	2	大貫 眞弘	000			
			金	6	G	2	芳澤 隆	000			
		後期	水	4	B	2	金子 守	000			
			水	5	C	2	吉田 茂	000			
			木	5	A	2	町田 守弘	000			
2～	国語科教育法2	前期	水	4	B	2	金子 守	000			
			水	5	C	2	吉田 茂	000			
			木	5	A	2	町田 守弘	000			
		後期	火	6	F	2	大塚 敏久	000			
			金	5	D	2	古井 純士	000			
			金	5	E	2	大貫 眞弘	000			
			金	6	G	2	芳澤 隆	000			
2～	国語科教育法3	前期	火	5	E	2	大塚 敏久	000			
			水	5	C	2	桑原 隆	000			
			金	6	A	2	平野 孝子	000			
		後期	水	5	D	2	古井 純士	000			
			金	6	B	2	平野 孝子	000			
			2～	社会科教育法1	前期	月	6	D	2	本木 弘悌	000
						火	6	A	2	田部 俊充	000
金	4	B				2	近藤 裕幸	000			
金	5	C				2	近藤 裕幸	000			
後期	月	5			F	2	本木 弘悌	000			
	月	6			G	2	本木 弘悌	000			
	火	5			H	2	田部 俊充	000			
2～	社会科教育法2	前期	火	6	E	2	近藤 裕幸	000			
			土	2	E	2	近藤 裕幸	000			
			月	6	G	2	今井 修	000			
			火	3	I	2	滝澤 民夫	000			
		後期	火	6	E	2	片岡 理	000			
			木	5	F	2	北河 賢三	000			
			土	2	H	2	三橋 廣夫	000			
2～	社会科教育法3	前期	月	6	C	2	今井 修	000			
			火	6	A	2	片岡 理	000			
			木	5	B	2	北河 賢三	000			
			土	2	D	2	三橋 廣夫	000			
		後期	火	6	B	2	小嶋 栄一	000			
			火	6	C	2	小泉 博明	000			
			木	5	A	2	阿部 信太郎	000			
2～	地理歴史科教育法1	前期	木	6	E	2	小国 喜弘	000			
			金	7	D	2	吉田 俊弘	000			
			火	6	I	2	小泉 博明	000			
			木	5	F	2	小国 喜弘	000			
		後期	木	5	H	2	阿部 信太郎	000			
			木	6	G	2	小国 喜弘	000			
			月	5	B	2	加藤 史朗	000			
2～	地理歴史科教育法1	前期	水	4	A	2	福元 雄二郎	000			
			水	5	D	2	福元 雄二郎	000			
			金	4	E	2	大橋 幸泰	000			
			金	5	C	2	池 俊介	000			
			金	6	F	2	望月 雅士	000			
			月	5	G	2	加藤 史朗	000			
		後期	水	4	I	2	福元 雄二郎	000			
			水	5	H	2	福元 雄二郎	000			
			金	4	K	2	大橋 幸泰	000			
			金	5	L	2	池 俊介	000			

配当年次	早稲田大学設置科目名	学期	曜日	時限	組名	単位	教員氏名	講義内容 掲載頁	備考			
2~	地理歴史科教育法2	前期	月	7	I	2	松井 吉昭	000				
			木	6	H	2	野中 敬	000				
			金	6	L	2	濱川 栄	000				
			土	2	G	2	松丸 明弘	000				
			土	6	K	2	熊本 秀子	000				
		後期	月	7	F	2	松井 吉昭	000				
			木	6	D	2	野中 敬	000				
			金	6	B	2	望月 雅士	000				
			金	6	E	2	濱川 栄	000				
			土	2	A	2	松丸 明弘	000				
			土	6	C	2	熊本 秀子	000				
			2~	公民科教育法1	前期	月	6	E		2	中鷹 裕一	000
						火	5	D		2	樽原 毅	000
						水	6	F		2	小国 喜弘	000
木	7	C				2	魚山 秀介	000				
土	4	A				2	宮崎 猛	000				
後期	土	5			B	2	大杉 昭英	000				
	火	5			G	2	樽原 毅	000				
	水	6			I	2	小国 喜弘	000				
	土	4			H	2	宮崎 猛	000				
	2~	公民科教育法2			前期	火	5	G	2	小泉 博明	000	
水			6	I		2	吉田 俊弘	000				
土			5	H		2	宮崎 猛	000				
後期			月	6	E	2	中鷹 裕一	000				
			火	5	D	2	小泉 博明	000				
			水	6	F	2	吉田 俊弘	000				
			木	7	C	2	魚山 秀介	000				
			土	5	A	2	宮崎 猛	000				
			土	5	B	2	大杉 昭英	000				
			2~	数学科教育法1	前期	木	4	B	2	渡邊 公夫	000	
木	5	C				2	池田 敏和	000				
金	5	A				2	渡邊 公夫	000				
2~	数学科教育法2	後期	木	4	B	2	渡邊 公夫	000				
			木	5	C	2	池田 敏和	000				
			金	5	A	2	渡邊 公夫	000				
2~	数学科教育法3	前期	水	6	A	2	熊倉 啓之	000				
			木	6	C	2	池田 敏和	000				
		後期	水	6	B	2	熊倉 啓之	000				
			2~	理科教育法1	前期	月	5	A	2	宮下 敦	000	
火	6	C(西早稲田)				2	中山 匡	000				
後期	火	6			B	2	多々谷 卓爾	000				
	2~	理科教育法2			前期	水	6	B	2	二宮 稷	000	
後期			月	5		A	2	宮下 敦	000			
	2~	理科教育法3	後期	火	6	C(西早稲田)	2	中山 匡	000			
月				6	A	2	新井 宏嘉	000				
2~	英語科教育法1	前期	水	6	B	2	二宮 稷	000				
			火	2	J(所沢)	2	瀧谷 和郎	000				
			火	6	F	2	中山 健治	000				
			木	5	E	2	原田 哲男	000				
			金	3	B	2	石田 雅近	000				
		後期	金	5	A	2	神保 尚武	000				
			木	5	D	2	原田 哲男	000				
			金	4	C	2	石田 雅近	000				
			2~	英語科教育法2	前期	木	6	D	2	澤木 泰代	000	
						金	4	C	2	石田 雅近	000	
後期	火	6				F	2	中山 健治	000			
	木	6				E	2	澤木 泰代	000			
	金	2				J(所沢)	2	保崎 則雄	000			
	金	3			B	2	石田 雅近	000				
	金	5			A	2	神保 尚武	000				
2~	英語科教育法3	前期			火	6	E	2	堀口 貴治	000		
					金	5	C	2	阿野 幸一	000		
					金	6	A	2	阿野 幸一	000		
		後期	金	3	J(所沢)	2	保崎 則雄	000				
			金	5	D	2	阿野 幸一	000				
			金	6	B	2	阿野 幸一	000				
2~	保健体育科教育法1	前期	月	1	B(所沢)	2	吉永 武史	000				
			月	5	C(所沢)	2	細越 淳二	000				
			火	2	E(所沢)	2	池田 延行	000				
			木	2	D(所沢)	2	本村 清人	000				
			木	5	A(所沢)	2	友添 秀則	000				
			2~	保健体育科教育法2	後期	月	1	B(所沢)	2	吉永 武史	000	
月	5	C(所沢)				2	細越 淳二	000				
火	2	E(所沢)				2	池田 延行	000				
木	2	D(所沢)				2	本村 清人	000				
木	5	A(所沢)				2	友添 秀則	000				

配当年次	早稲田大学設置科目名	学期	曜日	時限	組名	単位	教員氏名	講義内容 掲載頁	備考
2~	保健体育科教育法3	前期	金	1	C(所沢)	2	吉永 武史	000	
		夏季集中	無		A(所沢)	2	岡出 美則	000	
		冬季集中	無		B(所沢)	2	岡出 美則	000	
2~	情報科教育法1	前期	火	6	B	2	半田 亨	000	
		後期	月	5	A	2	橘 孝博	000	
2~	情報科教育法2	前期	月	5	A	2	橘 孝博	000	
		後期	火	6	B	2	半田 亨	000	
2~	工業科教育法1	前期	水	6	(西早稲田)	2	棟近 雅彦	000	
2~	工業科教育法2	後期	水	6	(西早稲田)	2	棟近 雅彦	000	
2~	商業科教育法1	前期	月	6		2	山岡 昭吉	000	
2~	商業科教育法2	後期	月	6		2	山岡 昭吉	000	
2~	ドイツ語科教育法1	前期	月	5		2	眞岩 啓子	000	
2~	ドイツ語科教育法2	後期	月	5		2	神尾 達之	000	
2~	ドイツ語科教育法3	前期	土	2		2	原 克	000	
2~	フランス語科教育法1	前期	木	5		2	丸川 誠司	000	
2~	フランス語科教育法2	後期	木	5		2	丸川 誠司	000	
2~	フランス語科教育法3	前期	木	6		2	山根 祐佳	000	
2~	ロシア語科教育法1	前期	月	4		2	桑野 隆	000	
2~	ロシア語科教育法2	後期	月	4		2	桑野 隆	000	
2~	ロシア語科教育法3	休講							
2~	中国語科教育法1	前期	水	1		2	村上 公一	000	
2~	中国語科教育法2	後期	水	1		2	村上 公一	000	
2~	中国語科教育法3	前期	金	3		2	高橋 良行	000	
2~	スペイン語科教育法1	前期	火	2		2	後藤 雄介	000	
2~	スペイン語科教育法2	後期	火	2		2	後藤 雄介	000	
2~	スペイン語科教育法3	前期	金	1		2	佐藤 麻里乃	000	

## (2) 教職に関する科目(選択)

### ■「教科教育法4」履修上の注意

「教科教育法4」を登録するためには、同一教科の「教科教育法1・2」の単位を修得済みである必要があります。

高校1種「地理歴史」または「公民」の免許状を取得する場合、「社会科教育法4」の単位を修得すると、当該科目の単位は「教科又は教職に関する科目」の単位になります。

配当年次	早稲田大学設置科目名	学期	曜日	時限	組名	単位	教員氏名	講義内容 掲載頁	備考
2~	教職研究I(学校教育法規)	後期	木	6		2	白川 優治	000	
2~	教職研究II(教育行政法規)	休講							
2~	教職研究III(日本教育史)	前期	火	6		2	久保田 英助	000	
2~	教職研究IV(西洋教育史)	休講							
2~	教職研究V(学校外教育)	前期	火	4		2	裘 暁蘭	000	
2~	教職研究VIII(人権教育論)	後期	木	3		2	岡村 遼司	000	
2~	教職研究IX(教育経営)	前期	金	5		2	服部 伴文	000	
3~	授業技術演習	前期	月	6~7	A	2	三尾 忠男	000	
		後期	火	6~7	B	2	小林 宏己	000	
			木	6	C	2	茅野 政徳	000	
3~	国語科教育法4	前期	金	6		2	熊谷 芳郎	000	
3~	社会科教育法4	後期	土	1	B	2	大貴 眞弘	000	
			土	3	A	2	近藤 裕幸	000	
3~	英語科教育法4	前期	金	7		2	三橋 廣夫	000	
						2	阿野 幸一	000	

### (3) 教職課程科目 教科又は教職に関する科目

「教育インターンシップ」履修上の注意  
 「教育インターンシップ」の科目は、下記の受講条件のいずれかを満たしている必要があります。本科目の履修を希望する方は、Webでの科目登録と共に、Waseda-netポータルより、「2010年度教育インターンシップ登録希望申請」アンケートに回答してください(登録期間は、教職科目の登録期間に準じます)。いずれかが漏れた場合は、「教育インターンシップ」科目の登録は認められませんのでご注意ください。  
 【説明会の開催】2010年4月6日(火)昼休み(12:10～13:00)、16号館701教室にて説明会を開催するので、科目登録者または希望者は参加をすること。  
 【アンケートフォーム】

Waseda-netポータルログイン後、左側メニュー[授業]カテゴリーの中の「2010年度教育インターンシップ登録希望申請」を選択。

【受講条件】

- 1.人間理解基盤講座の単位を既得または並行履修していること。(並行履修の場合は、前期登録をおこなうこと。)(教育インターンシップBクラスは必須)
  - 2.教職概論、教育原理(「教育基礎総論(小・中・高)」または「教育基礎総論(中・高)」)、および「教育課程編成論(小・中・高)」または「教育課程編成論(中・高)」でも可)、教育心理学、教科教育法1・2の単位を修得していること。
- 生徒指導・進路指導論および教育方法研究の単位を既得または並行履修していることが望ましい。

「中等国語科インターンシップ」履修上の注意(日程等の詳細は掲示を参照のこと)

「中等国語科インターンシップ」の科目を履修するには、下記の前提条件があります。また、科目登録はWebで行いませんので、3月の成績発表後、教育学部に備え付けの書面(中等国語科インターンシップ科目履修申請書)に必要事項を記入し、教育学部事務所へ直接提出してください。その後、教員による面接を経て登録を認めます。面接の結果、登録が認められないこともあります。

【前提条件】

- 1.2009年度までに「国語科教育法1・2」の単位を取得している人。あるいは2010年度に「国語科教育法1」「国語科教育法2」を受講予定である人。
- 2.前年度までに教育学部国語国文学科専門選択科目(オープン科目)である「授業に活かすマルチメディア」、「届く声を育てるワークショップ」、「授業に活かす朗読講座」のうち1科目2単位を取得している人。あるいは本年度、「授業に活かすマルチメディア」、「授業に活かす朗読講座」のどちらかを履修することによって上記条件を満たせる人(これらの科目は研究授業のために必要です。)

配当年次	早稲田大学設置科目名	学期	曜日	時限	組名	単位	教員氏名	講義内容 掲載頁	備考
3～	介護体験実習講義	通年	金	5	E	2	高橋 文禮	000	介護等体験を実施する年度に履修してください。介護等体験を実施するためには前提条件があります。 単位を修得するためには、以下3つの条件を全て満たすことが必要です。 講義に全て出席すること、7日間の介護等体験を行うこと、日誌等全てを記入した「介護等体験ノート」を体験後指定された期間内に提出すること。 講義を1回でも欠席した場合は、介護等体験を行うことができません。
							山田 祐子		
			金	5	F	2	高橋 文禮	000	
							山田 祐子		
			金	6	G	2	山田 祐子	000	
							高橋 文禮		
			金	6	H	2	高橋 文禮	000	
							山田 祐子		
			金	6	I	2	山口 幸一郎	000	
							小倉 尚子		
			金	6	K	2	小倉 尚子	000	
							山口 幸一郎		
			金	7	L	2	小倉 尚子	000	
山口 幸一郎									
金	7	M	2	山口 幸一郎	000				
				小倉 尚子					
土	3	A	2	湯汲 英史	000				
				吉田 真理子					
土	3	B	2	湯汲 英史	000				
				吉田 真理子					
土	4	C	2	湯汲 英史	000				
				吉田 真理子					
土	4	D	2	湯汲 英史	000				
				吉田 真理子					
2～	人間理解基盤講座	前期	土	3～4	A	2	本田 恵子	000	
							大貫 学		
2～	人間理解基盤講座	後期	土	3～4	B	2	湯谷 優	000	
							難波 克己		
							加瀬 恭子		
							鈴木 眞理		
							山口 幸一郎		
							坂爪 一幸		
							鈴木 俊介		
							坂爪 一幸		
							難波 克己		
							大貫 学		
							加瀬 恭子		
本田 恵子									
湯谷 優									
鈴木 俊介									
鈴木 眞理									
山口 幸一郎									
3～	教育インターンシップ	通年	無	その他	A	4	河村 茂雄	000	特に決まった曜日・時間はありません。4月6日(火)昼休み(12:10～13:00)に16号館701教室にて説明会を開催するので科目登録者または希望者は参加をすること。
							山口 幸一郎		
							坂爪 一幸		
							本田 恵子		
3～	中等国語科インターンシップ	前期夏季	無	その他		2	大津 雄一	000	前提条件あり
							金井 景子		
2～	教職研究 (生涯教育)	休講	火						
2～	教職研究VII(障害児教育)	前期	火	6		2	覚張 秀樹	000	特別支援学校1種免許状取得希望者は履修することが望ましい。

#### (4)教職用教科に関する科目

##### 履修上の注意

政治経済学部、法学部、教育学部、社会科学部生が中学1種「社会」、高校1種「地理歴史」「公民」の免許状を取得するために履修が必要な場合がある「教科に関する科目」です。また、「新国語教育講座」は、第一文学部、第二文学部、教育学部、文学部、文化構想学部生が中学1種「国語」、高校1種「国語」の免許状を取得するために、選択科目として履修できる「教科に関する科目」です。所属学部の「学部要項」(教育学部生は「授業ガイド」)を参照し、必要な科目を履修してください。

配当年次	早稲田大学設置科目名	組名	学期	単位	教員氏名	曜日	時限	講義内容 掲載頁	受講許可学部	
2~	日本史I	A	前期	2	高木 徳郎	木	5	000	教育学部	
		B	後期	2	高木 徳郎	木	5	000		
2~	日本史II	A	前期	2	今井 修	火	5	000		
		B	後期	2	今井 修	火	5	000		
2~	外国史I	A	前期	2	室 潔	木	5	000		
		B	後期	2	室 潔	木	5	000		
2~	外国史II	A	前期	2	石見 清裕	月	5	000		
		B	後期	2	石見 清裕	月	5	000		
2~	外国史III	A	前期	2	石川 寛	木	5	000		
		B	後期	2	石川 寛	木	5	000		
2~	地理I	A	前期	2	財城 真寿美	水	5	000		政治経済学部
		B	後期	2	大森 博雄	月	5	000		
2~	地理II	A	前期	2	菊池 慶之	月	6	000	法学部	
		B	後期	2	菊池 慶之	月	6	000		
2~	地理III	A	前期	2	中川 秀一	水	5	000	教育学部	
		B	後期	2	中川 秀一	水	5	000		
2~	地誌I	A	前期	2	川元 豊和	水	6	000	商学部	
		B	後期	2	川元 豊和	水	6	000		
2~	地誌II	A	前期	2	山下 清海	月	5	000	社会科学部	
		B	後期	2	山下 清海	月	5	000		
2~	政治学I	A	前期	2	土屋 彰久	月	6	000	教育学部	
		B	後期	2	土屋 彰久	月	6	000		
2~	政治学II	A	前期	2	樋口 雄人	木	6	000		
		B	後期	2	樋口 雄人	木	6	000		
2~	法律学	A	前期	2	北山 雅昭	月	5	000		
		B	後期	2	北山 雅昭	月	5	000		
2~	経済学I	A	前期	2	渡辺 和則	金	5	000		
		B	後期	2	渡辺 和則	金	5	000		
2~	経済学II	A	前期	2	藁谷 友紀	水	5	000		
		B	後期	2	藁谷 友紀	水	5	000		
2~	社会学(教職)	A	前期	2	鈴木 健之	金	5	000		
		B	後期	2	鈴木 無二	月	5	000		
2~	新国語教育講座		前期	2	堀 誠	火	3	000	第一文学部 第二文学部 教育学部 文学部 文化構想学部	
					桑原 隆	火	3			
					松本 直樹	火	3			
					大津 雄一	火	3			
					仁科 明	火	3			
					宮脇 真彦	火	3			
					田淵 旬美子	火	3			
					中嶋 隆	火	3			
					内山 精也	火	3			
					和田 敦彦	火	3			
					町田 守弘	火	3			
					石原 千秋	火	3			
松木 正恵	火	3								

## 2 授業

### (1) 教室

授業を実施する教室は以下の方法でお知らせします。

「登録結果通知書」への記載。

シラバスシステム ([早稲田大学トップページ] - [在学生の方] - [シラバスシステム])

教育学部掲示板への掲示。(4月中のみ)

### (2) 教室変更

教育学部掲示板および教育学部ホームページに随時掲示します。

### (3) 休講

担当教員から連絡が入り次第、事務局は以下の方法でお知らせします。

A 教育学部掲示板への掲示。 B Waseda-net ポータルへの掲載。

交通機関ストライキの場合や、台風、大雨、洪水、暴風、暴風雪、大雪等の天候悪化に伴いキャンパスが危険であると大学が判断した場合は、授業休講・試験延期の措置(全学部共通のルール)をとることがあります。詳細は、所属学部・研究科の「学部要項」「研究科要項」等を確認してください。

### (4) 補講

休講があった場合は補講が行われることがあります。補講日時については教場で周知されるか、教育学部掲示板に掲示します。

### (5) 教育学部からの連絡事項

原則として教育学部掲示板に掲示します。ただし、全学部生向けの掲示は各学部掲示板に掲示することもあります。また、教育学部ホームページ、Waseda-net ポータルも適宜活用していく予定です。

## 3 試験・レポート

教育学部設置の「教職に関する科目」については、教育学部の基準が適用されます。

「教科に関する科目」等の他箇所設置科目については、設置箇所の基準が適用されます。

以下の基準は、教育学部の基準です。

### (1) 成績の評価

各科目の成績は、試験、小テスト、レポート、平常点、その他によって評価されます。

### (2) 試験

試験とは、試験期間を定めて実施される試験のことをいい、試験期間以外の授業時間内に担当教員が実施する試験は、小テストといいます。

#### (1) 試験期間に実施される試験について

試験に関する注意・試験対象科目・教室変更・試験欠席者の取り扱い等詳細については、その都度掲示および教育学部ホームページにてお知らせします。

#### (2) 他箇所の試験との時間割重複について

他箇所の試験と教育学部の試験が重複した教育学部生は、他箇所の試験を優先して受験し、別途「(7) 試験欠席者の取り扱い」の指示に従ってください。

#### (3) オープン科目試験実施方法について

オープン科目の試験・レポート実施方法については科目設置箇所の掲示板等で確認してください。

#### (4) 試験での「持込」について

試験において「持込」には次の3つのカテゴリーがあります。

全て可 全て不可 一部可

科目クラス毎の扱いは、試験の前に担当教員または事務所から発表します。

(5) 試験中の携帯電話等の取扱いについて

試験中は、携帯電話等の電源を切ってから、カバン等にしまってください。また、携帯電話等を時計として使用することは一切認めないので、時計が必要な場合は、別に持参してください。

(6) 受験上の注意

試験は厳正な態度で受けなければなりません。

試験時には毎時限、学生証を机の端に呈示しておいてください。学生証を忘れた場合は、担当教員又は監督員の指示に従ってください。

試験時の着席は、担当教員又は監督員の指示に従ってください。

原則として、試験開始後 20 分以上遅刻した学生は、受験を許可しません。退場は、担当教員又は監督員の指示に従ってください。

答案はとくに指示のない限り、ペン・ボールペン(青または黒)または黒鉛筆(HB)書きとします。

答案用紙・問題用紙は、とくに指示のない限り、室外に持ち出さないでください。

(7) 試験欠席者の取り扱い

正当な理由(【正当な理由とみなすもの・必要書類(欠席理由証明書)】参照)で、教育学部設置科目の試験を受験することができなかった学生が、次の要領で所定の手続きを行った場合には代替措置を受けることができます。受付期間・手続きの詳細は掲示および教育学部ホームページにてお知らせします。(他箇所設置科目については設置箇所の基準に従ってください。)

【手続対象者】正当な理由(病気等)により試験を受験できなかった学生

【対象科目】前期または学年末試験実施科目

【手続方法】)該当科目試験日翌日から起算して 7 日間以内(ただし、受付最終日が日曜・祝祭日の場合はその翌日)に、教育学部事務所へ『試験欠席届』(所定用紙)を提出。

)事務所が『試験欠席届』を担当教員に郵送。

)担当教員または事務所から学生に指示が出されるので、その指示に従う。

【必要書類】『試験欠席届』(所定用紙:教育学部事務所で用紙交付)

欠席理由証明書(【正当な理由とみなすもの・必要書類(欠席理由証明書)】参照)

【提出場所】教育学部事務所カウンター( の書類を持参)

事務所に提出する書類はすべて持参のこと。持参以外は受付不可。

代理人が手続きする場合は、依頼者の学生証のコピーと委任状(依頼者の署名・捺印の入ったもの)および代理人の身分を証明するものが必要。

【正当な理由とみなすもの・必要書類(欠席理由証明書)】(2009 年度末現在)

病気(歯科は除く)・事故の場合

...医師の発行した診断書(試験欠席日に受験不可能な理由が入ったもの)

交通機関の事故の場合

...遅延証明書(遅延時間が入ったもの。遅延時間が試験に間に合わないと判断できる場合)

他箇所の試験と重複の場合

...受験箇所発行の受験証明書<所定用紙>

(試験終了後、担当教員の印鑑またはサインをもらったもののみ有効)

大学院受験

...受験大学院発行の受験日が明記された「受験票」等

大学の代表として国体出場・全日本強化合宿参加

...それを証明できる証明書(競技スポーツセンター発行文書があれば大学代表とみなす)

教育実習・介護等体験 ... 実施証明書

親族(両親・兄弟・祖父母のみ可)の訃報 ... 会葬礼状

上記親族の納骨は可(会葬礼状必要)。法事は不可。

教員採用試験・公務員試験 ... 受験票

その他やむを得ない理由 ... これを証明できる証明書(事前に教育学部事務所に相談のこと)

就職活動は正当な理由とはみなされません。

本人の不注意(遅刻・時間割の見誤り等)による場合は認められません。

### (3)レポート提出

教場で担当教員が指示するか、教育学部掲示板に掲示します。

レポートボックスへ提出するよう指定されたレポートは、教育学部サービスルームで配布している「レポート表紙」を貼付し、提出期限までに、教育学部サービスルームに設置されている指定された番号のレポートボックスへ投函してください。投函できる時間はサービスルーム開室時間内です。提出期限を過ぎたレポートの提出は受け付けられません。成績に直結することが多いですので、くれぐれも期限を厳守してください。教育学部サービスルームについては、本書「参考資料」の項参照。

### (4)不正行為者に対する措置

試験における不正行為に対しては、所属学部の教授会における審議の上、厳重に処分します。不正行為者は卒業ができなくなることがあるほか、当該学生が教員免許状の一括申請をしている場合でも、卒業時に免許状が授与されないことがあります。

## 4 成績

### 成績の発表

所属学部の日程に従って発表します。

# 介護等体験・教育実習

## 1 介護等体験

### 1) 介護等体験基礎知識

#### (1) 介護等体験とは

1997年に「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」により、小学校・中学校の教諭の普通免許状を取得しようとする方に義務づけられました。個人の尊厳と社会連帯の理念に関する認識を深めることの重要性の観点から、社会福祉施設や特別支援学校(盲・ろう・養護学校)において、障害者、高齢者等に対する介護、介助、これらの方との交流等を体験させることを目的としています。

教員免許状(小学校及び中学校)の取得を目指す学生にとっては、介護等体験は欠かすことのできない要件となっています。一方、特別支援学校や社会福祉施設等の現場にとっては、学生が教員免許を取得するための受入体制を用意してくれている面もありますが、学生は諸活動を通して対人援助の実際・人権尊重や関係形成の重要性を感じ、その目的や本来的役割等について理解を深めることを求められています。

したがって、社会で重要な役割を担っている特別支援学校や社会福祉施設において、学生は体験させてもらうことによって現場を混乱させることのないよう前もって準備することが重要です。大学としては、事前指導として位置づけているガイダンス視聴や講義出席を満たさない者、体験先を不安にさせないよう義務付けている抗体検査証(陽性)を提出しない者などは、特別支援学校や社会福祉施設に派遣できないと判断します。体験生は、特別支援学校や社会福祉施設に関する基本知識を頭に入れておく、受け入れていただく立場であると認識する、マナーの欠ける言動・態度は避ける、求められた手続きを遂行する、自己都合(日程変更や体験内容変更など)を主張しすぎるのは控えるなど、体験生として相応しい姿勢で参加してください。受入施設・受入学校は、日頃から緊張感を持って本来の活動に勤しんでいます。その中に体験生を迎え、体験生が参加することを前提として運営にあたっているため、遅刻や当日欠席はもちろんのこと現場を混乱させ不安に陥れる言動は厳禁です。万が一、学生の取組み姿勢や内容に著しい問題があると判断した場合は、止むを得ず体験を中止させる場合があります(体験費用は学生負担)ので、注意してください。

なお、体験により知れた情報等を漏らしてはいけません。当然のことですので、厳に謹んでください。

#### (2) 対象者

1998年度以降入学者のうち小学校・中学校免許状取得希望者。

注意: 以下のいずれかに該当する場合は、介護等体験を実施する必要はありません。

保健師、助産師、看護師、准看護師、盲・ろう・養護学校教員、理学療法士、作業療法士、社会福祉士、介護福祉士、義肢装具士の免許・資格を既に取得している場合。

(ただし、取得見込みの場合は、介護等体験を実施する必要があります。)

身体障害者手帳に障害の程度が1級から6級であるとして記載されている場合。

「特別支援学校実習」を実施し、実習先学校の長から7日間以上の「介護等体験証明書」の発行をすでに受け、保持している場合。

所定(介護等体験受入れ施設とされている施設のみ)の社会福祉施設にて、実習先施設の長から7日間以上の「介護等体験証明書」の発行をすでに受け、保持している場合。

所定の社会福祉施設に勤務し、勤務先施設の長から7日間以上の「介護等体験証明書」の発行をすでに受け、保持している場合。

#### (3) 実施学年

3年次以降。ただし、体験の事前手続きは前年度から始まります。

#### (4) 前提条件

体験実施前年度までに「教職概論」の単位を修得済みであること。また、「教育心理学」の単位を修得済みであることが望ましい。これらの科目に充当される科目も可。

#### (5) 体験日数・体験先

特別支援学校にて2日間、社会福祉施設にて5日間、計7日間。ただし、何らかの事情でどちらかのみで体験を行う場合でも7日間以上行えばよい。

備考：体験先社会福祉施設・特別支援学校の所在地

所属している学部の所在地(キャンパス)	体験先社会福祉施設・特別支援学校の所在地
所沢キャンパス	埼玉県内
所沢キャンパス以外	東京都内

#### (6) 体験時期

5月中旬から翌年1月の間で社会福祉協議会、教育委員会の指定する計7日間

#### (7) 体験費

大学が代行して、社会福祉協議会に納付します。この他、体験中に必要な費用(昼食代など)の実費がかかる場合は、別途施設に直接支払っていただく必要があります。

体験先社会福祉施設所在地(および体験期間)	体験費(2009年度)
埼玉県(5日間)	8,000円
東京都(5日間)	10,500円

注意：一度納入された体験費は原則として返還できません。また、上記体験費は変更になる場合があります。

#### (8) 保険加入

介護等体験を行うにあたり傷害保険と賠償責任保険への加入が義務付けられています。

傷害保険は、入学時「学生教育研究災害保険」に加入済みです。賠償責任保険は別途加入しますが、保険料については体験費に含まれています。なお、加入手続きは大学が一括して行いますので、各自で行う必要はありません。

#### (9) 「介護等体験証明書」

体験終了時に、体験先社会福祉施設、特別支援学校が発行します。この証明書は原則として再発行されません。大学は、発行主体が異なるので再発行できません。なお、証明書は教員免許状申請時にも使用しますので、各自大切に保管してください。

#### (10) 体験日程変更

原則、日程変更は受け付けていません。やむを得ない理由が発生した場合には直ちに(少なくとも体験開始の1ヶ月前までに)、「介護等体験日程変更届」と「変更の理由を証明する書類」を教育学部事務所または所沢総合事務センターへ提出して下さい。(やむを得ない理由：休学、退学、病気、事故、教育実習との重複等)

#### (11) 辞退

辞退は原則認められません。やむを得ない理由で辞退せざるを得ないときには、1ヶ月前までに「介護等体験辞退届」を教育学部事務所または所沢総合事務センターへ提出してください。

注意：次年度以降改めて介護等体験を行う場合、介護等体験申し込みから再度手続きが必要です。

社会福祉施設における体験のみ、または特別支援学校における体験のみ辞退した場合、体験を実施し証明書が発行された体験については有効です。次年度以降、証明書が発行されていない体験のみを実施することができますので、再度体験を申し込む際は、その旨登録してください。

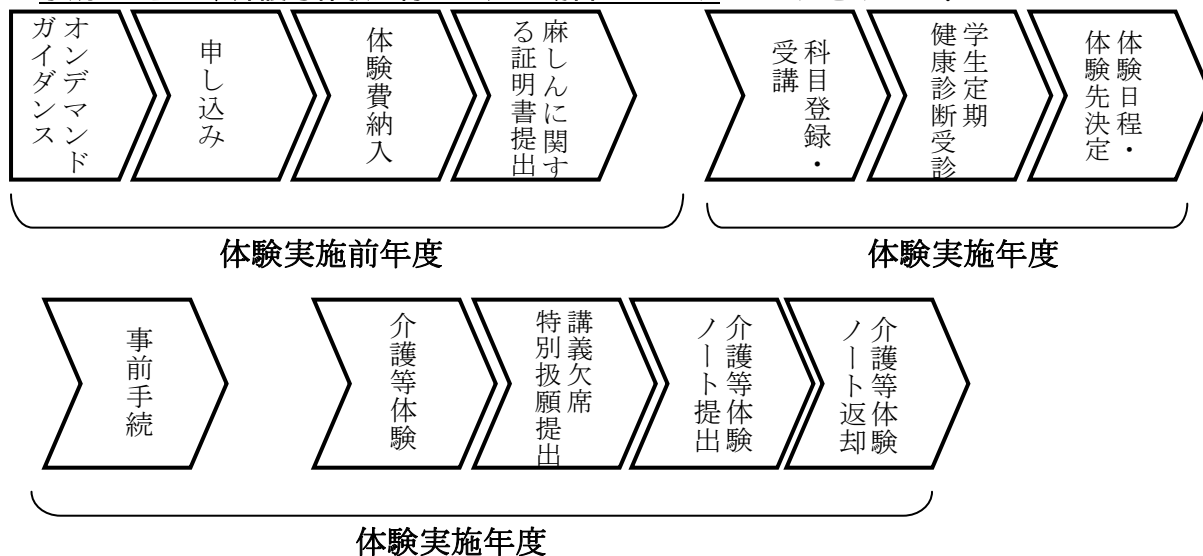
#### (12) 中止

体験先から介護等体験への取り組み姿勢や内容に著しい問題があると判断された場合は、体験を中止されることがあります。

## 2) 介護等体験関連手続き

介護等体験に関する連絡事項は各学部掲示板および Waseda-net ポータルでお知らせします。詳細は掲示及びポータルでご確認ください。

**手続きを怠ると、介護等体験が行えなくなる場合がありますのでご注意ください。**



\* 体験実施前後にも学生定期健康診断を診断することが望ましい。

### (1) 介護等体験オンデマンドガイダンス

対象者: 次年度介護等体験実施予定者

時期: 11月中旬公開予定

方法: Waseda-net ポータルからコースナビにて受講

内容: 介護等体験の心得・概要・事務手続きの説明、体験談等

注意: 次年度介護等体験実施予定者は必ず受講してください。

### (2) 介護等体験申し込み

時期: 11月中旬～12月上旬予定

方法: Waseda-net ポータルからコースナビにて申し込み

注意: 介護等体験実施予定年度に休・留学を予定している場合は、その旨登録してください。

介護等体験受入れの調整は、都県ごとに、社会福祉施設については社会福祉協議会、特別支援学校については教育委員会が行っています。また、介護等体験は体験先の施設・学校の厚意により受け入れていただいているものであり、日程については体験先で充分調整した上で決定されています。介護等体験の辞退、日程・体験先変更については、体験先の学校・施設に多大なご迷惑をおかけすることになるため、介護等体験を申し込む時点で予め日程等についてあらゆるケースを想定して申し込んでください。

### (3) 介護等体験費納入票配付・体験費納入

時期: 1月中旬

配付場所: 所属学部事務所

納入場所: 早稲田大学生協各店舗

### (4) 麻疹(はしか)に関する証明書提出

麻疹の抗体を十分に保有していることを確認の上、体験に派遣します。

以下の時期に保健センターで、麻疹の抗体検査を受けてください。(対象: 当年度に学生定期健康診断を受診した方のみ) また外部医療機関での抗体検査でも構いません。抗体検査受診後に以下のとおり抗体検査結果の提出をお願いいたします。

時期: 1月

提出書類: **麻疹の抗体保有を証明する抗体検査証**

提出場所: 教育学部サービスルームまたは所沢総合事務センターのレポートボックス

#### (5)「介護体験実習講義」科目登録・受講

本書「科目登録」「授業時間割」を参照し、科目登録・受講してください。遅刻・欠席は認められません。遅刻・欠席がある場合には体験先への派遣させないことがあります。また講義の欠席は、P.28の「正当な理由とみなすもの」に準じます。

#### (6)健康診断受診

保健センターが実施する学生定期健康診断を受診してください。受診しなかった場合は、各自、医療機関にて健康診断を受診してください。体験先社会福祉施設によっては「健康診断証明書」の提出が求められます。時期：4月

#### (7)体験先・日程決定

時期：決定次第（東京都：6月下旬～7月上旬、埼玉県：5月中旬）

（4月に体験日程の調査をおこないます。これを踏まえ体験・日程を決定します。）

方法：現住所宛に以下の書類を郵送します。

配付物：「介護等体験施設決定通知書」「詳細資料」

#### (8)事前手続

「介護等体験施設決定通知書」や「詳細資料」で必要な手続をお知らせします。体験先の種別、「個人票」「健康診断証明書」等の提出、事前オリエンテーション・事前連絡の有無、詳細等について確認し、必要な手続を行ってください。

注意：「健康診断証明書」は、保健センターが4月に実施する学生定期健康診断を受診していれば、6月1日以降、自動証明書発行機で発行することができます。

「細菌検査結果書」の提出が必要な方は、細菌検査用キットを使用して細菌検査を受検してください。細菌検査は検査結果が出るまでに10日程要しますので、早めに受検してください。

細菌検査用キットは教育学部事務所、所沢総合事務センターで配布します。

#### (9)介護等体験実施

体験中の手続：

昼食代、交通費等の必要経費がある場合は、体験先担当者へ支払ってください。

「介護等体験証明書」は体験初日に体験先へ提出し、体験終了後必要事項を記載していただいたものを受領してください。

「介護等体験ノート」内の日誌を記入し、体験先の方に「助言・指導欄」の記入をお願いしてください。

注意：

事故・トラブル等が発生した場合は、体験先の担当者の指示に従い、必要に応じて教育学部事務所まで報告をしてください。

体験当日に病気等で急に介護等体験を実施できなくなった場合は、大至急、体験先と教育学部事務所に連絡をとり指示に従ってください。

体験先において、ハラスメントにつながる言動は厳に慎んで下さい。また、体験生自身が、体験先でハラスメントに該当する被害を受けたと思われる場合は、速やかに大学（教育学部事務所、ハラスメント防止委員会等）にご相談してください。

#### (10)講義欠席特別扱願提出

所定の手続きを取ることで授業欠席の特別扱いを願い出ることができます。ただし、欠席の特別扱の認定についての判断は担当教員が行います。

の判断は担当教員が行います。

手続き書類：「講義欠席特別扱願」（正票・副票）（介護体験ノートに綴じ込み）

手続方法：「講義欠席特別扱願」参照。

注意：手続には「介護等体験証明書」が必要です。事前オリエンテーション等「介護等体験証明書」が発行されない場合は、「講義欠席特別扱願」を使用することはできません。各自担当教員に相談してください。

#### (11)「介護等体験ノート」提出

提出期限：体験後、指定された期間内

提出場所：教育学部サービスルームまたは所沢総合事務センターのレポートボックス

注意：期限内に提出しない場合、「介護体験実習講義」の単位を修得できません。

#### (12)「介護等体験ノート」返却

時期：3月下旬予定

方法：現住所へ郵送予定

「Q & A」の 2)介護等体験(P.72, P.73)も参照してください。

## 2 教育実習

### 1) 教育実習基礎知識

#### (1) 教育実習とは

教育実習とは、大学の専門課程や教職課程で学んできた知識の実践化を検証する機会であり、理論と実践の統合の場である。また、実習生として学校教育の全体を総合的に認識し体験できる機会である。最低限度の実践的指導能力を培う場であると同時に、その能力について自らの適性を見極める自己評価の場でもある。(「教育実習マニュアル」より)

教育実習は、教員免許状の取得を目指す学生にとっては欠かすことのできない要件となっています。早稲田大学では、卒業見込となる年次(4年生以上)に教育実習派遣を行います。教育実習は、各教育委員会や実習校などのご理解とご協力の下で、実施することができます。学校現場にとっては日常の学校運営(授業や学校行事など)に加えて、負担を承知のうえ実習生を受入れるわけですから、実習校との打合せを事前に行い、当該校の方針や見解を求め、迷惑をかけたりすることなく、かけがえのない職務経験を積んでください。単に学生として学ぶのではなく、教員に準ずる立場で教員としての視점에立って真摯な態度で日々の実習に臨んでください。

事前・事後の手続きについては、本書や各学部の掲示板等から情報を収集・確認し、スケジュールの管理を各自で確実に行ってください。また、実習校を訪問する際には、スーツを着用し、身だしなみ(髪型・髪色)、言動等への細かな気遣いが必要です。勤務態度・服装・礼儀・マナーなど実習生として相応しい姿勢で臨んでください。

その他注意点として、大学は、実習に先立って麻疹蔓延に対応する意味から実習予定者に抗体検査受診を呼びかけ、抗体を持たない学生にはワクチン接種を勧告し、これに応じない学生には教育実習を認めない方針をとっています。また、実習により知りえた情報等については、守秘義務を厳守してください。

実習生一人一人が熱意を持って教育実習を行うことを期待します。

#### (2) 実習実施前提条件

実習実施前年度の**教育実習ガイダンス**に出席すること。  
実習実施前年度の**教育実習事前登録**を期限内に完了していること。  
実習実施前年度までに、**以下の科目<sup>1</sup>の単位を修得済**であること。

2006年度以降入学者

- ・「教職概論」「教育基礎総論」「教育課程編成論」<sup>[注1]</sup>
- ・「教育心理学」「教科教育法1」「教科教育法2」<sup>[注2]</sup>
- ・「教育方法研究」
- ・「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」のうち2科目以上
- ・「教科に関する科目」のうち16単位以上

2005年度以前入学者

- ・「教職概論」「教育基礎総論」「教育課程編成論」(注1)「教育心理学」「教科教育法1・2」

<sup>[注1]</sup> 2007年度までに「教育原理」を修得済みの場合は、「教育基礎総論」「教育課程編成論」は前提条件となりませんので、特に受講する必要はありません。また、2008年度の「教育基礎総論(小・中・高)」「教育基礎総論(中・高)」は、2009年度より「教育基礎総論1」および「教育基礎総論2」に分割されました。また、2010年度より、通年科目であった「教科教育法1・2」が半期化され、「教科教育法1」「教科教育法2」に分割されます。

<sup>[注2]</sup> 「教科教育法1」「教科教育法2」は教育実習実施前年度までに単位を修得してください。ただし、2教科以上の免許状取得を希望する場合、1教科の「教科教育法1」「教科教育法2」(1・2は同教科)の単位を修得済みであれば教育実習を実施することが可能です。単位を修得していない教科の「教科教育法1」「教科教育法2」については、教育実習実施年度に並行履修できます。例えば中学社会と高校公民の取得を希望する場合、いずれかの教科

1 これらの科目に充当される科目でも可。

教育法1・2を実習前年度までに修得済みであれば、学校種、免許教科を問わず、教育実習に行くことが可能です。

実習実施年度中に教員免許状取得に必要なすべての科目の単位を修得済み、または修得見込であること。

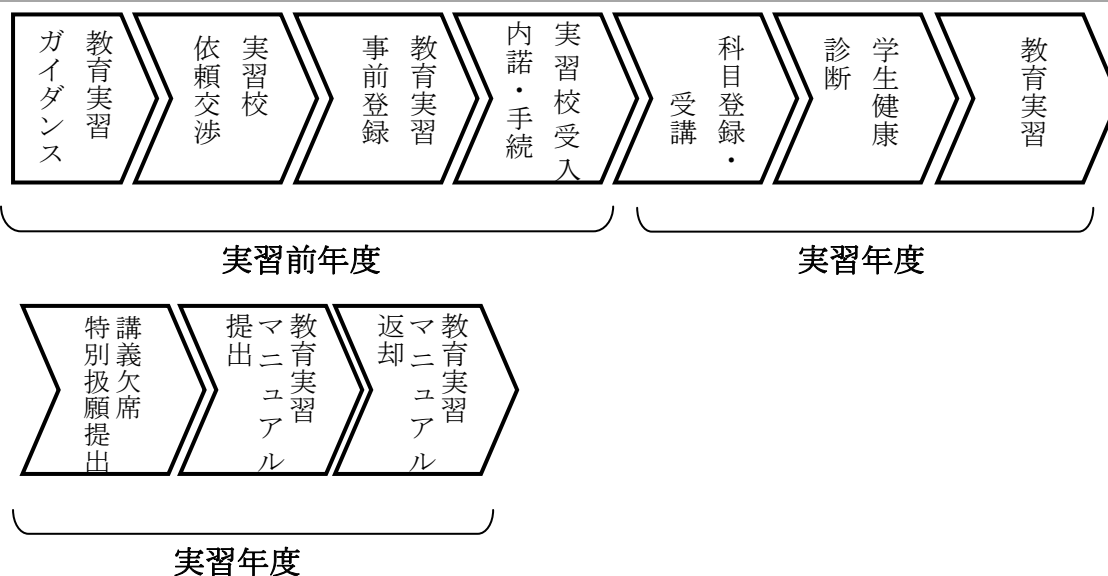
実習実施年度に卒業見込(4年生以上)であること。

### (3)実習期間・時期

取得希望免許状	最低実習期間	実習時期
小学校免許状	3週間	実習校が指定した時期
高校免許状のみ	2週間	
中学免許状のみ	3週間	
高校・中学免許状	3週間	
特別支援学校免許状	2週間 注	

注 特別支援学校免許状は、中学または高校免許状の取得が前提になります。そのため、教育実習も特別支援学校での実習のほかに、中学または高校での実習が必要となります。

## 2)教育実習までの流れ



実習前年度に行くことについては、教育実習ガイダンスで説明いたします。また、実習に関する重要なお知らせは、各所属箇所掲示板の他、Waseda-net ポータルのお知らせ等でも掲載します。以下、実習前年度に行くにあたって特に重要なことについて記します。

### (1)教育実習ガイダンス

対象者：翌年度教育実習予定者（留学を挟んで翌々年に実習を予定している場合も対象）

日時：3月17日開催（学士入学者や再入学者に対しては、4月5日開催）

内容：教育実習の心得及び注意事項、教育実習派遣までの手続に関する説明

ガイダンス出席以降にガイダンス内容を復習できるようにオンデマンド視聴環境も用意する予定ですので、ご活用ください。なお、当日は、教育実習内諾活動に教育実習を行うための「実習校探し」のために、「内諾書」「伺い書」等の書類を配布します。

### (2)教育実習事前登録

時期：6月中旬～8月初旬

方法：Waseda-net ポータル上から登録

内容：教育実習依頼交渉の状況について、アンケートを行います。実習校内諾を得られた場合も、活動途

中の場合も、翌年度教育実習を希望している方は必ず登録してください。  
注意： 期間内に登録されない場合は、翌年度教育実習の派遣は行いません。  
内諾が得られなかった場合、内諾の返事待ちの場合も期間内に登録してください。  
登録事項に変更が生じた場合は、教育学部事務所へご連絡ください。

### (3)科目登録・受講(教育実習演習・特別支援学校実習)

登録する当該年度の「教職課程履修の手引き」や各所属箇所が発行する科目登録の手引き(またはそれに順ずるもの)を参考に、手続きするようにしてください。教育実習演習での事前・事後指導には遅刻・欠席することはできません。これらがある場合には、実習校への派遣を中止することがあります。

### (4)学生健康診断受診

実習校に健康診断書の提出を求められた場合は、必ず4月に保健センターが実施する学生定期健康診断を受診してください。これに参加しない場合、大学における健康診断書の発行はできません。また、実習校によっては、独自の書式による健康診断書の提出を求められることがあります。内諾を得る際に、各自で確認するようにしましょう。

#### 麻しん(はしか)に関する注意

教育委員会や実習校では、麻しんの抗体があること或いはワクチン接種をしていることを実習受入の条件にしているケースがあります。各自で実習校に確認し、必要な対応を行うようにしてください。不安がある方は、医療機関や保健センターに相談しましょう。

### (5)教育実習実施

#### 実習校への挨拶・手続き

実習に行く方に、実習校宛の受入依頼など、実習に関する必要書類をお渡しいたします。(個人実習の方のみ)実習校との事前打ち合わせ前(あるいは当日)に必ず持参し、挨拶しましょう。

書類配付方法は、3月中旬に所属学部掲示板や Waseda-net ポータル等でお知らせします。

#### 実習開始・終了報告

4月中旬頃、実習期間を Waseda-net ポータル上で登録していただきます。

また、「教育実習演習」担当教員に実習開始1週間前までに実習を行なう旨、終了後は結果報告を必ずしてください。また、他に履修中の科目担当教員には、所定の手続きを取ることで授業欠席の特別扱い(講義欠席特別扱願)を願い出ることができます。ただし、出欠の判断は担当教員が行います。

#### 実習中のトラブル・事故・病気等

実習中に怪我をしたなど実習先でのトラブルがあった場合は、必ず教育学部事務所または「教育実習演習」担当教員に相談してください。

### (6)教育実習定期

#### 実習用通学定期乗車券とは

学生が授業や教育実習などのために大学以外の場所に通う場合に適用される通学定期券です。通常の通学定期券とは違い、原則「学生証」や通学証明書のみでは購入することができません。

事前に大学から各鉄道事業者へ申請し、承認をいただく必要があります。

その為、申請から実習用定期を購入できる様になるまで約3週間を要します。

教育実習開始予定日が確定してからの申請になります。

複数の鉄道事業者にまたがって通学する場合は、全事業者に申請をする必要があります。

教育実習の期間は2～3週間ですが、定期券は1ヶ月単位での購入になりますので、

事前に交通費を確認しておく事をお勧め致します。

## 実習用通学定期乗車券 申請方法

1. 「実習用通学定期乗車券発売申込書(PDF)」を以下からダウンロード  
教職課程ホームページ(<http://www.edu-waseda.net/index.php>)
2. web 上にある「記入例」と「記入方法」を参照して申込書を記入
3. 教育実習開始日を確認し以下の日程で提出

1.実習開始日	2.申請期間 1	3.承認書 受渡開始日
5/6～6/4 の場合	3/15～3/31 までに申込書を教育学部事務所へ提出	4/26～ 教育学部事務所にて受取
6/5～6/25 の場合	4/1～4/15 までに申込書を教育学部事務所へ提出	5/19～ 教育学部事務所にて受取
6/26～9/27 の場合	4/16～5/7 までに申込書を教育学部事務所へ提出	6/16～ 教育学部事務所にて受取
9/27 以降の場合	7/1～8/2 までに申込書を教育学部事務所へ提出	9/1～ 教育学部事務所にて受取

- 4.教育学部事務所にて「承認書」「通学証明書」を受取の後、定期券販売所にて定期券購入

### 申請期間経過後の申込書の提出について

申請期間後の提出については受付は致しますが、承認書の発行が実習開始に間に合わない可能性が高くなります。また、申請期間内に提出された方を優先的に処理致しますのでご了承下さい。

### その他注意事項

- ・鉄道事業者によっては実習用通学定期乗車券が無い鉄道事業者があります。  
その際は、教育学部事務所より別途連絡いたします。
- ・承認書の自宅郵送は原則致しませんので、必ず教育学部事務所まで受取に来て下さい。
- ・地方の鉄道事業者へ申請の場合、通常より申請時間がかかる可能性がありますので、出来るだけ早めの申請をお勧め致します。

## 3) 教育実習が終了したら

### (1) 実習校への挨拶

教育実習終了後、お世話になった先生方にお礼状を出し、感謝の念を示しましょう。(教員就職が決定した場合もお知らせしましょう。)

### (2) 「教育実習マニュアル」提出・返却

教育実習演習の授業が終了した後、提出していただきます。提出方法詳細は11月下旬、各学部掲示板にてお知らせします。また、マニュアルは卒業式もしくはそれ以降に返却されます。

注意： 提出されなかった場合、「教育実習演習」の単位修得はできません。また、教育実習を実施したことにもなりません。

「出勤簿」を提出する必要はありません。

「Q&A」の 3)教育実習(P.73, P.74)も参照してください。

### 3 教員免許状申請

教員免許状は都道府県教育委員会が発行します。教員免許状申請は、「一括申請」と「個人申請」の2つの方法があります。

#### 1) 一括申請

東京都教育委員会が定める事務手続きに従って、本学から東京都教育委員会に対して申請する方法です。この一括申請による免許状は東京都教育委員会より発行され、卒業と同時に授与されます。

ただし、所沢キャンパスの学生は所沢総合事務センターから埼玉県教育委員会に申請することになり、下記とは別日程となりますので、詳細は所沢総合事務センターからの掲示等によるお知らせを参照してください。

対象者：在學生(科目等履修生を含む)のうち、申請年度3月に卒業見込みで、かつ教育職員免許法に定める所要資格を取得する見込みの方。例外的な履修をしている場合は、対象外となる場合もあります。手続き詳細は、申込期間が近づきましたら別途掲示でお知らせいたします。

申請料：免許状1枚につき3,500円(単位証明手数料200円を含む) **2009年度実績**

手続き：下記を参照してください。詳細は日程が近づきましたら掲示等でお知らせします。

月	手続き	場所	注意
7	申込み	Waseda-net ポータル上	
11	宣誓・署名・捺印	所属学部・研究科事務所	
	申請料金納入	早稲田大学生協各店舗	
3	免許状交付	学位授与会場等	

#### 2) 個人申請

卒業後に各個人が、住民票のある都道府県の教育委員会に申請する方法です。申請から授与までに1~2ヶ月程かかります。教育委員会によって、必要書類や手続き期間が異なりますので、詳細は、申請を出す予定の都道府県の教育委員会のホームページを参照するか、直接お問い合わせください。

注意：教員就職が内定している場合は、採用された学校のある都道府県教育委員会へ申請が必要な場合があります。詳細は採用決定後、各教育委員会へお問い合わせください。

「Q & A」の 4) 教員免許状申請(P. 74)も参照してください。

# 大学院における免許取得

## 1 大学院で取得できる免許状

大学院の課程で取得できる教員免許は、専修免許状です。専修免許状を取得するには、一種免許状の所要資格(学士の学位と、法令で定められた単位数)を有する必要があります。

## 2 早稲田大学(大学院)で取得できる免許状

研究科	専攻	取得できる免許状の種類	
		中学専修	高校専修
政治学研究科	政治学専攻	社会	公民
経済学研究科	理論経済学専攻, 経済史専攻	社会	地理歴史, 公民
	応用経済学専攻	社会	公民
	経済学専攻経済学コース(2010年度入学生より)	社会	地理歴史, 公民
	経済学専攻国際政治経済学コース(2010年度入学生より)	社会	公民
法学研究科	全専攻	社会	公民
文学研究科 (2007年度以降入学者)	人文科学専攻	国語, 英語, 社会 中国語, ドイツ語 フランス語, ロシア語	国語, 英語 地理歴史, 公民 中国語, ドイツ語 フランス語, ロシア語
文学研究科 (2006年度以前入学者)	哲学専攻	社会	公民
	東洋哲学専攻	国語 社会	国語 公民
	心理学専攻	社会	公民
	社会学専攻	社会	公民
	教育学専攻	国語, 英語, 社会 ドイツ語, フランス語 ロシア語	国語, 英語 地理歴史, 公民 ドイツ語, フランス語 ロシア語
	日本文学専攻	国語	国語
	英文学専攻	英語	英語
	フランス文学専攻	フランス語	フランス語
	ドイツ文学専攻	ドイツ語	ドイツ語
	ロシア文学専攻	ロシア語	ロシア語
	芸術学専攻	国語, 社会	国語, 地理歴史
	史学専攻	社会	地理歴史
中国語・中国文学専攻	国語	国語	
商学研究科	商学専攻		商業
基幹理工学研究科	数学応用数理専攻 情報理工学専攻	数学	数学, 情報
	機械科学専攻	数学, 理科	数学, 理科
	電子光システム学専攻(2010年度入学生より)	数学	数学
	建築学専攻, 総合機械工学専攻	理科	理科
創造理工学研究科	経営システム工学専攻		情報, 工業
	建設工学専攻 地球・環境資源理工学専攻	理科	理科
	物理学及応用物理学専攻	数学, 理科	数学, 理科, 情報
	化学・生命化学専攻 応用化学専攻, 生命医科学専攻	理科	理科
先進理工学研究科	電気・情報生命専攻	数学, 理科	数学, 理科, 情報
	生命理工学専攻, ナノ理工学専攻	理科	理科

研究科	専攻	取得できる免許状の種類		
		中学専修	高校専修	その他専修
理工学研究科	機械工学専攻	理科	理科,工業	
	経営システム工学専攻		情報,工業	
	電気工学専攻	数学,理科	数学,理科	
	建設工学専攻,建築学専攻 環境資源及材料工学専攻 応用化学専攻,化学専攻 生命理工学専攻,ナノ理工学専攻	理科	理科	
	電気・情報生命専攻 情報・ネットワーク専攻	数学	数学 情報	
	物理学及応用物理学専攻	数学,理科	数学,理科,情報	
	数理学専攻,情報科学専攻 電子・情報通信学専攻	数学	数学	
教育学研究科	学校教育専攻	国語,英語 社会 数学,理科 ドイツ語,フランス語 中国語,スペイン語	国語,英語 地理歴史,公民 数学,理科 書道,情報 ドイツ語,フランス語 中国語,スペイン語	小学校
	国語教育専攻	国語	国語,書道	
	英語教育専攻	英語	英語	
	社会科教育専攻	社会	地理歴史,公民	
	数学教育専攻	数学	数学,情報	
教職研究科	高度教職実践専攻	国語,英語,社会 数学,理科 ドイツ語,フランス語 中国語,スペイン語	国語,英語 地理歴史,公民 数学,情報,理科 ドイツ語,フランス語 中国語,スペイン語	小学校
人間科学研究科 (2007年度以降入学者)	人間科学専攻	社会 保健体育	地理歴史,公民 保健体育,福祉	
人間科学研究科 (2006年度入学者)	人間科学専攻	保健体育	保健体育 情報	
人間科学研究科 (2005年度以前入学者)	人間科学専攻	保健体育	保健体育	
スポーツ科学研究科	スポーツ科学専攻	保健体育	保健体育	
社会科学研究科	地球社会論専攻	社会	地理歴史,公民	
	政策科学論専攻	社会	地理歴史,公民,商業	
国際情報通信研究科	国際情報通信学専攻		情報	
アジア太平洋研究科 (2005年度以降入学者)	国際関係学専攻	社会	地理歴史,公民	

### 3 教員免許状の取得要件

		小学校 専修	中学 専修	高校 専修
<b>基礎資格</b>		修士の学位を有すること		
<b>最低修得単位数</b>		一種免許状に必要な単位数 +		
	専修免許に関する科目 (教科に関する科目 又は 教職に関する科目)	24	24	24

## 4 履修科目

教育職員免許法施行規則に定める 科目	最低修得単位数	早稲田大学設置科目名	科目設置箇所	履修方法
	小学校専修 中学専修 高校専修			小学校専修 中学専修 高校専修
最低修得単位数合計	24	研究科要項 参照	所属研究科	研究科要項 参照

## 5 教員免許状申請

専修免許状も一括申請の対象になります。

詳細については、卒業年度の6～7月頃に改めて掲示、Wsaeda-netポータルにてアナウンスしますので、ご注意ください。

# キャリア支援

## 1 教員就職について

### (1) 公立学校への就職

採用を希望する都道府県・政令指定都市の教育委員会が実施する教員採用試験に合格しなければなりません。

願書入手場所：キャリアセンター（一部の都道府県のみ。数に限りがあります。）

各都道府県・政令指定都市教育委員会

試験に関する問合せ先：各都道府県・政令指定都市教育委員会

注意：採用試験出願受付は、早いところでは4月から、多くの場合5月から開始します。また、締切が5月中旬の場合があります。教育委員会のホームページでも掲載されますので、早めに出願日程を確認しましょう。

### (2) 私立学校への就職

私立学校の教員は、各学校が独自の計画・方法・基準によって採用しています。都道府県ごとに、適性検査を行っているケースもありますが、公立学校と異なり、採用の主体はあくまで各学校にあります。私立学校の採用は、大きく分けて以下のような方法で行われます。

#### 大学の求人に応募する

大学に届く求人票を見て、各自が応募し、各私立学校が実施する採用試験を受験するものです。早稲田大学では、後述する教員就職指導室前の掲示板や、Waseda-net ポータルに求人票掲載している他、キャリアセンターでも閲覧できます。

参照：Waseda-net ポータル上のメニュー[キャリアコンパス]-[企業・求人情報照会]

#### 私学協会に登録する

都道府県の私学協会の中には、私立学校の教員志望者を対象に履歴書を受け付け、名簿として作成しているところがあります。加盟校は、この名簿を閲覧し、採用の参考にすることになります。この場合も、私学協会は斡旋をするのではなく、採用の主体は各学校にあります。登録の際、課題論文を求められたり、非常勤のみの登録といった場合がありますので、あらかじめ内容を確認するようにしましょう。

#### 私学協会の適正検査を受ける

東京都などいくつかの都県私学協会では、教員適正検査を行っています。この検査結果は、教員採用の可否を判定するものではなく、あくまで各学校が独自に教員採用する際の資料となるものです。

#### 学内関係者、卒業生、各所属団体等の推薦、紹介等

私立学校では、校風を理解した、学力および人格が確かな人物を採用をするため、各校教諭の出身大学や恩師(教授)のつてを頼ったり、自校出身者に声をかけるケースもあるようです。

ゼミの先生や、母校の恩師などとコミュニケーションをとりながら、求人がないか探す方法もあります。

## 2 教員就職に向けた支援体制

### (1) 教員就職指導室

早稲田大学では、教員就職指導室を常設し、「教員就職アドバイザー」と呼ばれるスタッフが、個別相談や面接指導の他、年4回の就職指導会・講習会を企画し、教員就職を目指す学生を支援しています。教員採用試験対策問題集や各種情報誌などの閲覧コーナーを設置している他、教員就職に関する求人、教育ボランティア募集の案内も掲示しています。将来教員就職を目指す皆さんは、積極的に利用してください。

例年3月に行う教員就職指導会の後、夏の採用試験に向けた個別指導が本格的に始まります。できるだけ早い時期に訪問しアドバイスを受け、受験準備を進めてください。また、教員就職に関する悩みや不安がある方も、遅くとも夏の採用試験の対応が一段落した9月過ぎには来室することをお勧めします。

場所	早稲田キャンパス14号館202号室
開室時間 注	月～金曜日 10:00～12:30 13:30～17:00 土曜日 10:00～12:30 13:30～15:00
電話番号	03-3203-0921
利用対象者	在学生、卒業生
注意	初めて相談を希望する方は、写真付の履歴書(自己紹介欄が入ったもの、早稲田大学生協扱いのものが望ましい)を持参してください。 来室の際は事前にアポイントをおとりください。

注 夏季休業期間・冬季休業期間中の土曜日は閉室。8月および年末年始の一斉休業期間以外は原則として開室します。開室時間の変更については、教員就職指導室前掲示板及び教育学部ホームページにて適宜お知らせします。

### (2) 教員就職指導会・講習会・セミナー

教員就職アドバイザーによる解説の他、校友である現職校長先生や教諭をお招きし、最新の教員採用試験情報提供や教員就職のための具体的な指導を行います(参加費無料)。以下に目安となる日程を記しますが、詳細は各学部掲示板、教育学部ホームページ、Waseda-net ポータル等でお知らせします。(参加には、Waseda-net ポータルからの事前登録が確実です。)

月	日	講習会・指導会名称	備考
3	26	教員就職指導会	「新年度の教員採用試験に向けて」(主に対象3年生以上)
3	26,27,29,30	教職課程講習会 注	主に教員採用試験受験者対象
5	下旬	教員就職指導会	公立学校採用試験受験者、私学教員適性検査受験者対象
8	中旬	採用試験二次試験対策指導会	公立学校一次試験合格者対象
12	上旬	教員就職指導会	公立学校二次試験合格者/補欠合格者、私立学校内定者対象 (次年度教員採用試験受験予定者も参加可)

注) 教職課程講習会

学外より専門の先生方をお招きし、「教職教養」「一般教養・論作文」「専門教科」別に教員採用試験対策に関する講義、実践問題の演習が行われます。

### (3) 「早稲田教職」の発行

教育学部教職課程委員会の先生方や、教員就職指導室アドバイザーを中心に作成している、年1回発行の冊子です。教育実習、介護等体験のレポートや心得、教員採用試験の仕組みと対策、先輩からのレポート等が掲載されています。特に教員就職を目指す2年生以上の皆さんは、手にとって参考にしてください。冊子は、教育学部事務所、教員就職指導室、所沢総合事務センターで配布しています。

#### (4)教育ボランティア・教育インターンシップの派遣

教育ボランティアは、教職を目指す方が、在学中の早期に教育現場の体験を通して教育の意義と教職者の役割を考え、広く児童・生徒理解を深めるため、小・中学校の教育活動充実を目的とした支援活動を行うことができる制度です。募集要領は、教員就職指導室掲示板等でお知らせしています。教員就職を目指す方は、2年生時など早い段階で積極的に参加しましょう。

また、教職課程では、1年を通じて教職研修生としてテーマを設定し、学校現場における課題に取り組む授業「教育インターンシップ」「中等国語科インターンシップ」を設置しています。教育実習や教員採用試験を翌年度に控えた3年生以上の学生にお勧めです。これらの活動を通して、学校教育現場について考える機会を持つことは、教員採用を目指す上で貴重な経験となるでしょう。

### 3 教員就職が決まったら

#### (1)教員採用決定の報告

専任・非常勤にかかわらず、教員採用が決まった方は、まず教員就職指導室に報告をしてください。教員になるまでの準備などを目的とした、現職教員との交流会(就職指導会)の他、4月までの不安を解消するためのヒントや、学校教育現場経験豊富な教員就職アドバイザーならではの個別相談も行います。是非就職決定後も教員就職指導室を活用してください。また、以下のアンケートにもご協力願います。

#### 合格者調書の入力・教員就職決定届の入力

対象者: 公立学校採用試験二次合格者及び補欠合格者、

私立・公立学校の専任教員、非常勤教員、常勤講師採用決定者

時期: 10月下旬～翌3月頃

報告方法: キャリアセンターの「進路報告」にリンクしているアンケートフォームより入力。

注意: 報告内容は、文部科学省統計資料データ及び「早稲田教職」編集のための資料として使用されます。個人名が公開されることはありません。

キャリアセンターの「進路報告」も別途 Waseda-net ポータルにて報告して下さい。

卒業後に合格した場合は「合格者調書」を教育学部事務所へ提出してください。

用紙が必要な場合は郵送しますのでご依頼ください。

#### (2)「稲門教育会」との連携

早稲田大学では、教員として全国各地で活躍する校友との相互研鑽・交流を図るべく、1976年に「稲門教育会」を結成して活動を展開してきました。と同時に、各都道府県でも教職関係者が職域稲門会を組織して、人的交流はもとより研修や情報の交換等を行っています。そして教育実習や教員就職をはじめとする教員養成の課題や後進の育成等にも、深いご理解とご協力をいただいています。公立・私立の教員採用試験に合格・採用内定となっている方は、各都道府県の職域稲門会にご参加の上、地方研修会等にご出席ください。

教職課程では、全国の職域稲門会と密接に連携をとり、教員養成と教員就職の向上につながる環境を整えていきたいと考えています。また、全国各地の先生方には、教職課程が企画する教員就職指導会(年4回)や教職課程講習会(年1回)の講師としてもご登場いただいています。これから教員就職をされる方々も、後輩の育成にご協力お願いいたします。

### **(3)教育現場での問題への対応 就職後も利用できる「教育総合クリニック」**

教育総合クリニックは、早稲田大学教育・総合科学学術院所属教員の多様な専門性を最大限に活用して、現職教員や保護者の抱える教育上の悩みの解決に役立てることを目的としています。本学教員ならびに心理相談員が、(1)一般的な心理相談・生徒指導上の問題や躰などの家庭教育上の問題、(2)各教科の内容や学習指導上の問題、(3)学級・学校の運営・経営上の問題について、専門的な相談にあたります。

これら各種専門相談に学生が陪席し、実地研修を行い、教員養成の一環とすることもあります。各領域の専門家と有機的に連携することによって、学習指導・生徒指導両面において、従来の心理相談や教育相談の枠を越えた「見立て」・「対応策」・「実践」・「フォローアップ」という総合的な対応を行います。

**問い合わせ先:ed-clinic@list.waseda.jp**

# その他資格

## 1 図書館司書

### 1) 資格の概要

#### (1) 図書館司書とは(図書館法第4条)

図書館に置かれる専門的職員であり図書館の専門的事務に従事する。

#### (2) 図書館司書になる資格を有する者(図書館法第5)

次のうち1つに該当するもの。

大学(短大を含む)又は高等専門学校卒業生で司書講習を修了した者。

大学(短大を含む)で司書資格取得に必要な科目を履修し卒業した者。

3年以上司書補としての勤務経験者で司書講習を修了した者。

#### (3) 早稲田大学にて図書館司書になる資格を取得する方法

「図書館司書関連科目」の単位を修得し、学士の学位を取得すること。

注意:「図書館司書関連科目」を履修するには聴講料がかかります。

#### (4) 学部卒業後、図書館司書になる資格を取得する方法

早稲田大学では(1)(2)ともに実施していません。

(1) 文部科学大臣から委託を受けた大学において実施される司書の講習を修了すること。

注意: 講習の科目は「図書館司書関連科目」一覧の左欄に掲載します。

大学にて「図書館司書関連科目」の単位を修得した場合、講習科目の一部が免除されることがあります。卒業した学部の事務所に「図書館司書単位修得証明書」を発行後、講習を実施する大学へ持参ご相談ください。

講習実施大学は文部科学省ホームページ(<http://www.mext.go.jp>)を参照してください。

(2) 大学(短大を含む)で司書資格取得に必要な科目を履修する。

通信課程を有する大学等で科目を履修して下さい。通信課程を有する大学は、私立大学通信教育協会(<http://www.uce.or.jp/Guide.html>)等を参照してください。

#### (5) 図書館司書になる資格を有する事の証明

「図書館司書単位修得証明書」により証明されます。発行を希望する場合は、卒業後、卒業した学部の事務所へ申請してください。

#### (6) 参考 図書館とは(図書館法第2条、3条抜粋)

図書館とは、図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設をいう。

図書館は、図書館奉仕のため、土地の事情及び一般公衆の希望にそい、更に学校教育を援助し得るよう留意し、おおむね次に掲げる事項の実施に努める。

郷土資料、地方行政資料、美術品、レコード、フィルムの収集にも充分留意して、図書、記録、視覚聴覚教育の資料その他必要な資料を収集し、一般公衆の利用に供すること。

図書館資料の分類排列を適切にし、及びその目録を整備すること。

図書館の職員が図書館資料について十分な知識を持ち、その利用のための相談に応ずるようにすること。

他の図書館、国立国会図書館、地方公共団体の議会に附置する図書室及び学校に附属する図書館又は図書室と緊密に連絡し、協力し、図書館資料の相互貸借を行うこと。

分館、閲覧所、配本所等を設置し、自動車文庫、貸出文庫の巡回を行うこと。

読書会、研究会、鑑賞会、映写会、資料展示会等を主催し、及びその奨励を行うこと。

時事に関する情報及び参考資料を紹介し、及び提供すること。

学校、博物館、公民館、研究所等と緊密に連絡し、協力すること。

## 2) 図書館司書関連科目 時間割

### 履修上の注意

聴講料の欄に記載のある科目は、聴講料、実習費が必要になります。詳細は本書22ページを参照して下さい。

群	備考	図書館司書講習相当科目	単位	履修方法	配当年次	早稲田大学設置科目名	単位	組名	学期	曜日	時限	教員氏名	講義内容掲載P	科目設置箇所	登録方法(下記)	聴講料				
甲	全科必修	図書館概論	2	必修	1~4	図書館学I	4		通年	火	6	雪嶋 宏一	000	教育	1	図書館司書課程聴講料				
		図書館サービス論	2			レファレンスサービス概説 及演習	4	A	通年	月	5	三澤 勝己	000	教育	1					
		情報サービス概説	2				B	通年	月	6	三澤 勝己	000	教育	1						
		レファレンスサービス演習	1				C	通年	木	5	中西 裕	000	教育	1						
		図書館資料論	2				D	通年	木	6	中西 裕	000	教育	1						
		情報検索演習	1			図書館資料論	4		通年	水	6	雪嶋 宏一	000	教育	1					
		情報検索演習	2				A	前期	木	5	原 淳之	000	教育	1						
			B				後期	木	5	原 淳之	000	教育	1							
			C				前期	木	6	原 淳之	000	教育	1							
			D			後期	木	6	原 淳之	000	教育	1								
	科目必修	生涯学習概論	1	1科目必修	2~4	生涯学習	2	A	前期	木	5	藤澤 まどか	000	教育	1	不要				
		児童サービス論	1			B	後期	火	4	表 暁蘭	000	教育	1							
		生涯学習概論	4			A	通年	木	3	坂内 夏子	注2	教育	2							
		生涯学習概論1	2			-	春期	月	2	古市 将樹	Web	文	4							
		生涯学習概論2	2			-	秋期	月	2	古市 将樹	Web	文	4							
		生涯学習概論1 注4	2			-	前期	水	7	片岡 了	Web	二文	3							
		生涯学習概論2 注4	2			-	後期	水	7	片岡 了	Web	二文	3							
		資料組織概説	2			1~4	必修	資料組織概説及演習	6	A	通年	月	18:15~20:30	渡部 満彦	000		教育	1	図書館司書課程聴講料	
		資料組織演習	2						B	通年	火	18:15~20:30	金子 昌嗣	000	教育		1			
		図書館経営論(図書館特論)	1(1)						C	通年	木	18:15~20:30	二村 健	000	教育		1			
専門資料論(資料特論)	1(1)	D	通年	金	18:15~20:30				金子 昌嗣	000	教育	1								
図書館学II	4	A	通年	月	5				長野 由紀	000	教育	1								
	B	通年	月	6	長野 由紀				000	教育	1									
図書館学V	4		通年	水	5				雪嶋 宏一	000	教育	1								
乙群 2科以上必修	コミュニケーション論	1																		
	情報機器論	1																		
	図書及び図書館史	1																		
	資料特論	1	図書館学 に含む																	
	図書館特論	1	図書館学 に含む																	

注1.教育学部生の場合、「図書館学」は、教育学部教育学科教育学専攻教育学専修・生涯教育学専修の学生が履修する場合、専門選択科目となり、聴講料も不要です。その他の学科・専修の学生が履修する場合は随意科目(資格関連科目)となり、聴講料が必要です。

注2.「生涯学習概論A」は、教育学部教育学科教育学専攻教育学専修の専門選択科目です。上記科目の講義内容は、教育学部「授業ガイド」またはWeb上で閲覧できます。

注3.教育学部教育学科初等教育学専攻の学生は、教育学部先行登録に参加し申請してください。生涯教育学専修・初等教育学専攻以外の学生は申請できません。

注4.図書館司書講習相当科目「生涯学習概論 児童サービス論」は1科目必修ですが、第二文学部設置科目「生涯学習概論1」「生涯学習概論2」は併せて履修する必要があります。

### 登録方法について

番号は上記の表を参照のこと。

上記表の網掛けは、科目設置箇所所属する学生以外は他学部聴講登録に参加、申請が必要となることを表す。

番号	科目登録方法
1	本書「科目登録」のページを参照。
2	教育学部生は、先行登録に参加し、申請してください。教育学部生以外の学生は、所属学部で定められた他学部聴講登録に参加し、申請してください。定員に余裕があれば登録できます。
3	第二文学部生は、第二文学部の一次登録に参加し、申請してください。第二文学部生以外の学生は、第二文学部の他学部聴講登録に参加し、申請してください。定員に余裕があれば登録できます。
4	文化構想学部・文学部・第一文学部の学生は本科目は合併科目ですので、所属学部の一次登録に参加し、申請してください。第二文学部の学生は、「新学部聴講登録」にて申請してください(日程他は、二文発行の科目登録マニュアル参照のこと)。定員に余裕があれば登録できます。上記以外の学生は、所属学部で定められた他学部聴講登録に参加し、申請してください。定員に余裕があれば登録できます。

## 2 学校図書館司書教諭

### 1) 資格の概要

#### (1) 学校図書館司書教諭とは(学校図書館法第5条)

学校図書館で専門的職務を行なう教諭。

#### (2) 学校図書館司書教諭になる資格を有する者(学校図書館法第5条)

文部科学省の委託を受けた大学が行う司書教諭の講習を修了した者。

#### (3) 早稲田大学で学校図書館司書教諭になる資格を取得する方法

中学または高校の教員免許状を取得している方、もしくは取得見込の方が、「学校図書館司書教諭関連科目」の単位を修得し、下記の通り修了証申請を行うことで、申請書提出から約1年後に修了証を受け取ることが可能です。

なお、「学校図書館司書教諭関連科目」および「教員免許状関連科目」のうち「教職課程科目」(「教職に関する科目」および「教科又は教職に関する科目」)を履修するには聴講料がかかります。

##### (1) 在学中に申請する場合(以下のすべての条件を満たす必要あり)

下記の要件を満たす場合、在学中に修了証を申請することが可能です。その場合、卒業後の4月に修了証を受け取ることが可能です。要件を満たす方は、期間中に教育学部事務所に申込書を受け取り、下記書類を提出して下さい。

前提条件: 申込時に、卒業見込証明書が発行されること。  
卒業時、教員免許状が取得見込みであること。(学校種、科目は問いません)  
3年生終了時まで学校図書館司書教諭にかかる所定の単位をすべて修得済みであること。

申込書配布: 2010年3月8日(月)～7月9日(金)

申請期間: 2010年5月31日(月)～7月9日(金)

申請書配布: 教育学部事務所(16号館2階)

提出場所: //

提出物: 学校図書館司書教諭に関する「単位修得証明書」1通(要:所属学部事務所へ事前申込)  
卒業見込証明書(2010年6月1日以降のもの)  
在学証明書(2010年4月1日以降のもの)  
成績証明書(2009年度までの成績)  
申込書  
郵便小為替600円(郵送料)

##### (2) 卒業後に申請する場合

卒業と同時に要件を満たす場合、卒業後に修了証を申請することになります。期間中に申込書を受け取り、下記書類を教育学部事務所に持参、もしくは郵送して下さい。

申込書配布: 2010年3月8日(月)～7月9日(金) 郵送の場合、必着

申請期間: 本年度3月卒 2010年3月25日(木)～7月9日(金) 郵送の場合、必着

既卒 2010年3月8日(月)～7月9日(金) 郵送の場合、必着

申請書配布: 教育学部事務所(16号館2階)

提出場所: //

郵送の場合 〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1  
早稲田大学教育学部学校図書館司書教諭担当宛

必要書類: 学校図書館司書教諭に関する「単位修得証明書」1通  
卒業時に単位修得証明書も発行を受けておくことをお勧めします。なお、卒業時に受け取るには、申込期間が設定されているので、各学部の掲示板等にご注意下さい。

申込書

教員免許授与証明書(ただし、一括申請を卒業年度に行った方については大学が代理で一括して取り寄せますので、不要)

戸籍抄本(改姓、本籍地変更等の理由で現在所有している教員免許状等の記載事項と事実が相違する場合のみ必要)

郵便小為替600円(ただし、を大学が代理で行う方は1000円。郵送料、教員免許授与証明書代)

##### (3) 申請後の予定(申請者全員)

この「学校図書館司書教諭講習免除申請」の手続きは、郵送扱いで行われることになるので、住所に変更

があった場合は必ず教育学部事務所 (kyousyoku-office@list.waseda.jp) まで申し出て下さい。  
申請年の7月下旬に事務所よりご連絡を差し上げることがありますので、ご注意下さい。  
「修了証」の発行は申請の翌年4月中旬頃の予定です。郵送します。

参考: 大学が行っている手続き

8月	(文部科学大臣から認定を受ける手続及び学校図書館司書教諭講習免除申請を大学が行う。)
4月中旬	(文部科学省から大学へ「修了証」送付)
4月下旬	大学から申込者へ「修了証」送付

#### (4) 学部卒業後、学校図書館司書教諭になる要件を満たす方法

教員免許状取得方法につきましては、科目等履修生として不足単位を履修してください。「学校図書館司書教諭関連科目」の不足単位を早稲田大学で修得することはできません。要件を満たすには、以下の方法があります。 については文部科学省HPを参照し、 については私立大学通信教育協会のHP (<http://www.uce.or.jp/Guide.html>) を参照してください。

文部科学省の委託を受けた大学が行う学校図書館司書教諭の講習を修了する。  
他大学通信教育課程で必要な単位を修得する。

#### (5) 学校図書館司書教諭になる資格を有することの証明

「学校図書館司書教諭講習修了証」により証明されます。上記の通り発行申請を行なってください。

#### (6) 参考 学校図書館とは(学校図書館法第2条、4条抜粋)

小学校、中学校、高等学校において、図書、視聴覚教育の資料その他学校教育に必要な資料を収集し、整理し、及び保存し、これを児童又は生徒及び教員の利用に供することによって、学校の教育課程の展開に寄与するとともに、児童又は生徒の健全な教養を育成することを目的として設けられる学校の設備をいう。

学校は、おおむね次に掲げるような方法によって、学校図書館を児童又は生徒及び教員の利用に供するものとする。

図書館資料を収集し、児童又は生徒及び教員の利用に供すること。

図書館資料の分類配列を適切にし、及びその目録を整備すること。

読書会、研究会、鑑賞会、映写会、資料展示会等を行うこと。

図書館資料の利用その他学校図書館の利用に関し、児童又は生徒に対し指導を行うこと。

他の学校図書館、図書館、博物館、公民館等と緊密に連絡し、及び協力すること。

また、学校図書館は、その目的を達成するのに支障のない範囲において一般公衆に利用させることができる。

## 2) 学校図書館司書教諭関連科目 時間割

### 履修上の注意

聴講料の欄に記載のある科目は、聴講料、実習費が必要になります。詳細は本書22ページを参照して下さい。

学校図書館 司書教諭 講習科目	単 位	履 修 方 法	配 当 年 次	早稲田大学設置 科目名	単 位	組 名	学 期	曜 日	時 限	教員氏名	講義内容 掲載P	科目設置 箇所	登録方法	聴講料
学校経営と学校図書館	2	必 修	1~4	学校経営と学校図書館	2		前期	金	6	須永 和之	000	教育	1	図書館 司書 課程 聴講料
学習指導と学校図書館	2			学習指導と学校図書館	2		後期	金	6	須永 和之	000	教育	1	
学校図書館メディアの構成	2			図書館資料論	4		通年	水	6	雪嶋 宏一	000	教育	1	
				資料組織概説及演習	A	通年	月	18:15 ~ 20:30	渡部 満彦	000	教育	1		
					B	通年	火	18:15 ~ 20:30	金子 昌嗣	000	教育	1		
					C	通年	金	18:15 ~ 20:30	二村 健	000	教育	1		
D	通年				木	18:15 ~ 20:30	金子 昌嗣	000	教育	1				
情報メディアの活用	2			情報メディアの活用	A	前期	月	6	栗山 和子	000	教育	1		
		B	後期		金	5	栗山 和子	000	教育	1				
読書と豊かな人間性	2	読書と豊かな人間性	2		前期	水	5	汐崎 順子	000	教育	1			

### 登録方法について(番号は上記の表を参照)

番号	科目登録方法
1	本書「科目登録」のページを参照。

## 3 博物館学芸員

### 1) 資格の概要

#### (1) 博物館学芸員とは(博物館法第4条抜粋)

博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これと関連する事業についての専門的事項を司る。

#### (2) 博物館学芸員となる資格を有する者(博物館法第5条)

次のうち1つに該当する者。

学士の学位を有する者で、大学において文部科学省令で定める博物館に関する科目の単位を修得したもの。

大学に2年以上在学し、大学において文部科学省令で定める博物館に関する科目の単位を含めて62単位以上を修得した者で、3年以上学芸員補の職にあったもの。

文部科学大臣が、文部科学省令で定めるところにより、 に掲げる者と同等以上の学力及び経験を有する者と認めたもの。

#### (3) 早稲田大学で博物館学芸員となる資格を取得する方法

「博物館学芸員関連科目」の単位を修得し、かつ学士の学位を取得すること。

注意： 上記科目のうち聴講料が必要な科目があります。

文学部で「博物館学芸員養成夏季集中講座」が開設されています。

#### (4) 学部卒業後、博物館学芸員となる資格を取得する方法

試験認定を受験する。

試験科目 必須科目：生涯学習概論、博物館学、視聴覚教育メディア論、教育学概論

選択科目：(次の科目のうちから2科目を選択)

文化史、美術史、考古学、民俗学、自然科学史、物理、化学、生物学、地学

問合せ先：文部科学省生涯学習政策局社会教育課指導研修係 03 - 5253 - 4111(代)

注意：大学で単位を修得した科目のうち、試験科目に相当する科目がある場合は、願い出ることにより試験が免除されます。

早稲田大学で必要な単位を修得する。

次に該当する方は本学の科目等履修生となり必要な科目の単位を修得できます。(別途、科目等履修生の入学手続きが必要になります)

『大学院教育学研究科、文学研究科又は理工学研究科に在籍し、所属研究科長の許可を得た方(大学院科目等履修生を除く)。』

科目等履修生の受入れは、教育学部・政治経済学部・法学部、並びに他大学の卒業生の方は教育学部にて、それ以外の方は卒業した学部にて受け入れます。ただし、受入学部ごとに受入れ基準が異なる場合がありますので、要項等で必ず確認をして下さい。

また、科目等履修生としてではなく、文学部で開設している「博物館学芸員養成夏季集中講座」で必要な単位を修得できます。詳細は文学部ホームページをご覧ください。

他大学で必要な単位を修得する。

単位を修得できる大学については、文部科学省HP (<http://www.mext.go.jp>) をご覧ください。

#### (5) 博物館学芸員となる資格を有していることの証明

「博物館学芸員単位修得証明書」により証明されます。発行を希望する場合は、卒業後、卒業した学部の事務所へ申請してください。

#### (6) 参考 博物館とは(博物館法第2条、3条抜粋)

歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料を収集し、保管(育成を含む)し、展示して教育的配慮の下に一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い、あわせてこれらの資料に関する研究調査をすることを目的とする機関をいう。

なお、博物館はこの目的を達成するため、おおむね次に掲げる事業を行う。

実物、標本、模写、模型、文献、図表、写真、フィルム、レコード等の博物館資料を豊富に収集し、保管し、及び展示すること。

分館を設置し、又は博物館資料を当該博物館外で展示すること。

一般公衆に対して、博物館資料の利用に関し必要な説明、助言、指導等を行い又は研究室、実験室、工作室、図書室等を設置してこれを利用させること。

博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。

博物館資料の保管及び展示等に関する技術的研究を行うこと。

博物館資料に関する案内書、解説書、目録、図録、年報、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。

博物館資料に関する公演会、講習会、映写会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。

当該博物館の所在地又はその周辺にある文化財保護法の適用を受ける文化財について、解説書又は目録を作成する等、一般公衆の当該文化財の利用の便を図ること。

他の博物館、博物館と同一の目的を有する国の施設等と緊密に連絡し、協力し刊行物及び情報の交換、博物館資料の相互貸借等を行うこと。

学校、図書館、研究所、公民館等の教育、学術又は文化に関する諸施設と協力し、その活動の援助をすること。

また、博物館は、その事業を行うに当っては、土地の事情を考慮し、国民の実生活の向上に資し、更に学校教育を援助し得るように留意しなければならない。

### **2010年度履修上の注意事項**

来年度(2011年度)より、「博物館実習」の科目を履修するには、「博物館概論」の単位を前年度までに取得することが条件となります。

従って来年度(2011年度)に「博物館実習」の履修を予定している場合は、2010年度中に、「博物館概論」の単位を修得してください。

(内容的に「博物館概論」を履修していないと、「博物館実習」の履修は 困難であるため、前提条件の設定を行います。)

## 2) 博物館学芸員関連科目 時間割

### (1) 教育学部生用

#### (1) 教育学部生用

##### 履修上の注意

■聴講料の欄に記載のある科目は、聴講料、実習費が必要になります。

■来年度(2011年度)より、「博物館実習」の科目を履修するには、「博物館概論」の単位を前年度までに取得することが条件となります。従って来年度(2011年度)に「博物館実習」の履修を予定している場合は、2010年度中に、「博物館概論」の単位を修得してください。(内容的に「博物館概論」を履修していないと、「博物館実習」の履修は困難であるため、前提条件の設定を行います。)

博物館法に関する科目	単位	履修方法	配当年度	早稲田大学設置科目名	単位	組名	学期	曜日	時限	教員氏名	講義内容掲載P	聴講料	科目設置箇所	登録方法
生涯学習概論	1	1科目必修	2~4	生涯学習概論	4	A	通年	木	3	坂内 夏子	注1	不要	教育	教育学部 科目登録の手引 参照
				生涯学習概論	4	B	生涯教育学専修【専門必修】							
			1~4	生涯学習	2	A	前期	木	5	藤澤 まどか	000			
博物館概論	2	必修	1~4	博物館概論 注2	2	A	前期	土	3	柳澤 和子	000	不要	教育	参照
						B	前期	火	5	金澤 邦夫	000			
博物館経営論 博物館資料論 博物館情報論	1 2	必修	1~4	博物館学各論 注2	4	A	通年	金	6	松山 薫	000	不要	教育	参照
						B	通年	月	5	金澤 邦夫	000			
博物館実習	3	必修	2~4	博物館実習	3	A	通年	金	9:55~12:10	増野 恵子	000	博物館実習聴講料	教育	参照
						B	通年	木	13:00~15:15	永井 美和子	000			
						C	通年	水	13:00~15:15	浅井 京子	000			
						D	通年	水	9:55~12:10	金澤 邦夫	000			
						E	通年	月	9:55~12:10	内藤 勝雄	000			
						F	通年	月	14:00~16:15	内藤 勝雄	000			
						G	通年	火	18:15~20:30	松山 薫	000			
						H	通年	月	16:30~18:45	井出 浩正	000			
						I	通年	金	13:00~15:15	増野 恵子	000			
						J	通年	水	16:30~18:45	金澤 邦夫	000			
						K	通年	木	9:55~12:10	永井 美和子	000			
視聴覚教育メディア論	1	1科目必修		視聴覚教育メディア論(実習を含む)I	2	生涯教育学専修【専門必修】				不要	教育	参照		
				ツールとしての情報通信ネットワークII(視聴覚教育メディア論)	2	複合文化学科【専門必修】								
			2~4	視聴覚教育メディア論(実習を含む)II	2	A	通年	月	2	福井 庸子			注3	視聴覚教育聴講料
教育学概論	1	1科目必修	2~4	教育課程編成論(小・中・高)または教育課程編成論(中・高) 注4	1	本書VI2 1)教職に関する科目 参照				教職課程聴講料	教育	参照		
			1~4	教育基礎総論1(小・中・高) 注4	2									
				教育基礎総論2(小・中・高) 注4	2									
				教育学概論		教育学専修【専門必修】 生涯教育学専修【専門必修】 教育心理学専修【専門副選択】 初等教育学専攻【専門必修】				不要				
	-		教育原理		2007年度まで配当									

注1. 「生涯学習概論 A」は、教育学専修の学生が履修する場合は専門選択科目に、その他の学科・専攻・専修の学生が履修する場合は専門教育科目(他学科・他専修)になります。

講義内容は、教育学部「授業ガイド-教育学科編-」またはWeb上で閲覧できます。

注2. 「博物館概論」と「博物館学各論」は、教育学専修・生涯教育学専修の学生が履修する場合、専門選択科目となります。その他の学科・専攻・専修の学生が履修する場合は、随意科目(資格関連科目)となります。

注3. 「視聴覚教育メディア論(実習を含む)II A・B」は、教育学専修、地理歴史専修、社会科学専修の学生が履修する場合は専門選択科目に、その他の学科・専攻・専修の学生が履修する場合は専門教育科目(他学科・他専修)になります。

講義内容は、教育学部「授業ガイド-教育学科編-」またはWeb上で閲覧できます。

注4. 太枠で囲われた科目群から1科目群を選択し、履修してください。

なお、2009年度より教育基礎総論は「教育基礎総論1」および「教育基礎総論2」に分割されました。

(2)教育学部生以外用

履修上の注意

■聴講料の欄に記載のある科目は、聴講料、実習費が必要になります。

■来年度(2011年度)より、「博物館実習」の科目を履修するには、「博物館概論」の単位を前年度までに取得することが条件となります。従って来年度(2011年度)に「博物館実習」の履修を予定している場合は、2010年度中に、「博物館概論」の単位を修得してください。(内容的に「博物館概論」を履修していないと、「博物館実習」の履修は困難であるため、前提条件の設定を行います。)

博物館法に関する科目	単位	履修方法	記号	早稲田大学設置科目名	単位	組名	学期	曜日	時限	教員氏名	講義内容掲載P	科目設置箇所	登録方法(下記)	聴講料															
生涯学習概論	1	1科目必修	2~4	生涯学習概論	4	A	通年	木	3	坂内 夏子	Web	教育	2	不要															
			1~4	生涯学習概論1	2	-	春期	月	2	古市 将樹	Web	文	4																
			1~4	生涯学習概論2	2	-	秋期	月	2	古市 将樹	Web	文	4																
			1~4	生涯学習概論1 注1	2	-	前期	水	7	片岡 了	Web	二文	3																
			1~4	生涯学習概論2 注1	2	-	後期	水	7	片岡 了	Web	二文	3																
			1~4	生涯学習	2	A	前期	木	5	藤澤 まどか	000	教育	1																
博物館概論	2	必修	1~4	博物館概論	2	A	後期	火	4	裘 暁蘭	000	教育	1		博物館実習聴講料														
																B	前期	火	5	金澤 邦夫	000	教育	1						
博物館経営論	1	科目必修	1~4	博物館学各論	4	A	通年	金	6	松山 薫	000	教育	1			博物館実習聴講料													
																	B	通年	月	5	金澤 邦夫	000	教育	1					
博物館資料論	2	科目必修	1~4	博物館学各論 注2	4	-	通年	金	7	下野 玲子	Web	二文	3				博物館実習聴講料												
博物館情報論	1																												
博物館実習	3	1科目必修	2~4	博物館実習 注3 注4	3	A	通年	金	9:55~12:10	増野 恵子	000	教育	1	博物館実習聴講料															
									13:00~15:15	永井 美和子	000	教育	1																
									13:00~15:15	浅井 京子	000	教育	1																
									9:55~12:10	金澤 邦夫	000	教育	1																
									9:55~12:10	内藤 勝雄	000	教育	1																
									14:00~16:15	内藤 勝雄	000	教育	1																
									18:15~20:30	松山 薫	000	教育	1																
									16:30~18:45	井出 浩正	000	教育	1																
									13:00~15:15	増野 恵子	000	教育	1																
									16:30~18:45	金澤 邦夫	000	教育	1																
									9:55~12:10	永井 美和子	000	教育	1																
視聴覚教育メディア論	1	必修	2~4	視聴覚教育メディア論(実習を含む)II 注4	2	C	通年	月	3	福井 庸子	000	教育	1		視聴覚教育聴講料														
														D		休講													
														E		休講													
														F		通年	火	5	川原 健太郎	000	教育	1							
														G		通年	火	6	川原 健太郎	000	教育	1							
														教育学概論		1	1科目群必修 注5	2~4	教育課程編成論(小・中・高)または教育課程編成論(中・高)	1	-	-	-	-	-	-	教育	1	教職課程聴講料
2	教育基礎総論2(小・中・高)	2	-	-	-	-	-	-	教育	1																			
											2~4	教育課程編成論(小・中・高)または教育課程編成論(中・高)	1																
2~4	教育学概論1	2	-	春期	土	5	梅本 洋	Web	文	5																			
											2~4	教育学概論2	2																

注1. 博物館法に関する科目「生涯学習概論」は1科目必修ですが、第二文学部設置科目「生涯学習概論1」「生涯学習概論2」は併せて履修する必要があります。

注2. 第二文学部設置科目「博物館学各論」は、2002年度までの「博物館学」と同一科目であるため、「博物館学」の単位を修得済みの場合は登録できません。

注3. E、F、Hクラスの授業は戸山キャンパスで行います。

注4. 「視聴覚教育メディア論(実習を含む)II A・B」(教育学部専門選択科目)は、教育学部生の科目登録終了後、定員に余裕があれば教育学部生以外でも登録可能です。教育学部他学部聴講登録に参加し、申請してください。講義内容は、教育学部「授業ガイド」またはWeb上で閲覧できます。

注5. 太枠で囲われた科目群から1科目群を選択し、履修してください。なお、2009年度より教育基礎総論は「教育基礎総論1」および「教育基礎総論2」に分割されました。

登録方法について

番号は上記の表を参照のこと。

上記表の網掛けは、科目設置箇所所属する学生以外には他学部聴講登録に参加、申請が必要となることを表す。

番号	科目登録方法
1	本書「科目登録」のページを参照。
2	教育学部生は、先行登録に参加し、申請してください。教育学部生以外の学生は、所属学部で定められた他学部聴講登録に参加し、申請してください。定員に余裕があれば登録できます。
3	第二文学部の学生は、第二文学部の一次登録に参加し、申請してください。第二文学部生以外の学生は、所属学部で定められた他学部聴講登録に参加し、申請してください。定員に余裕があれば登録できます。
4	文化構想学部・文学部・第一文学部の学生は本科目は合併科目ですので、所属学部の一次登録に参加し、申請してください。第二文学部の学生は、「新学部聴講登録」にて申請してください(日程他は、二文発行の科目登録マニュアル参照のこと)。定員に余裕があれば登録できます。上記以外の学生は、所属学部で定められた他学部聴講登録に参加し、申請してください。定員に余裕があれば登録できます。
5	文化構想学部・文学部・第一文学部・第二文学部の学生は本科目は合併科目ですので、所属学部の一次登録に参加し、申請してください。上記以外の学生は、所属学部で定められた他学部聴講登録に参加し、申請してください。定員に余裕があれば登録できます。

### (3) 全学部学生用夏季集中講座(但し第一・第二・文化構想・文学部生優先)

#### 履修上の注意

- ①授業はすべて戸山キャンパスで行ないます。ただし「博物館実習」では一部早稲田キャンパスの會津八一記念博物館(2号館)で行ないます。
- ②第一・第二・文化構想・文学部生以外の方の登録は、文学部の他学部聴講登録(4月12・13日)にて、定員に余裕のある科目のみ受け付けます。余裕定員は受付日前夜に文学学術院ホームページの科目登録関連情報で発表します。  
(<http://www.waseda.jp/bun/kamokutoroku/>)
- ③本講座は「博物館学芸員」の資格取得を目的として設置されたものであり、他の資格(教職等)の単位としては算入できません。
- ④教育学部設置通年科目等、他の「博物館学芸員関連科目」と併行履修することはできますが、同じ科目を重複して登録することはできません。
- ⑤本講座に関する問い合わせは、戸山総合事務センターで確認してください。
- ⑥¥マークがついた科目は聴講料(5,000円)が必要です。

博物館法に関する科目	単位	履修方法	配当年次	科目名	単位	組名	教員氏名	日程	時限	登録方法
生涯学習概論	1	必修	1~4	生涯学習概論 (学芸員夏季)	1	A	新井 浩子	8月30日(月)	2~3	上記
								8月31日(火)	1~3	
								9月1日(水)	1~2	
博物館概論	2	必修	1~4	博物館概論 (学芸員夏季)	2	A	村松 哲文	8月2日(月)	2~4	上記
								8月3日(火)~6日(金)	1~3	
博物館経営論	1	必修	1~4	博物館経営・情報論 (学芸員夏季)	2	A	岡戸 敏幸	8月23日(月)	1~3	上記
博物館情報論	1							~8月27日(金)		
博物館資料論	2	必修	1~4	博物館資料論 (学芸員夏季)	2	A	岡戸 敏幸	8月16日(月) ~8月20日(金)	1~3	上記
博物館実習	3	必修	4	博物館実習 (学芸員夏季)注1	3	A・B・C D・E・F	宮瀧 交二 他	8月16日(月)~9月3日(金) (土・日は除く)	4~6	上記
視聴覚教育 メディア論	1	必修	2~4	視聴覚教育メディア論 (学芸員夏季)	1	A	下野 玲子	9月1日(水)	3	上記
								9月2日(木)・9月3日(金)	1~3	
教育学概論	1	必修	1~4	教育学概論 (学芸員夏季)	1	A	熊澤 恵里子	8月3日(火)	4~6	上記
								8月4日(水)・8月5日(木)	4~5	

注1. 「博物館実習」の定員は各クラス若干名。4年生以上で、当該年度夏季をもって資格関連科目を全て履修し終える学生を対象とします。  
定員を超える登録希望がある場合は、文構・文・一文・二文の4年生以上を優先として抽選を行ないます。  
(例年抽選必至のため、教育学部設置〔通年〕の「博物館実習」の履修も視野にいれて登録に臨んでください)  
実習費は生協にて納入となります。登録結果通知書に添付される納入票を確認し、納入票記載の期間内に納めてください。  
初回の授業はガイダンスを行う予定です。教室は7月中旬に戸山総合事務センター掲示板にて確認してください。

注2. 講義形式です(実習は行ないません)ので、実習費は不要です。

2010年度 博物館学芸員夏季講座 開講日程

	7月							8月																					
	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
1時限																													
2時限																													
3時限																													
4時限																													
5時限																													
6時限																													

	8月							9月																						
	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
1時限																														
2時限																														
3時限																														
4時限																														
5時限																														
6時限																														

8月6日(金)はオープンキャンパス、8月16日(月)は一斉休業期間中となりますが夏季講座の授業を実施します。  
 「博物館実習」はクラス指定ができません。受講決定者には別途通知します。  
 「文化財保存修復」は学芸員資格取得のための必修科目ではない、関連科目です。

## 4 社会教育主事

### 1) 資格の概要

#### (1) 社会教育主事とは(社会教育法第9条の3)

社会教育を行う者に専門的技術的な助言と指導を与える者。

#### (2) 社会教育主事の資格を有する条件(社会教育法第9条の4)

大学に2年以上在学して、62単位以上を修得し、又は高等専門学校を卒業し、かつ、次に掲げる期間を通算した期間が3年以上になる者で、次条の規定による社会教育主事の講習を修了したもの

イ 社会教育主事補の職にあった期間

ロ 官公署又は社会教育関係団体における社会教育に係のある職で文部科学大臣の指定するもの  
にあった期間

ハ 官公署又は社会教育関係団体が実施する社会教育に係のある事業における業務であって、社会教育主事として必要な知識又は技能の習得に資するものとして文部科学大臣が指定するものに  
従事した期間(イ又はロに掲げる期間に該当する期間を除く。)

教育職員の普通免許状を有し、かつ、5年以上文部科学大臣の指定する教育に関する職にあった者で、  
次条の規定による社会教育主事の講習を修了したもの

大学に2年以上在学して、62単位以上を修得し、かつ、大学において文部科学省令で定める社会教育  
に関する科目の単位を修得した者で、 のイから八までに掲げる期間を通算した期間が1年以上になる  
もの

社会教育主事の講習を修了したもので(及び に掲げる者を除く。)で、社会教育に関する専門的事  
項について から に掲げる者に相当する教養と経験がある都道府県の教育委員会が認定したもの。

#### (3) 在学中に社会教育主事の資格に必要な単位を取得する方法

上記2) の一部要件(大学に2年以上在学して、62単位以上を修得し、かつ、大学において文部科学省  
令で定める社会教育に関する科目の単位を修得した者)を満たす必要があります。履修科目については、  
「社会教育主事関連科目」を参照してください。

注意:第一文学部、第二文学部、教育学部、文学部、文化構想学部生以外の学生

「社会教育主事関連科目」の多くは第一文学部、第二文学部、教育学部、文学部、文化構想学部が設  
置している科目ですので、上記学部以外の学生は他学部聴講することで必要単位を修得してください。  
ただし、一部の科目は他学部聴講ができません。

#### (4) 学部卒業後、社会教育主事となる資格を取得する方法

(1)(2)ともに早稲田大学では実施していません。

(1)文部科学大臣から委嘱を受けた大学等で社会教育主事の講習を修了すること。

講習科目:

科目	単位数
生涯学習概論	2
社会教育計画	2
社会教育演習	2
社会教育特講	3

講習実施機関:文部科学省ホームページ(<http://www.mext.go.jp>)を参照してください。

注意:大学にて「社会教育主事関連科目」の単位を修得した場合、講習科目の一部が免除されることがありま  
す。卒業した学部の事務所にて「社会教育主事単位修得証明書」を発行後、講習を実施する大学へ持  
参しご相談ください。

問合せ先:文部科学省生涯学習政策局社会教育課指導研修係 03-5253-4111(内線2974)

- (2) 大学(短大を含む)で「文部科学省令で定める社会教育に関する科目」を履修する。  
履修できる大学は文部科学省ホームページ(<http://www.mext.go.jp>)を参照してください。

#### **(5) 社会教育主事となる資格を有することの証明**

早稲田大学で修得した社会教育に関する科目の単位は、「社会教育主事単位修得証明書」により証明されます。発行を希望する場合は、卒業後、卒業した学部の事務所へ申請してください。

## 2) 社会教育主事関連科目 時間割

### (1) 教育学部生用

#### 履修上の注意

聴講料の欄に記載のある科目は、聴講料、実習費が必要になります。

分類	社会教育法指定科目 (必要単位数)	配当年次	科目 系列	早稲田大学設置 科目名	単 位	組 名	学 期	曜 日	時 限	教員氏名	講義内容 掲載P	科目設置 箇所	登録方法	聴講料
	生涯学習概論 (4単位必修)	2-4	専門選択	生涯学習概論	4	A	通年	木	3	坂内 夏子	注2	教育	教育学部 科目登録 の手引き 参照	不要
			専門必修	生涯学習概論	4	B	生涯教育学専修[専門必修]			注2				
	社会教育計画 (4単位必修)	1-4	専門必修	社会教育方法論	4	生涯教育学専修[専門必修]			注2			教育	教育学部 科目登録 の手引き 参照	不要
			専門選択	社会教育行財政	4	通年	土	2	梶野 光信	注2				
	社会教育演習, 社会教育 実習, または社会教育課 題研究のうち1科目以上 (4単位必修)	1-4	専門必修	社会教育演習	4	生涯教育学専修[専門必修]			注2			教育	教育学部 科目登録 の手引き 参照	不要
			専門必修	社会教育演習	4	生涯教育学専修[専門必修]			注2					
			専門必修	社会教育実習	2	生涯教育学専修[専門必修]			注2					
			専門選択	社会教育課題研究I	4	通年	火	4	岩崎 正吾	注2				
	社会教育特講 (現代社会と社会教育) (4単位必修)	1-4	専門必修	社会教育課題研究II	4	通年	火	5	岩崎 正吾	注2		教育	教育学部 科目登録 の手引き 参照	不要
			専門必修	生涯教育研究	4	生涯教育学専修[専門必修]			注2					
			専門選択	家庭教育論	2	前期	月	2	辻 智子	注2				
			専門選択	女性教育論	2	後期	木	5	矢口 徹也	注2				
			専門選択	青少年教育論	2	前期	木	5	矢口 徹也	注2				
			専門選択	成人教育論	2	後期	金	3	鄭 任智	注2				
			専門選択	女性史	2	前期	木	5	井上 恵美子	注2				
			専門選択	高齢者教育論	2	後期	水	3	川野 佐一郎	注2				
	社会教育特講 (社会教育活動・事業 ・施設) (4単位必修)	2-4	専門必修	多文化教育論	2	後期	木	5	前田 耕司	注2		教育	教育学部 科目登録 の手引き 参照	不要
			専門必修	社会教育研究	4	生涯教育学専修[専門必修]			注2					
			専門選択	視聴覚教育メディア論 (実習を含む)	2	生涯教育学専修[専門必修]			注2					
			専門選択	視聴覚教育メディア論 (実習を含む)	2	A	通年	月	2	福井 庸子	注2			
			専門選択	視聴覚教育メディア論 (実習を含む)	2	B	通年	木	2	楠元 範明	注2			
			専門選択	博物館概論	2	A	前期	土	3	柳澤 和子	000			
			専門選択	博物館概論	2	B	前期	火	5	金澤 邦夫	000			
			専門選択	博物館学各論	4	A	通年	金	6	松山 薫	000			
			専門選択	博物館学各論	4	B	通年	月	5	金澤 邦夫	000			
			専門選択	図書館学	4	通年	火	6	雪嶋 宏一	000				
	社会教育特講 (その他必要な科目) (4単位必修)	1-4	専門選択	図書館学	4	通年	火	6	雪嶋 宏一	000		教育	教育学部 科目登録 の手引き 参照	不要
			専門選択	学校開放論	2	後期	木	6	内山 宗昭	注2				
			専門選択	社会教育施設・職員論	2	前期	火	4	穂積 健児	注2				
			専門必修	教育学概論	4	教育学・生涯教育学・初等教育学[専門必修]			注2					
	社会教育特講 (その他必要な科目) (4単位必修)	1-4	専門必修	教育学概論	4	教育心理学専修[専門副選択]			注2			教育	教育学部 科目登録 の手引き 参照	不要
			専門選択	教育学概論	4	教育心理学専修[専門副選択]			注2					
			専門選択	体育及レクリエーション指導	4	休講								
			資格関連	教育課程編成論(小・中・高)または教育課程編成論(中・高) 注4	1	本書 2 1) 教職課程科目(教職に関する科目(必修)) 参照								
			資格関連	教育基礎総論1(小・中・高) 注4	2	本書 2 1) 教職課程科目(教職に関する科目(必修)) 参照								
			資格関連	教育基礎総論2(小・中・高) 注4	2	本書 2 1) 教職課程科目(教職に関する科目(必修)) 参照								
			専門必修	教育学原論	4	教育学専修・生涯教育学専修[専門必修](2007年度まで設置)								
専門必修	教育学原論	4	教育心理学専修[専門副選択](2007年度まで設置)											
-	資格関連	教育原理	4	2007年度まで設置										

注1. 「博物館概論」「博物館学各論」は、教育学専修・生涯教育学専修の学生が履修する場合は、専門選択科目となります。その他の学科・専攻・専修の学生が履修する場合は、随意科目(資格関連科目)となります。

注2. 教育学科設置科目の講義内容は、教育学部「授業ガイド」又はWeb上で閲覧できます。

注3. 「図書館学」は、教育学専修・生涯教育学専修の学生が履修する場合、専門選択科目となり聴講料も不要です。その他の学科・専攻・専修の学生が履修する場合、随意科目(資格関連科目)となり聴講料が必要です。

注4. 太枠で囲われた科目はセットで履修する必要があります。

(2) 第一文学部・第二文学部・文化構想学部・文学部生用

履修上の注意

第一文学部・第二文学部・文化構想学部・文学部・教育学部生以外の学生も下記に従い履修してください。科目によっては聴講料が必要になります。

分類	社会教育法指定科目 (必要単位数)	配当 年次	早稲田大学設置 科目名	単位	組名	学期	曜日	時 限	教員氏名	講義内容 掲載P	科目設置 箇所	登録方法 (下記)	聴講料
I	生涯学習概論 (4単位必修)	1~4	生涯学習概論1 注1	2	-	春期	月	2	古市 将樹	Web	文	4	不要
			生涯学習概論2 注1	2	-	秋期	月	2	古市 将樹	Web	文	4	
		1~4	生涯学習概論1 注1	2	-	前期	水	7	片岡 了	Web	二文	3	
			生涯学習概論2 注1	2	-	後期	水	7	片岡 了	Web	二文	3	
II	社会教育計画 注2 (4単位必修)	1~4	社会教育方法論1	2	-	春期	月	5	福井 庸子	Web	文	5	
			社会教育方法論2	2	-	秋期	月	5	福井 庸子	Web	文	5	
III	社会教育演習, 社会教育 実習, または社会教育 課題研究のうち1科目 以上(4単位必修)	1~4	社会教育課題研究I	4	-	通年	火	4	岩崎 正吾	Web	教育	2	
			社会教育課題研究II	4	-	通年	火	5	岩崎 正吾	Web	教育	2	
IV	社会教育特講I (現代社会と社会教 (4単位必修)	1~4	家庭教育論	2	-	前期	月	2	辻 智子	Web	教育	2	
			女性教育論	2	-	後期	木	5	矢口 徹也	Web	教育	2	
			青少年教育論	2	-	前期	木	5	矢口 徹也	Web	教育	2	
			成人教育論	2	-	後期	金	3	鄭 任智	Web	教育	2	
			女性史	2	-	前期	木	5	井上 恵美子	Web	教育	2	
			高齢者教育論	2	-	後期	水	3	川野 佐一郎	Web	教育	2	
			多文化教育論	2	-	後期	木	5	前田 耕司	Web	教育	2	
			社会・人間系(前期)演習16 注1	2	-	前期	金	6	村田 晶子	Web	二文	注3	
		社会・人間系(後期)演習16 注1	2	-	後期	金	6	村田 晶子	Web	二文	注3		
		2~4	視聴覚教育メディア論 (実習を含む)II 注4	2	C	通年	月	3	福井 庸子	000	教育	1	視聴覚 教育 聴講料
D	休講												
1~4	博物館概論	2	A	前期	土	3	柳澤 和子	000	教育	1	不要		
			B	前期	火	5	金澤 邦夫	000	教育	1			
			A	通年	金	6	松山 薫	000	教育	1			
			B	通年	月	5	金澤 邦夫	000	教育	1			
				通年	火	6	雪嶋 宏一	000	教育	1			
4	通年	火	6	雪嶋 宏一	000	教育	1	図書館司書 課程聴講料					
2	後期	木	6	内山 宗昭	Web	教育	2	不要					
2	前期	火	4	穂積 健児	Web	教育	2	不要					
社会教育特講III (その他必要な科目) (4単位必修)	注6 注7	2~4	教育課程編成論(小・中・高) または 教育課程編成論(中・高) 注1	1		本書VI 2	1)	教職課程科目(教職に関する科目(必修))	参照			教職 課程 聴講料	
			教育基礎総論1(小・中・高) 注1	2		本書VI 2	1)	教職課程科目(教職に関する科目(必修))	参照				
			教育基礎総論2(小・中・高) 注1	2		本書VI 2	1)	教職課程科目(教職に関する科目(必修))	参照				
		1~4	体育及びレクリエーション指導	4						教育			
2~4	社会調査法1・2	各2	-	春・秋	火	4	嶋崎 尚子	Web	文	4	不要		
	社会統計学1・2	各2	-	春・秋	火	1	木村 好美	Web	文	4			
注6 注7	注6 注7	2~4	教育課程編成論(小・中・高) または 教育課程編成論(中・高)注1	1		本書VI 2	1)	教職課程科目(教職に関する科目(必修))	参照			教職 課程 聴講料	
			教育学概論1 注1	2	-	春期	月	3	梅本 洋	Web	文		5
			教育学概論2 注1	2	-	秋期	月	3	沖 清豪	Web	文		5
		1~4	コミュニケーション論	2	-	春期	水	6	小林 宏一	Web	文構	6	
			教育社会学	2	-	秋期	木	3	沖 清豪	Web	文	4	
		4	地域福祉論	4	-	通年	木	7	菊地 みほ	Web	文構	6	
			社会・人間系(前期)演習8 注1	2	-	前期	金	6	谷口 幸一	Web	二文	注3	
		2~4	社会・人間系(後期)演習8 注1	2	-	後期	金	6	谷口 幸一	Web	二文	注3	
			1~4	これからの地域・まちづくりと支援論 (2007年度配当より)	2	-	秋期	木	7	喜多 明人 鶴岡 大輔 村田 晶子 山西 俊二 増山 均	Web	文構	8

- 注1. 太枠で囲われた科目はセットで履修する必要があります。  
 注2. 第二文学部設置科目「社会・人間系演習17」は、2003年度までの履修分に限り、分類II「社会教育計画」の単位として扱われます。  
 注3. 第二文学部生は、第二文学部の科目登録に参加し申請してください。それ以外の学生は、登録できません。  
 注4. 「視聴覚教育メディア論(実習を含む)II A・B」(教育学部専門選択科目)は、教育学部生の科目登録終了後、定員に余裕があれば教育学部生以外でも登録可能です。教育学部他学部聴講登録に参加し申請してください。講義内容は、教育学部「授業ガイド」またはWeb上で閲覧できます。  
 注5. 第二文学部設置科目「博物館学各論」は、2002年度までの「博物館学」と同一科目であるため、「博物館学」の単位を修得済の場合は、登録できません。  
 注6. 第二文学部設置科目で2004年度廃止の「送り手からのマウ論」および「教育社会学」および2007年度廃止の「マス・コミュニケーション論1・2」は分類IV「社会教育特講III(その他必要な科目)」の単位として扱われます(ただし「教育社会学」は2003年度履修分のみ有効です)。  
 注7. 2007年度廃止の教育学部設置「教育原理」、第一文学部設置「教育学概論」は分類IV「社会教育特講III(その他必要な科目)」の単位として扱われます。

登録方法について ※番号は上記の表を参照のこと。上記表の網掛けは、科目設置箇所所属する学生以外は他学部聴講登録に参加、申請が必要となることを表す。

番号	科目登録方法
1	本書「科目登録」のページを参照。
2	教育学部生は、先行登録に参加し、申請してください。教育学部生以外の学生は、所属学部で定められた他学部聴講登録に参加し、申請してください。定員に余裕があれば登録できます。
3	第二文学部生は、第二文学部の一次登録に参加し、申請してください。第二文学部生以外の学生は、所属学部で定められた他学部聴講登録に参加し、申請してください。定員に余裕があれば登録できます。
4	文化構想学部・文学部・第一文学部の学生は本科目は合併科目ですので、所属学部の一次登録に参加し、申請してください。第二文学部の学生は、「新学部聴講登録」にて申請してください(日程他は、一文発行の科目登録マニュアル参照のこと)。定員に余裕があれば登録できます。上記以外の学生は、所属学部で定められた他学部聴講登録に参加し、申請してください。定員に余裕があれば登録できます。
5	文化構想学部・文学部・第一文学部・第二文学部の学生は本科目は合併科目ですので、所属学部の一次登録に参加し、申請してください。上記以外の学生は、所属学部で定められた他学部聴講登録に参加し、申請してください。定員に余裕があれば登録できます。
6	文化構想学部・文学部・第二文学部の学生は本科目は合併科目ですので、所属学部の一次登録に参加し、申請してください。第一文学部の学生は、「新学部聴講登録」にて申請してください(日程他は、一文発行の科目登録マニュアル参照のこと)。定員に余裕があれば登録できます。上記以外の学生は、所属学部で定められた他学部聴講登録に参加し、申請してください。定員に余裕があれば登録できます。
7	文化構想学部・第二文学部の学生は本科目は合併科目ですので、所属学部の一次登録に参加し、申請してください。第一文学部の学生は、「新学部聴講登録」にて申請してください(日程他は、一文発行の科目登録マニュアル参照のこと)。定員に余裕があれば登録できます。上記以外の学生は、所属学部で定められた他学部聴講登録に参加し、申請してください。定員に余裕があれば登録できます。
8	文化構想学部・文学部・第一文学部・第二文学部の学生は本科目は合併科目ですので、所属学部の一次登録に参加し、申請してください。上記以外の学生は、所属学部で定められた他学部聴講登録に参加し、申請してください。定員に余裕があれば登録できます。

## 5 社会福祉主事

### 1) 資格の概要

#### (1) 社会福祉主事とは(社会福祉法第18条第3項、第4項)

都道府県の社会福祉主事は、都道府県の設置する福祉に関する事務所において、生活保護法、児童福祉法、及び母子及び寡婦福祉法に定める援護、育成又は更生の措置に関する事務を行うことを職務とする。

市町村の社会福祉主事は、市町村に設置する福祉に関する事務所において、生活保護法、児童福祉法、母子及び寡婦福祉法、老人福祉法、身体障害者福祉法及び知的障害者福祉法に定める援護、育成又は更生の措置に関する事務を行うことを職務とする。

注意：社会福祉士とは異なります。社会福祉士の資格は、第二文学部社会・人間系専修、文化構想学部現代人間論系社会福祉士プログラム、人間科学部健康福祉学科の学生のみ取得可能です。「第二文学部学部要項」「文化構想学部要項」「人間科学部学部要項」を参照してください。

#### (2) 社会福祉主事になる資格を取得する方法(社会福祉主事の設置に関する法律第2条第1項第1号)

下記科目の中から3科目以上の単位を修得すること。

### 2) 対象科目と読み替えの範囲

社会福祉概論、社会福祉事業史、社会福祉援助技術論、社会福祉調査論、社会福祉施設経営論、社会福祉行政論、社会保障論、公的扶助論、児童福祉論、家庭福祉論、保育理論、身体障害者福祉論、知的障害者福祉論、精神障害者保健福祉論、老人福祉論、医療社会事業論、地域福祉論、法学、民法、行政法、経済学、心理学、社会学、社会政策、経済政策、教育学、倫理学、公衆衛生学、医学一般、リハビリテーション論、看護学、介護概論、栄養学、家政学

原則、上記科目名と全く同じ科目名でないと認められません。ただし、以下の科目名の範囲であれば読み替えることが可能です。

#### < 2009年度以降入学者のみ適用の読み替えの範囲 >

指定科目の名称及び読替の範囲に掲げる科目の名称(以下「科目名」という。)が次のいずれかに該当する場合には、読替の範囲に該当するものとして取り扱って差し支えない。

- (1) 科目名の末尾に、「原論」、「(の)原理」、「総論」、「概論」、「概説」、「論」、「法」、「(の)方法」、及び「学」のうち、いずれかの語句又は複数の語句が加わる場合
- (2) 「社会福祉主事養成機関における授業科目の目標及び内容について(平成12年9月13日付社援第2074号厚生省社会・援護局長通知)の別添「社会福祉主事養成機関における授業科目の目標及び内容」(以下「シラバス通知」という。)に示す教育内容が全て含まれる場合であって、科目名の末尾に「」、「」等が加わることにより、複数の科目に区分され、かつ、当該区分された科目の全てを行う場合
- (3) (1)及び(2)のいずれにも該当する場合
  - (例1)「社会政策」に相当する科目を行う場合
    - ・(1)に該当する場合 「社会政策論」、「社会政策総論」等でも可。
    - ・(2)に該当する場合 「社会政策」及び「社会政策」等でも可。
    - ・(3)に該当する場合 「社会政策論」及び「社会政策総論」等でも可。
  - (例2)「介護概論」に相当する科目を行う場合
    - ・(1)に該当する場合 「介護福祉原論」、「介護福祉総論」、「介護福祉学総論」等でも可。
    - ・(2)に該当する場合 「介護概論」及び「介護概論」等でも可。
    - ・(3)に該当する場合 「介護福祉概説」及び「介護福祉概説」等でも可。

厚生労働省告示による 指 定 科 目	読替えの範囲
社 会 福 祉 概 論	社会福祉、社会事業、社会保障制度と生活者の健康、現代社会と福祉
社 会 福 祉 事 業 史	社会福祉事業史、社会福祉発達史、社会事業史、社会福祉の歴史 日本社会福祉事業史と西洋社会福祉事業史を履修していること
社会福祉援助技術論	社会福祉援助技術、社会福祉方法、社会事業方法、ソーシャルワーク 相談援助の基盤と専門職及び相談援助の理論と方法の2科目
社 会 福 祉 調 査 論	社会調査統計、社会福祉調査、社会福祉統計、社会福祉調査技術、ソーシャルリサーチ、福祉ニーズ調査、社会調査の基礎
社会福祉施設経営論	社会福祉施設経営、社会福祉施設運営、ソーシャルアドミニストレーション、社会福祉管理、社会福祉管理運営、福祉サービスの組織と経営
社 会 福 祉 行 政 論	社会福祉行政、社会福祉行財政、福祉行財政、社会福祉法制、社会福祉法、社会福祉計画、ソーシャルプランニング、福祉行財政と福祉計画
社 会 保 障 論	社会保障、社会保障制度と生活者の健康
公 的 扶 助 論	公的扶助、生活保護、生活保護制度、低所得者に対する支援と生活保護制度
児 童 福 祉 論	児童福祉 児童・家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度並びに家庭福祉論及びその読替えの範囲に含まれる科目のいずれかの2科目
家 庭 福 祉 論	家庭福祉、母子福祉、母子寡婦福祉、婦人保護、ファミリーサポート、家族援助 児童・家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度並びに児童福祉論及びその読替えの範囲に含まれる科目のいずれかの2科目
保 育 理 論	保育
身 体 障 害 者 福 祉 論	身体障害者福祉 障害者福祉、障害福祉、心身障害者福祉、障害児・者福祉(身体障害者福祉と知的障害者福祉を含んでいるものに限っては身体障害者福祉と知的障害者福祉の2科目に該当する。)
知 的 障 害 者 福 祉 論	知的障害者福祉 障害者福祉、障害福祉、心身障害者福祉、障害児・者福祉(身体障害者福祉論と知的障害者福祉論の内容を全て含んでいるものに限っては身体障害者福祉論と知的障害者福祉論の2科目に該当する。)
精 神 障 害 者 保 健 福 祉 論	精神障害者保健福祉、精神保健福祉、精神衛生、精神保健、精神医学
老 人 福 祉 論	老人福祉、高齢者福祉、高齢者保健福祉、高齢者に対する支援と介護保険制度
医 療 社 会 事 業 論	医療社会事業、医療福祉、医療ソーシャルワーク
地 域 福 祉 論	地域福祉、協同組合、コミュニティワーク、コミュニティオーガニゼーション、地域福祉の理論と方法
法 学	法律学、基礎法学
民 法	民法総則
行 政 法	
経 済 学	基礎経済

厚生労働省告示による 指 定 科 目	読替えの範囲
社 会 政 策	社会政策、労働経済
経 済 政 策	
心 理 学	心理学、心理学理論と心理的支援
社 会 学	社会理論と社会システム
教 育 学	
倫 理 学	
公 衆 衛 生 学	公衆衛生
医 学 一 般	医学知識、医学概論、一般臨床医学、人体の構造と機能及び疾病 人体の構造と機能及び疾病の成り立ちと回復の促進を履修していること。
リハビリテーション論	リハビリテーション、リハビリテーション医学
看 護 学	看護、基礎看護
介 護 概 論	介護福祉、介護、介護知識
栄 養 学	栄養、栄養指導、栄養・調理
家 政 学	



厚生労働省告示 による指定科目	読替えの範囲
精神障害者保健 福祉論	精神障害者保健福祉、精神保健福祉論、精神衛生学、精神衛生、精神保健、精神医学
老人福祉論	老人福祉、老人福祉概論、高齢者福祉論、高齢者保健福祉論
医療社会事業論	医療社会事業、医療福祉論、医療ソーシャルワーク
地域福祉論	地域福祉、協同組合論、コミュニティーワーク、コミュニティオーガニゼーション、地域福祉学
法学	法律学、法学概論、基礎法学
民法	民法概論
行政法	行政法総論、行政法概論
経済学	経済学概論、経済原論、基礎経済学
社会政策	社会政策論、社会政策概論、労働経済、労働経済学
経済政策	経済政策論、経済政策概論
心理学	心理学概論、心理学概説、心理学総論
社会学	社会学概論、社会学総論
教育学	教育学概論、教育原理
倫理学	倫理学概論、倫理原理
公衆衛生学	公衆衛生、公衆衛生論、公衆衛生概論
医学一般	医学知識、医学概論、一般臨床医学 人体の構造と機能及び疾病の成り立ちと回復の促進を履修していること
リハビリテーション論	リハビリテーション、リハビリテーション医学、リハビリテーション概論
看護学	看護学概論、看護原理、看護概論、基礎看護学
介護概論	介護福祉論、介護総論、介護知識
栄養学	栄養学概論、栄養学総論、栄養指導、栄養・調理
家政学	家政学概論、家政学総論

### 3) 社会福祉主事となる資格を有することの証明

大学として単位修得証明書は発行しません。成績証明書にて必要な要件を満たすことを確認してください。

# 証明書等の発行について

## 1 教員免許状に関する証明書

証明書の種類	在学中発行手数料	備考 注1	卒業後発行場所	卒業後発行手数料
学力に関する証明書(見込)	200円	免許状取得見込年度の6月1日以降発行。		
学力に関する証明書	200円	卒業する月の15日以降発行	卒業した学部・研究科事務所	300円
教員免許状取得見込証明書	200円	免許状取得見込年度の6月1日以降発行。		
人物証明書	200円		注2	300円
教育実習成績証明書注3	200円		教育学部事務所	300円

注1 詳細は所属学部にてご確認ください。

注2 「人物証明書」の様式は都道府県の教育委員会にて受け取り、各自でゼミ担当教員等に記入を依頼してください。教員からの依頼を受け、所属学部・研究科事務所にて厳封します。

注3 「教育実習成績証明書」は発行までに時間がかかる場合がありますので、余裕をもってお申し込み下さい。

## 2 その他の資格に関する証明書

証明書の種類	在学中発行手数料	備考	卒業後発行場所	卒業後発行手数料
博物館学芸員単位修得証明書	200円		卒業した学部・研究科事務所	300円
図書館司書単位修得証明書	200円		卒業した学部・研究科事務所	300円
学校図書館司書教諭単位修得証明書	200円		卒業した学部・研究科事務所	300円
社会教育主事単位修得証明書	200円		卒業した学部・研究科事務所	300円

# 学部卒業後の教員免許取得方法

## 1 教員免許状関連科目の履修方法

下記の大学、課程、履修方法で必要な単位を修得してください。

大学	課程	履修方法	注意
早稲田大学	通学	正規生として1年次より入学、または学士入学者として3年次より入学	詳細は入学を希望する学部の事務所へお問い合わせください。
		卒業した学部・学科の科目等履修生になる。	卒業した学部・学科・専攻・専修で取得できる免許状のみ取得可能。ただし、特別支援学校1種免許状は取得できません。 政治経済学部、法学部を卒業した場合は、教育学部に科目等履修生の出願をしてください。
早稲田大学以外	通学	正規生として1年次より入学、または学士入学者として3年次より入学 科目等履修生になる。	詳細は入学を希望する大学へお問い合わせください。
	通信教育		

## 2 早稲田大学の科目等履修生出願方法

受入は、卒業された学部となります。出願する学部の事務所で「科目等履修生募集要項」をあらかじめ入手し、出願してください。例年1～2月頃に募集要項および出願日程を決定し、ホームページ等で広報いたします。出願する各事務所へお問い合わせください。

注意:教育実習を実施する場合は、実習実施前年度4月末までに教育学部事務所へご連絡ください。また、教育実習実施年度の出願時に、ご自身で教育実習先を確保できていない場合、教育実習派遣および教育実習演習を登録することはできません。

## 3 在籍中に取得した単位の確認方法

「学力に関する証明書」により教員免許状関連科目の単位修得状況が確認できます。

証明書は、免許状の教科および学校種別に1枚となります。卒業した学部・研究科の事務所に「学力に関する証明書の発行を請求してください。

「学力に関する証明書」の見方や、免許取得に不足している内容を確認したい、履修相談をしたい方は、「学力に関する証明書」を持参の上、入学を希望する大学へお問い合わせください。早稲田大学への入学を希望する場合は、入学を希望する学部事務所へお問い合わせください。

「Q & A」の 5)大学院進学および早稲田大学卒業後の1種免許状取得方法

(P.74)も参照してください。

# 教職課程関連施設の案内

## 1 教員就職指導室

場所	早稲田キャンパス 14号館 202号室
開室時間 注	月～金曜日 10:00～12:30 13:30～17:00 土曜日 10:00～12:30 13:30～15:00
電話番号	03-3203-0921
利用対象者	在学生、卒業生
注意	初めて相談を希望する方は、写真付の履歴書(自己紹介欄が入ったもの、早稲田大学生協扱いのものが望ましい)を持参してください。 来室の際は事前にアポイントをおとりください。

注 夏季休業期間・冬季休業期間中の土曜日は閉室。8月および年末年始の一斉休業期間以外は原則として開室します。開室時間の変更については、教員就職指導室前掲示板及び教育学部ホームページにて適宜お知らせします。

## 2 教育学部事務所・サービスルーム

### (1) 教育学部事務所

場所	早稲田キャンパス 16号館 2階		
開室時間	月～土 9:00～17:00		土曜日の履修相談は、即時に適切に対応できない場合があります。
	夏季・冬季 休業期間	9:00～17:00	12:30～13:30 は閉室 構内立入禁止期間は、場所・開室時間の変更を、掲示・教育学部ホームページで確認のこと
	春季 休業期間	9:00～17:00	夏季・冬季休業期間の開室日は月～金

### (2) サービスルーム

サービスルーム内にはレポート提出のためのレポートボックス及び、教材印刷のための印刷機が設置されています。教育実習や介護等体験に必要な書類や、教育ボランティア等の案内チラシも配布しています。

【場 所】 早稲田キャンパス16号館2階エレベーター前

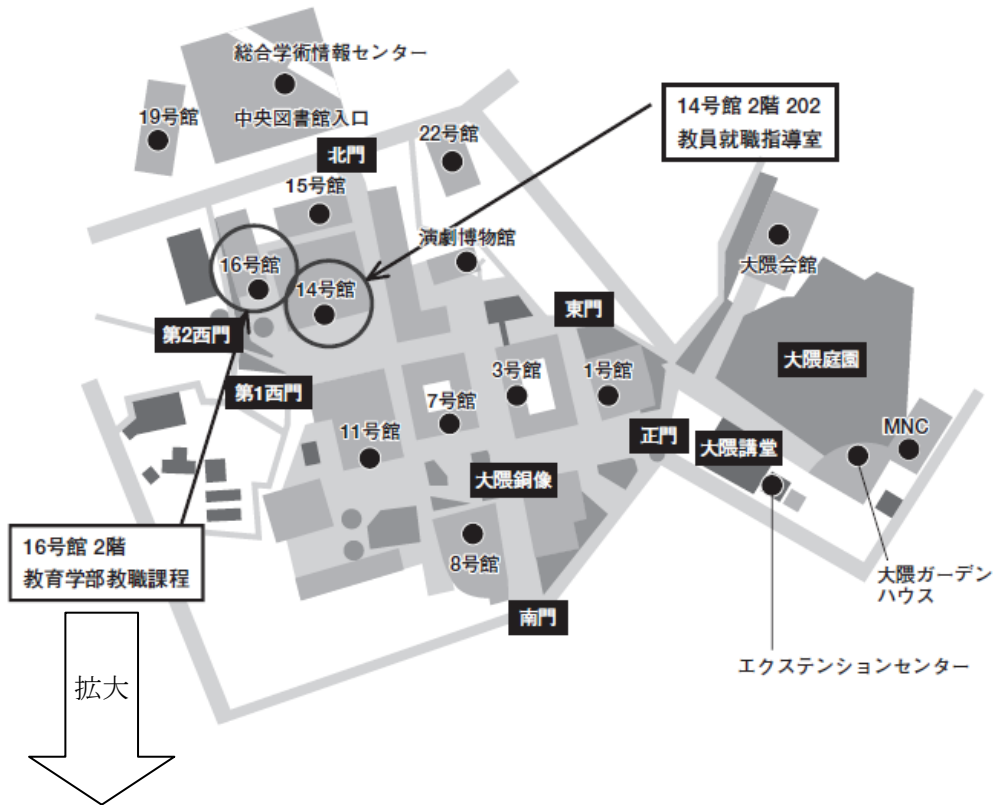
【開室時間】

	曜日	開 室 時 間
夏季休業・冬季休業期間中	月～金	9時00分～19時30分
上記以外	月～土	9時00分～21時00分

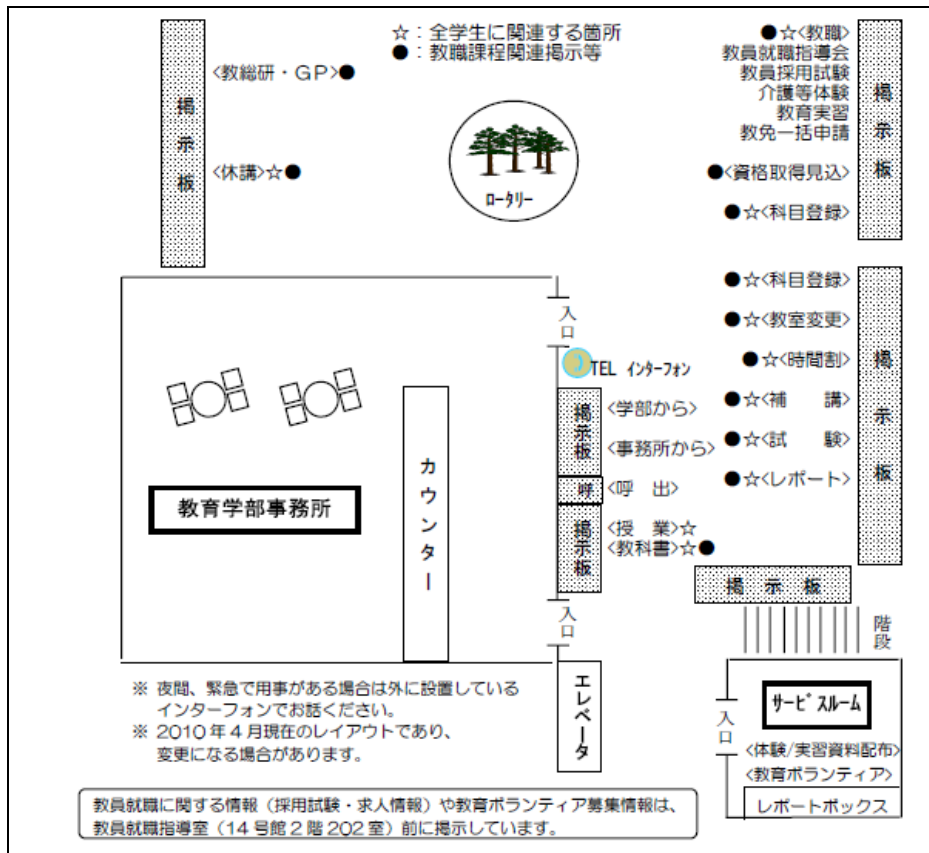
注意:

日曜・祝日、その他大学が定める休業日、夏季一斉休業期間(8月中旬・約1週間)、年末・年始(12月29日～1月5日)は閉室します。

早稲田キャンパス



16号館 2階 (教育学部事務所・サービスルーム・掲示板)



# 付録

## 1 Q&A

### 1) 科目履修

Q: 教員免許状を取得したいのですが、どこに問い合わせをすれば良いか教えてください。

A: 相談する内容により異なりますが、おおよそ下記の通りになります。

取得できる教科免許の種類・科目履修および単位修得に関すること: 所属学部事務所

(特に、「教科に関する科目」については、所属学部にご相談ください。)

「教職に関する科目」など教職関連科目の履修に関すること: 教育学部事務所教職課程

(特に、介護等体験・教育実習については、教育学部事務所教職課程にご相談ください。)

Q: 所属学部・学科で取得できる免許状以外の免許状(別学校種や別教科)を取得することはできますか。

A: 原則として取得することはできません。ただし、所属学部内で取得できる他教科の免許取得に必要な単位の一部は、他学部聴講や他学科聴講などにより修得できる場合があります。なお、履修方法については、他種の免許が取得可能な学部の学部要項等を参照してください。

Q: 3年生ですが、これまで教員免許状関連科目を履修していませんでした。免許状取得までに何年かかりますか。

A: 中学1種、高校1種免許状ともに最短で2年、通常はそれ以上かかります(各科目の配当年次に従って履修する必要があります)。できるだけ早いうちから教員免許状関連科目を履修することをお勧めします。

Q: 教員免許取得に必要な単位を、他の大学で修得することはできますか。

A: 教員養成の課程科目を設置している大学であれば可能です。ただし、二重学籍を禁止している学校もありますので、各自その大学にお問い合わせください。

Q: 成績が不合格の場合、同じ科目の同じクラスを登録できますか。

A: 教育学部設置科目については科目登録が可能です。各学部の所属学部の「科目登録の手引き」を良く読んで、科目登録してください。

Q: キャンパス間の移動のため授業に間に合わなくなってしまう場合はどうしたらいいですか。

A: 教室移動のために授業を遅刻することは認められません。特に、東伏見キャンパス・所沢キャンパスで行われる科目を履修する場合は、注意が必要です。各自、移動時間に余裕を持って時間割を組み、履修申請の際も十分に注意しましょう。

「科目から成績まで」「1 科目登録」(P. 21 - 22)も参照してください。

### 2) 介護等体験

Q: 中学校教諭1種免許状とあわせて特別支援学校教諭1種免許状を取得しようと考えています。その場合、4年次に「特別支援学校実習」が課せられますが、介護等体験も行う必要があるのでしょ

A: 実習先の長が7日間以上の「介護等体験証明書」を発行した場合は、別途に介護等体験を行う必要はありません(ただし7日間以上の「介護等体験証明書」が発行されない場合もあります。)、介護体験実習講義を修得する必要もありません。ただし、「教科に関する科目」「教職に関する科目」「教科又は教職に関する科目」の合計単位が59単位以上になり、免許状取得に必要な最低単位数を満たすように十分に注意してください。

(なお、「社会福祉援助技術現場実習」の実習先となる福祉事務所や社会福祉協議会等の介護の現場でない施設は対象外となります。あくまでも、「介護等体験証明書」を保持し求めに応じ提出

できる場合に「介護体験実習講義」を修得する必要がなくなります。)「介護等体験証明書」について、実習先の長から証明を受ける場合は、所定の用紙を教育学部事務所で受取り、実習先に発行依頼してください。何らかの理由で実習を実施しなかった場合、また何らかの理由で「介護等体験証明書」が発行されなかった場合は中学免許状の取得ができなくなりますので、中学免許状の確実な取得を希望する場合は、「介護等体験実習講義」を履修し「介護等体験証明書」を取得してください。教員免許状一括申請申込み時に証明書が発行されていない場合は、所属学部にもその旨申し出て、発行され次第、所属学部にも提出してください。

Q: 中学校教諭一種免許状と社会福祉士の資格を取得しようと考えています。その場合、「社会福祉援助技術現場実習」が課せられますが、介護等体験も行う必要があるのでしょうか。

A: 東京都社会福祉協議会の見解では、介護等体験の対象施設で社会福祉実習を行った学生に対しては、実習先の施設が「介護等体験証明書」を発行できることがある、としています。介護等体験の対象施設と「社会福祉援助技術現場実習」対象施設とは一部異なり、必ずしも「介護等体験証明書」を発行できる実習内容であるとは限りません。よって、「介護等体験証明書」が発行されなかった場合は中学免許状の取得ができなくなりますので、中学免許状の確実な取得を希望する場合は、必ず「介護等体験実習講義」を履修し「介護等体験証明書」を取得してください。

Q: 福祉の教員免許状取得に必要な「社会福祉現場実習」は、「介護等体験」の単位として振り替えることができますか？

A: 申請する教育委員会の見解によりますが、早稲田大学から「過去に問い合わせをした事例」では、振替えが可能との見解を得たことがあります。ただし、体験内容不足との見解や所沢の社会福祉実習室の見解などから、認められないこともありますので、教育学部事務所教職課程としては、中学免許状の確実な取得を希望する場合は、「介護等体験実習講義」を履修し「介護等体験証明書」を取得してもらうよう指導しています。

Q: 「介護等体験証明書」を紛失してしまいました。再発行はできますか。

A: 「介護等体験証明書」は、体験先社会福祉施設・特別支援学校が発行するものですので、この証明書は原則として再発行されません。大学は、発行主体が異なるので再発行できません。なお、証明書は教員免許状申請時にも必要になりますので、各自大切に保管してください。

Q: 民間のヘルパー2級資格を持っています。介護等体験が免除になりますか。

A: 資格を持っているだけでは免除になりません。別途に介護等体験を行う必要があります。

Q: 現在介護施設でボランティアしています。介護等体験が免除になりますか。

A: 社会福祉協議会の見解としては、ボランティアの場合「介護等体験証明書」が発行されないの別途に介護等体験を行う必要がある、とのことです。

Q: 現在介護施設でアルバイトをしています。介護等体験が免除になりますか。

A: 実習先の長が7日間以上の「介護等体験証明書」が発行された場合は、別途に介護等体験を行う必要はありません(7日間以上の「介護等体験証明書」が発行されない場合もあります。証明書が発行されるかどうかは事前にアルバイト先施設の方に確認してください)。

**「1 介護等体験」(P. 34 - 36)も参照してください。**

### 3) 教育実習

Q: 教育実習受入れ内諾書を実習校へ持参できませんでした。郵送してはいけませんか。

A: 受入れ先実習校の了解が得られれば郵送しても構いません。

Q: 実家が転居等して出身校に通学することが出来ない、または出身校が国外にある等、出身校での実習ができない場合、どのようにして教育実習先を探せばよいですか？

A: 現在住んでいる市区町村の教育委員会に問い合わせ、手続きを確認する方法があります。また、教育実習を行う前年度に、大学で行う「教育実習ガイダンス」でも説明しますが、上記のような理由であれば、大学が東京都に教育実習依頼申請を行うことを検討いたします。この場合、実習場所や実習時期等の希望は一切受けられませんので留意してください。

Q: 単位を修得した「教科教育法」と違う教科で教育実習を実施することはできますか。

A: 取得予定の免許種での教科以外での教育実習はできません。免許取得できる教科は、所属している学部・学科により制限があります。詳細は所属する学部の「学部要項」等でご確認ください。また、実習を行うには取得する免許状教科の「教科教育法1・2」(2010年度より「教科教育法1」「教科教育

法2」)の単位を修得していなければなりません。例えば、中学社会・地理歴史・公民科の免許取得を目指す方は、原則として教育実習を行う予定の教科の教科教育法1・2(2010年度より「教科教育法1」「教科教育法2」)を実習前年度までに登録し、修得しておくようにしてください。(教育実習に行く年の3月における成績発表で、実習予定教科における教科教育法の単位修得ができなかった方で、他の教科教育法の単位取得ができている方は、教育実習を科目登録する前に、実習可能かどうかを教育学部事務所教職課程にメールで相談してください。)

**「2 教育実習」(P.38 - 41)も参照してください。**

#### 4) 教員免許状申請

Q:教員免許状取得のための申請を、個人で教育委員会に行うのですが、「基礎資格証明書」の提出を求められました。早稲田大学が発行するどの証明書に該当しますか。

A:中学・高等学校1種(専修)免許状の「基礎資格」は「学士(修士)の学位を有すること」です。従って、早稲田大学が発行できる証明書のうち「基礎資格証明書」にあたるものは、「卒業証明書」(「修了証明書」)または「学力に関する証明書」です。

Q:教員免許状を紛失してしまいました。再発行はできますか。

A:教員免許状は、各都道府県で発行するものですので、大学では再発行できません。どの都道府県でも、災害等を除き、原則として再発行はされません。就職の際に必要な場合は、「教員免許状授与証明書」で代用できますので、免許状を発行した都道府県教育委員会に、請求してください。一括申請をした場合は東京都教育委員会(人間科学部・スポーツ科学部の場合は埼玉県教育委員会)、個人申請をされた場合は、それぞれ申請した都道府県教育委員会へ発行を請求してください。

**「3 教員免許状申請」(P.42)も参照してください。**

#### 5) 大学院進学および早稲田大学卒業後の一種免許状取得方法

Q:現在早稲田大学の大学院に所属しているのですが、早稲田大学の学部出身者ではありません。他大学を卒業した大学院生でも、早稲田大学で一種免許状を取得するために単位の修得はできますか。

A:以下の場合、早稲田大学で教員免許取得に必要な科目履修および単位修得が可能です。当学の大学院に在学(予定を含む)している他大学の卒業生は、下表の条件をすべて満たしている場合、教育学部が認めた学科・専修に限り入学を許可します。

条件	免許教科	科目等履修生としての入学学科専修
取得希望免許・教科が教育学部で取得できる。 卒業した大学学部学科でも同一学校種・教科の免許が取得できる。 在学する当学の大学院において、同一学校種・教科の専修免許が取得できる。	社会 地歴 公民	教育学科 教育学専修
	国語	国語国文学科
	英語	英語英文学科
	数学 情報	数学科
	理科	理学科

上記は、大学院教育学研究科に在学していない学生の場合です。大学院教育学研究科に在学している学生の場合は、上記条件が異なりますので、詳細は、募集要項(例年募集要項は1月下旬に発表)にて確認してください。また募集要項をご確認のうえ、希望する方は、教育学部の科目等履修生となる手続き(2月下旬～3月上旬出願。ただし変更の場合あり)を行い、必要単位を修得してください。

Q:他大学の通信教育課程を利用して教員免許を取得しようと考えています。教育実習を行う場合、どうすればよいですか。

A:まずは、入学を希望する大学にお問い合わせください。受入れ大学で教育実習派遣を実施できない

場合は、「早稲田大学の卒業した学部・学科で取得できる免許状の教科」での実習を実施する場合に限り、早稲田大学の科目等履修生として受け入れいたします。ただし、教育実習以外の(教育実習を行う教科の)免許取得に必要な単位を、科目等履修生としての受入れ時(実習実施年度中)に教員免許状取得に必要なすべての科目の単位を修得済み、または修得見込であることが条件です。教育実習は原則母校実習とし、各人が出身学校に内諾を得る必要があります。事前登録期間の最終日まで内諾を得ていない場合、教育実習演習を登録することができません。

「学部卒業後の教員免許取得方法」(P.71)も参照してください。

## 6) 小学校教員免許状を取得したい

Q:私の所属する学部(学科・専攻)では、小学校1種免許の取得ができませんが、将来小学校教員を目指したいと考えています。早稲田大学の学部にて在学しながら、小学校教員免許状を取得方法を教えてください。

A:下記の3つの方法があります。 、 に該当する大学につきましては、文部科学省ホームページ(<http://www.mext.go.jp>)で詳細をご確認ください。なお、教職課程設置の「教職に関する科目」のうち、「 (小・中・高)」という科目は、小学校教員免許を取得する際にも流用できるものです。小学校教員免許取得を考えている方は、これらの科目を受講することにより、負担を減らすことも可能です。

早稲田大学の学部2年生～4年生は、東京家政大学との単位互換制度を利用して、小学校1種免許状を取得に必要な科目の一部を修得することができます。募集概要は、例年2月中旬頃に各学部掲示板等でお知らせします。

(延長生および大学院生・科目等履修生はこの制度を利用できません。)

小学校免許状を取得できる大学・短期大学へ卒業後学士入学し、必要な単位を修得する。

小学校教員資格認定試験を受験し、小学校教諭2種免許状<sup>2</sup>を取得する。

Q:大学・短期大学に入り、免許取得までにおおよそ何年かかりますか。

A:学校や単位取得状況にもよりますが、目安として一種免許状は2年以上、二種免許状は1年以上かかります。

Q:中学または高校で教育実習を実施した場合でも、小学校にて教育実習を別途行う必要はありますか？

A:小学校免許状取得に必要な単位は、別途修得する必要があります。ただし、既得単位の一部を流用できる場合もあります。詳細は、ご自身が小学校免許状取得に必要な単位を修得する大学・短期大学にお問い合わせください。

## 7) 特別支援学校教員免許状

Q:特別支援学校教員免許状の取得方法を教えてください。

A: 教育学部教育学科教育学専攻の学生、2004年度以前に入学した第一文学部生  
教育学部生は「授業ガイド」、第一文学部生は「第一文学部要項」を参照してください。  
以外の学生

小学校、中学校、高校、または幼稚園教諭の普通免許状を取得し、特別支援学校免許状を取得できる大学で「特別支援教育に関する科目」の単位を修得してください。「特別支援教育に関する科目」は、教育学部教育学科教育学専攻に学士入学をするか、特別支援学校免許状を取得できる大学の通学課程、通信教育課程へ入学または学士入学し、単位を修得してください。また、科目等履修生として単位を修得できる大学もあります。取得できる大学につきましては、文部科学省ホームページ(<http://www.mext.go.jp>)をご覧ください。なお、早稲田大学では科目等履修生として特別支援学校免許状を取得することはできません。

Q:特別支援学校免許状を取得していなくても特別支援学校採用試験を受験できますか？

A:東京都の場合、受験する校種・教科の普通免許状のみでも特別支援学校教員採用試験を受験できます。その場合、特別支援学校免許状を、採用後5年以内に東京都教育職員免許法認定講習等を受講し、取得することになっています。他の教育委員会につきましては、ホームページ等でお調べください。

<sup>2</sup> 二種免許状とは、小学校教員資格認定試験に合格する、または必要単位を修得し、準学士の学位(短期大学卒業)を得ることで取得できる免許状です。二種免許状所有者は、一免許状取得に努めるよう定められています。

## 2 シラバス

必ず Web のシラバスシステムから最新の情報を確認の後、科目登録を行うようにしてください。

## 3 資格関連科目担当教員名簿

掲載情報は、教育学部「授業ガイド」から抜粋したものです。各教員から学生へ連絡先等の情報開示の了承を得て掲載しています。

### (1) 利用上の注意

早朝・夜間・休日に連絡する、頻繁に連絡する等、教員のプライバシーを侵害するような非常識な行動をとってはいけません。

教員への連絡は教場で行うようにしてください。

掲載された FAX 番号は必ずしも自宅の番号とは限りません。FAX を送る場合は宛名を記載してください。

掲載情報が早稲田大学関係者以外の手に渡ることはないよう、取り扱いには充分注意してください。

### (2) 名簿の見方

50音順に掲載しています。

資格(本属)欄の本属の記載があるのは、早稲田大学専任教員のみです。また、専任教員で本属記載がない場合、本属は教育学部です。

非常勤講師の研究室番号・研究室 TEL 欄には、本務校の研究室や勤務先の情報が記載されています。

### (3) 教育学部教職課程関連役職者

教育学部長:神尾 達之

教職課程主任:藤井 千春

教職課程副主任:池 俊介

SCHOOL OF EDUCATION  
TEACHER TRAINING COURSE

発行者 早稲田大学教育学部

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1

e-mail : kyousyoku-office@list.waseda.jp

URL <http://www.edu-waseda.net/index.php> (教職課程)

<http://www.edu-waseda.net/> (教育学部)

20100301-11000

**科目登録についての問い合わせ先**

Waseda-net ポータル「★成績照会・科目登録専用メニュー」上の「Web 科目登録の問い合わせ」フォームより問合せを行ってください(問い合わせは 24 時間受け付けますが、内容によっては回答が翌日以降になることがあります)。